

平成 31 年度

# 教職員研修計画

京都府教育委員会

## 教職員研修計画について

教職員の研修については、地方公務員法第39条に定めるほか、特に教育公務員については、教育基本法第9条並びに教育公務員特例法第21条に絶えず研究と修養に努めることが定められ、同法第23条及び第24条には、初任者研修や中堅教諭等資質向上研修の実施が義務付けられています。

近年、教員の大量退職・大量採用等の影響によって、年齢構成や経験年数の不均衡が生じ、従来の学校組織において自然に行われてきた経験豊富な教員から若手教員への知識及び技術等の伝達が困難となるなど、教員を巡る環境が大きく変化しています。また、グローバル化、情報化の進展等、社会が急速に変化する中であって、それらを踏まえた新しい時代の教育に対応できるよう、学習指導要領等の趣旨を実現するための教員の資質能力の向上に向けた環境を整えることが不可欠です。こうした状況を踏まえ、教員の養成・採用・研修を通じた新たな体制の構築等のため、平成27年12月の中央教育審議会答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」を受け、教育公務員特例法が平成29年4月に一部改正され、指標と研修計画の策定が義務付けられたところ です。

京都府においては、平成30年3月に「求められる京都府の教員像」の見直しを図り、新たに「京都府の教員に必要な5つの力」を掲げるとともに、教育公務員特例法第22条の3に基づき、教員等がキャリアステージに応じて身に付けるべき資質能力を明確にするため、職種や経験年数に応じた観点別の「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」を策定しました。

本書は教育公務員特例法第22条の4に基づく研修計画として、教職員の資質能力の更なる向上と京都府の教育課題の解決等に資することを目的に、「求められる京都府の教員像」「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」と、それらを踏まえ京都府総合教育センターが実施する研修講座の概要等を掲載しています。

各学校等における教職員の研修計画作成等の際には、本書の内容を十分に踏まえ積極的な活用が図られるよう努めてください。

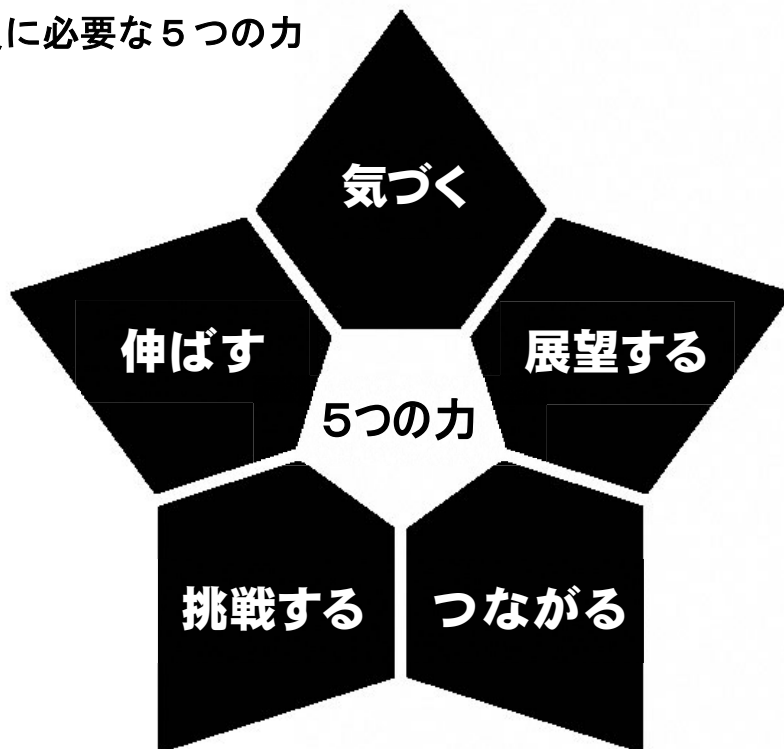
# 目 次

求められる京都府の教員像	1
京都府教員等の資質能力の向上に関する指標	4
<b>総合教育センターの研修講座</b>	<b>30</b>
単位制履修制度の概要	31
2～6年目研修講座	35
7～15年目研修講座	37
中堅教諭等資質向上研修講座	39
研修講座受講モデルプラン	40
研修講座一覧	42
研修講座日程・会場表	49
「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」との対応一覧	56
<b>研修講座の実施概要</b>	<b>60</b>
研修講座の実施概要の見方	61
基本研修（101～）	62
初任期育成研修（101～）	62
中堅教諭等資質向上研修（251～）	102
指導者養成研修（301～）	106
中核職員養成研修（321～）	108
専門研修（401～）	112
教科（401～）	112
領域等（501～）	128
コミュニケーション能力（601～）	142
チームマネジメント能力（701～）	146
職能別等（801～）	152
特別研修（851～）	158
地域教育支援研修	162
※（ ）内は講座番号	
<b>Web活用研修 出前講座 免許状更新講習対象講座</b>	<b>164</b>
Web活用研修	165
出前講座	167
免許状更新講習対象講座（申請中）について	171
<b>研修講座の申込等</b>	<b>174</b>
<b>様式</b>	<b>177</b>
<b>研修履歴一覧表の見方</b>	<b>183</b>

※「教職員研修計画」は、「様式」を含め総合教育センターホームページからダウンロードできます。

# 求められる京都府の教員像

京都府の教員に必要な5つの力



## ■気づく力

児童生徒一人一人を深く理解し、寄り添った指導ができるよう、小さな変化にも**気づくことができる力**

## ■伸ばす力

豊かな人間性と高い専門性に基づく優れた指導力を有し、児童生徒一人一人が豊かな未来を切り拓いていけるよう、それぞれの個性や能力を最大限に**伸ばすことができる力**

## ■挑戦する力

探究心や自律的に学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を高めながら、諸課題の解決に向け、**挑戦することができる力**

## ■つながる力

他の教職員、保護者や地域社会、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担しながら、組織的・協働的に諸課題を解決するため、チームの一員として**つながることができる力**

## ■展望する力

次代を担う人材に必要な学びを提供できるよう、広い視野で時代や社会、環境の変化を的確につかみ取り、未来を**展望することができる力**



### 児童生徒の変化に「気づく力」

- 児童生徒への教育的愛情と、教職への使命感や情熱を有している。
- 高い人権意識や多様性を尊重する姿勢を持ち、自らが人権教育の担い手であるという自覚を有している。
- 児童生徒一人一人を深く理解し、その小さな変化を見逃さず、愛情と信頼と期待とで包み込みながら、受容的・共感的に関わることができる。
- 様々な要因により困難な状況におかれている児童生徒や、特別な配慮を必要とする児童生徒の状況を理解し、適切な支援を行うことができる。

### 児童生徒の可能性を「伸ばす力」

- 豊かな感性とコミュニケーション能力を持ち、明朗かつ健康で、人間的魅力にあふれている。
- 教科や教職に関する高い専門性と優れた指導力を有している。
- 高い授業力を有し、児童生徒に質の高い学力を身に付けさせることができる。
- 児童生徒一人一人の自己肯定感を高めながら、その個性や能力を引き出し、最大限に伸ばして、未来を切り拓く力を育むことができる。

### 自らを高め、新たな課題に「挑戦する力」

- 自律的に学ぶ姿勢を持ち続け、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質能力を教職生涯にわたって高め、教育改革の推進や教育課題の解決に積極的に取り組むことができる。
- 探究心や学び続ける姿勢を持ち、研修やOJT等を通じて自己研鑽に不断に取り組むとともに、同僚性の構築や若手教職員の人材育成に積極的に関わることができる。
- 適切なセルフマネジメントと効率的な業務の遂行に取り組み、日々の生活の質や教職人生を豊かにすることで、人間性を高め、児童生徒への効果的な教育活動を行うことができる。

### 学校内外の多様な人材と「つながる力」

- 社会的良識と高いコンプライアンス意識を持ち、児童生徒や保護者、職場の同僚、地域社会から信頼される。
- 組織の一員としての自覚を有し、自らの使命を理解して、役割を積極的に果たすことにより、学校運営に貢献することができる。
- 他の教職員、保護者や地域社会、多様な専門性を持つ人材と効果的に連携・分担し、チームの一員として、様々な教育改革や教育課題に組織的・協働的に対応することができる。

## 広い視野で未来を「展望する力」

- 広い視野で時代や社会、環境の変化を把握しながら、情報を適切に収集・選択・活用し、知識を有機的に結び付け構造化することができる。
- 様々な教育改革や複雑化・多様化する教育課題を的確に把握し、改革の実現や課題の解決に向け適切に対応することができる。
- 次代の京都府を担う人材や国際社会で活躍する人材を育成するために、京都の自然、歴史、伝統・文化について理解を深めるとともに、多様な文化に興味・関心を持ち、地域創生やグローバル化に対応した教育を推進できる。

# 京都府教員等の資質能力の向上に関する指標

京都府教育委員会

## はじめに

教員は、教育を受ける児童生徒<sup>〔注1〕</sup>の人格の完成を目指し、その資質の向上を促すという非常に重要な職責を担っている高度専門職であり、学校教育の成否は、教員の資質能力によるところが極めて大きいと言えます。そのため、教育基本法において、教員は絶えず研究と修養に励むこと、教員の養成と研修の充実が図られなければならないことが規定されているなど、法令上、特別な配慮がなされているところです。児童生徒の成長を担う教員には、いかに時代が変化しようとも、その時代の背景や要請を踏まえつつ、自らが児童生徒の道しるべとなるべく、常にその資質能力の向上を図り続けることが求められます。

一方、学校現場においては、教員の大量退職・大量採用等の影響によって、年齢構成や経験年数の不均衡が生じ、従来の学校組織において自然に行われてきた経験豊富な教員から若手教員への知識及び技術等の伝達が困難となるなど、教員を巡る環境が大きく変化しています。

また、グローバル化、情報化の進展等、社会が急速に変化する中であって、それらを踏まえた新しい時代の教育に対応できるよう、学習指導要領等<sup>〔注2〕</sup>の趣旨を実現するための教員の資質能力の向上に向けた環境を整えることが不可欠です。

こうした状況を踏まえ、教員の養成・採用・研修を通じた新たな体制の構築等のため、平成27年12月の中央教育審議会答申「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」を受け、教育公務員特例法が平成29年4月に一部改正されたところです。

この教育公務員特例法の一部改正において、公立の小学校等の校長及び教員（以下「教員等」という。）の任命権者は、文部科学大臣が策定する指針を参酌しつつ、地域の実情に応じ、教員等の資質能力の向上に関する指標を策定することとし、その際、大学等からなる協議会における協議を経ることとする等の新たな制度が盛り込まれました。

その趣旨は、教員等の資質能力の向上を担う任命権者と教員養成を担う大学等の共通認識の下、教員等が高度専門職業人として、キャリアステージに応じて身に付けるべき資質能力を明確化することにあります。

また、京都府においても「京都府教育振興プラン」で、重点目標の1つに「学校の教育力の向上」を掲げ、「教職員の資質・能力の向上」において、子どもの豊かな成長を支えるために、大学と連携し、強い使命感と高い実践力を持つ優秀な人材を確保するとともに、学校内外での研修を充実するなど、教職員の資質や指導力の向上を図る取組を推進することとしています。

---

〔注1〕 この指標では、幼児、児童及び生徒を「児童生徒」と表記します。

〔注2〕 この指標では、小学校学習指導要領、中学校学習指導要領、高等学校学習指導要領、幼稚園教育要領、幼  
連連携型認定こども園教育・保育要領、特別支援学校幼稚部教育要領、特別支援学校小学部・中学部学習指  
導要領及び特別支援学校高等部学習指導要領を「学習指導要領等」と表記します。

さらに、教員の資質能力の向上に向けた様々な取組の目標となるものとして、平成19年に策定した「『教師力』向上のための指針」で掲げてきた「求められる京都府の教員像」について見直しを図り、新たに「京都府の教員に必要な5つの力」を掲げ、それぞれの力に対応させる形で整理しました。

これらのことを踏まえ、京都府教育委員会では、「京都府教員等の資質の向上に関する協議会」を設け、大学等とも協議して、「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」を策定しました。

この指標は、教員等が担う役割が高度に専門的であることを改めて示すとともに、研修等を通じて教員等の資質能力の向上を図る際の目安として、教員等一人一人のキャリアパスが多様であるとの前提のもと、教職キャリア全体を俯瞰<sup>ふかん</sup>しつつ、自らが位置する段階に応じてさらに高度な段階を目指す手掛かりとなるものであり、効果的・継続的な学びに結び付ける意欲を喚起する体系として整理しました。

京都府の教員等一人一人が、本指標を踏まえ、計画的かつ効果的に資質能力の向上に向けて取り組むことを期待します。

## 1 指標の構成

京都府教育委員会では、校種や職種に応じて、次の6つの指標を策定しましたので、該当する指標を資質能力の向上を図る際の目安としてください。

なお、特別支援学級の担任等については、それぞれの校種の指標とあわせて、特別支援学校の指標も参照してください。

### ■ 義務教育諸学校の指標

対象校種：小学校、中学校、義務教育学校

対象職種：首席副校長、副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、講師

### ■ 高等学校の指標

対象校種：高等学校

対象職種：首席副校長、副校長、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、講師

### ■ 特別支援学校の指標

対象校種：特別支援学校

対象職種：首席副校長、副校長、総括主事、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、講師

### □ 養護教諭の指標

対象校種：全ての校種

### □ 栄養教諭の指標

対象校種：全ての校種

### □ 校長の指標

対象校種：全ての校種

※ 指標の対象となる職種は、校長、首席副校長、副校長、教頭、総括主事、主幹教諭、指導教諭、教諭、助教諭、養護教諭、養護助教諭、栄養教諭及び講師（常時勤務の者及び地方公務員法第28条の5第1項に規定する短時間勤務の職を占めるものに限る。）です。ただし、教育公務員特例法施行令第2条に規定する臨時的に任用された者等を除きます。

## 2 指標における各観点の考え方について

京都府教育委員会では、教員の成長の道しるべとなるべき「指標」を策定するに当たり、教員一人一人が、これからの教員に必要とされる資質能力を具体的に捉えることができるよう、文部科学省の「公立の小学校等の校長及び教員としての資質の向上に関する指標の策定に関する指針」も踏まえ、「基本的資質能力」、「人権」、「学習指導」、「生徒指導」、「マネジメント」、「チーム学校」、「京都ならではの教育」の7つの観点とそれぞれの観点ごとの主要な要素を掲げました。

それぞれの観点を設けた趣旨や考え方については以下のとおりですので、資質能力の向上を図る際の参考としてください。

### 1 基本的資質能力

教員は、児童生徒一人一人が幸福で豊かな人生を送ることができるよう、その個性を尊重しながら、「生きる力」を身に付けさせ、健全な育成と全人格の形成に携わるという崇高な使命を負った職であり、教育の直接の担い手として、自らが高潔な人格と豊かな人間性を兼ね備えるとともに、児童生徒から慕われ、その模範となる存在でなければなりません。

また、初任者であっても経験豊富な教員であっても、常に社会状況の変化を意識しながら、現状に満足することなく、自ら学び、成長し続ける姿勢を持つことが大切です。

このような教員という職の特性を踏まえ、必ず備えておくべき素養を「基本的資質能力」として観点の第一に掲げています。

この観点は、言わば不易のものとして、教職生涯にわたり成長していく上で根本となるものです。

#### 〈主要要素〉

使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、  
コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽<sup>さん</sup>

### 2 人権

京都府教育委員会では、これまでから、人権尊重の意識を高め、自分と他者の人権を大切にす教育を進めるとともに、児童生徒が自立的に社会に参画できる力を養うよう「一人一人を大切にす教育」を進めてきました。人権教育を推進するための基本的取組方針においても、あらゆる教育活動を通して人権教育を推進することとし、教職員の人権意識の高揚のため、「人権教育推進の担い手として人権尊重の理念についての認識深化」、「同和教育の成果と手法への評価を踏まえた継承と活用」、「あらゆる人権問題についての研修の推進」を掲げて取り組んでいるところであり、個別の人権問題に係る児童生徒への支援、人権問題の解決に向けた実践力の育成に引き続き取り組むことが必要です。

また、昨今、子どもの貧困が大きな課題となっており、全ての児童生徒が、生まれ育つ環境に左右されることなく、その将来に夢や希望を持って成長していける社会の実現を目指し、困難な状況にある児童生徒が置かれている背景を踏まえた取組を進める必要があります。

さらに、ノーマライゼーションの考え方、合理的配慮やユニバーサルデザインの観点を含め、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援にも重点的に取り組む必要があります。

これらのことは、全ての子どもが、京都府教育振興プランで京都府の教育の基本的な理念として掲げている「包み込まれているという感覚」を実感できるようにしていくことにもつながる要素として位置付けています。

#### 〈主な要素〉

人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援

### 3 学習指導

京都府教育委員会では、児童生徒に「質の高い学力」を身に付けさせるため、「基礎・基本の定着」、「活用する力の育成」及び「学習意欲の向上」に取り組んでいるところですが、そのためには学習指導要領等の趣旨や内容を的確に理解した上で、教育課程を編成し、それを実践するための指導方法の工夫・改善や指導技術の向上が必要です。

学習指導要領等では、各教科等<sup>[注3]</sup>の指導を通して、児童生徒のどのような資質・能力の育成を目指すのかを明確にしなが、発達段階や特性等を踏まえつつ、知識及び技能が習得されるようにすること、思考力、判断力、表現力等を育成すること、学びに向かう力、人間性等を涵養<sup>かん</sup>することを偏りなく実現していくことが求められています。

そのためには、全国学力・学習状況調査や京都府学力診断テスト、府立高校実力テストの結果を効果的に活用しながら基礎・基本の徹底や学習習慣の定着を図るとともに、主体的・対話的で深い学びの充実を常に意識し、その実現に向け、不断に授業改善に取り組み、高い授業力を身に付けることが求められます。

また、ICTの活用や学校の特色化等の視点を効果的に教育活動に位置付けて学習指導に取り組むことが必要です。

#### 〈主な要素〉

学習指導要領等の趣旨の実現、教育課程の実践、指導方法、指導技術、学習評価、ICT活用

[注3] この指標では、学習指導要領等における各教科・科目、特別の教科である道徳、外国語活動、総合的な学習の時間、特別活動及び自立活動等を「各教科等」と表記します。



## 4 生徒指導

近年、いじめ問題や不登校児童生徒の増加傾向、問題行動の低年齢化や情報モラルの問題等、教育課題が複雑化・多様化する中であって、その解決に向け、教員が生徒指導や教育相談に関わる資質能力を高めることが大変重要です。

教員は、学級（ホームルーム）経営、生徒指導、教育相談等のあらゆる場面で児童生徒理解に努め、受容的・共感的に関わりながら児童生徒一人一人を大切にしたい指導を行うために必要な知識や技能を身に付けなければなりません。

特に教育活動の基本単位である学級（ホームルーム）の経営においては、児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえて、個別指導と集団指導を適切に行うことが求められます。

また、児童生徒一人一人が自らの進路を主体的に切り拓き、自己実現につなげることができるよう、発達段階に応じたキャリア教育を進めていくことが大切であり、そのために必要な資質能力も本観点に盛り込んでいます。

### 〈主要要素〉

学級（ホームルーム）経営、児童生徒理解、生徒指導、教育相談、進路指導、キャリア教育

## 5 マネジメント

教員には、各キャリアステージに応じて、学校運営に関わる資質能力が求められます。学校の校務分掌組織の一員として責任を果たすことで学校運営に参画することや、校務分掌組織のリーダーとして、学校運営の中核となって役割を果たすことが必要です。

熟練期においては、自校の経営方針や運営目標を踏まえ、校長が行う学校経営に積極的に参画し、指導的な役割を果たすことも求められます。

また、学校の教育目標を踏まえた教科等横断的な視点で、教育の内容を組織的に配列し、教育課程の編成、実施、評価、改善のPDCAサイクルを確立するとともに、教育活動に必要な人的・物的資源等を活用する、「カリキュラム・マネジメント」を実現していくことが求められます。

さらに、教員の多忙化が社会問題となる中、効率的な業務の遂行に向けて、自らの働き方を工夫するなど、適切なセルフマネジメントができ、組織全体の業務の効率化や働き方改革につなげていくことのできる資質能力も必要です。

加えて、児童生徒の健やかな成長を保障し、教育活動の充実を図るためには、学校は安心・安全な環境が確立された場所である必要があることから、全ての教職員が、危機管理の観点を持って安全管理や児童生徒への指導に取り組み、万一事故等が発生した場合は、組織的に迅速で的確な対応ができるようにしておく必要があります。

### 〈主要要素〉

学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、  
学校安全、危機管理

## 6 チーム学校

教員は、様々な課題に対して個人で対応するだけではなく、それぞれの教員が有する得意な分野、専門的な知識や技能を生かして、補完し合いながら、チームとして連携して対応することが大切です。学校内における教員同士の学び合いや、学校外の資源を活用した学びにより、資質能力の向上を図ることが大切であり、教員一人一人がそれぞれの立場で学校内の人材育成にも積極的に関与し、チームでの役割を果たすことが求められます。

また、学校を取り巻く環境が変化する中で、様々な教育改革や教育課題に適切に対応していくためには、同一校種や異なる校種など、他校の教職員との連携や交流を積極的に図っていくことが重要です。

さらに、児童生徒を取り巻く状況の変化や複雑化・困難化した課題に向き合うため、多様な専門性を持つ人材が学校運営に参画することにより、学校の教育力・組織力を高めていくことがこれからの時代には不可欠であり、教員には、それらの人材と効果的に連携・分担して、チームとして組織的に諸課題の解決につなげていくことができる資質能力が求められます。

加えて、信頼される学校づくりのためには、保護者はもとより、地域住民からの信頼を得ることが不可欠であり、その意見や願いを学校運営に適切に反映させるとともに、家庭や地域社会と積極的に連携・協働し、支援や協力を得ながら、学校運営を改善していくことが求められます。

これらの様々な視点を踏まえた取組の必要性があることから、「チーム学校<sup>[注4]</sup>」の観点を設けています。

### 〈主要要素〉

他の教職員との連携・協働、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や  
多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり

[注4] 京都府教育委員会では、「京都式チーム学校」を「複雑化・多様化する教育課題に的確に対応するため、教員が多様な専門性を持つ人材とチームとして連携・分担する体制を学校や地域の実態を踏まえて整備・強化した上で、校長のリーダーシップの下、学校運営や教育活動を組織的にマネジメントすることにより、教員の負担軽減を図り、それぞれの教員や人材がその持てる能力を十分に発揮し、子どもをしっかりと指導できる学校として、京都府がその実現を目指す学校の在り方」と定義しています。

## 7 京都ならではの教育

我が国の教育を巡る状況に目を向けると、過去の様々な調査での比較によれば、日本の児童生徒の自己肯定感や自尊感情が諸外国と比べて低いという結果が示されています。京都府においても、児童生徒が自分の価値を認識し、かつ、他者の価値も尊重することができるよう、また、自信をもって成長し、より良い社会の担い手となることができるよう、そのための環境づくりに取り組む必要があります。

また、IoTやAIの進展等に伴い生じるライフスタイルの変化や、家庭環境の変化、人口減少や人口構造の変化等の、さらなる社会の変容が予測される中、これからの時代を生きる児童生徒には、「主体的に課題を発見し、解決に導く力」、「志」、「リーダーシップ」、「創造性」、「チャレンジ精神」、「忍耐力」、「自己肯定感」、「感性」、「思いやり」、「コミュニケーション能力<sup>[注5]</sup>」、「多様性を受容する力」といった資質や能力が求められています。

このような中、京都府教育振興プランでは、「目指す人間像」として「歴史と伝統にはぐくまれた京都の知恵をつなぎ、自然、人、社会とつながる人」、「積み重ねられた知恵を活用し、新しい価値を創り出して世界に発信する人」を掲げ、それに向けた人づくりのため、京都府の豊かで美しい自然、世界に誇る貴重な文化財、そして府内各地域の伝統・文化など、「京都の持つ力や強み」を生かして、自尊感情を高め、「包み込まれているという感覚」を涵養しながら「展望する力」、「つながる力」、「挑戦する力」を育むこととしています。

この京都府の教育の基本理念に基づき、地方創生の意識を持った次代の京都府を担う人材や国際社会で活躍する人材を育成するためには、教員自身が、グローバル化を見据え、京都の自然、歴史、伝統・文化への理解を深めたり、コミュニケーション能力を高めたりすることが必要です。

また、教員は、学校という狭い枠組みの中だけで教育を捉えるのではなく、その背景にある社会情勢や世の中の出来事について積極的に情報収集して、俯瞰的に物事を捉えることができるようにするとともに、多様な体験や交流を通じて視野を広げ、知識や教養を深めながら、見識を備えておく必要があります。

### 〈主な要素〉

京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、  
グローバル化への対応

[注5] 平成23年8月29日に取りまとめられた、コミュニケーション教育推進会議（文部科学副大臣主催）の審議経過報告は、コミュニケーション能力を「いろいろな価値観や背景をもつ人々による集団において、相互関係を深め、共感しながら、人間関係やチームワークを形成し、正解のない課題や経験したことのない問題について、対話をして情報を共有し、自ら深く考え、相互に考えを伝え、深め合いつつ合意形成・課題解決する能力」と捉えることとしています。

## 養護教諭及び栄養教諭について

近年、児童生徒の安全や健康を巡る課題は、以下に示すように複雑化・多様化しています。

- ・いじめ問題
- ・不登校の増加傾向
- ・子どもの貧困問題
- ・児童虐待
- ・薬物乱用
- ・性に関する問題
- ・体力の低下
- ・心の健康問題
- ・アレルギー性疾患の増加
- ・災害や事故の発生
- 等

一方で、2020年に東京オリンピック・パラリンピックが開催される中、体力の向上や健やかな心身の育成に向けた積極的な取組が求められるほか、「和食」がユネスコ無形文化遺産に登録される中、生活や学びの基礎となる「食」に関する正しい知識と食習慣を身に付けさせ、京都や地域の食文化への理解を図るなどの取組を推進する必要があります。

これらの課題や取組に対応していくためには、養護教諭や栄養教諭がそれぞれの専門性を生かして、積極的に教育活動に関与し、役割を果たしていくことが大切です。

以上のような背景を踏まえて、教諭とは別の指標を設定することとし、観点としてそれぞれの専門領域を設けました。

### 〈養護教諭としての専門領域における主な要素〉

保健管理、保健教育、健康相談、保健室経営、保健組織活動、指導方法、指導技術、児童生徒理解、生徒指導、教育相談、ICT活用

### 〈栄養教諭としての専門領域における主な要素〉

学校給食の管理、食に関する指導、指導方法、指導技術、児童生徒理解、生徒指導、教育相談、ICT活用

## 校長について

校長は、いうまでもなく学校組織の最高責任者であり、その一挙一動が教職員に影響を与えることを常に意識しながら、模範となるべき存在として、自覚を持って自らを高める努力を不断に継続する必要があります。

高潔清廉な人柄で、教職員、児童生徒、保護者から慕われ、信頼される存在であるとともに、様々な教育改革や教育課題に対応するに際しては、学校経営の最高責任者として、状況を的確に分析して判断できる、ぶれない強さや果敢な決断力が求められます。

また、社会情勢や世の中の出来事に精通し、社会全体の大きな流れの中で、俯瞰的に教育のあるべき方向性を見据えながら、高い識見と豊かな教養に裏打ちされた教育哲学や教育理念を持って、学校経営に当たることが重要です。

教育内容面に関しては、教員として培ってきた、完成された指導力や授業力を有し、教員に対して、時代や状況の変化を踏まえ、適切に指導や助言ができることが求められます。

加えて、自校の果たすべき役割とアイデンティティを確立し、それを明確に発信して、教職員と児童生徒に自校への誇りや愛着を醸成しながら、一体となってまとめあげていくことができる力も大切です。

このような学校経営のリーダーとしての校長に求められる資質能力を、教員とは別の指標として設定しました。

### 3 指標におけるキャリアステージの考え方について

#### 1 ステージの設定

教員一人一人が採用されて以降、長期的な視点をもって、計画的にキャリアアップを図っていくためには、教職生涯にわたる自らの成長像や節目を捉えることができる視点が欠かせないことから、指標には、成長段階として、5つのステージと目安となる採用後の経験年数を設定しています。

このステージや経験年数は、大学卒業後すぐに採用され、着任する教員を例に設定していますが、教員の着任時の年齢や経歴は様々で個人差があることから、一律に当てはめることが困難な場合も想定されます。このため、各教員は、指標のステージや経験年数を目安に、自身の経歴やキャリアを踏まえて自らが今どの位置にあるのかななどを常に省察しながら、キャリアアップを図っていくことが必要です。

また、教員が一定の経験を積んだ段階では、一人一人の経歴や経験の違いにより、学習指導や生徒指導等の各分野や領域ごとの専門性に差異が生じてしまう場合が想定されますので、特に経験が浅い、早いステージにおいては、全ての観点の資質能力をバランス良く身に付けるよう努力することが大切です。

#### 2 ステージごとに求められる役割と資質能力

各ステージにおいて観点ごとに求められる具体的な資質能力については、指標で示していますが、以下では、各ステージがどのような段階で、大枠としてどのような役割や資質能力が求められるのかを示しています。

#### ステージ0（着任時・教職経験0年）

教職生涯の出発点において、教員養成課程を修了し、将来にわたって成長していく上で必要となる資質能力や知識の基本をしっかりと身に付けた段階であり、これらの資質能力や知識は、京都府教育委員会が任命権者として採用段階で志願者に求めるものであるとともに、大学等における教員養成の目標となるものである。

##### 〈求められる資質能力〉

- 児童生徒への教育的愛情、教職への使命感や情熱、教員という職に適した基本的な人間性
- 学習指導や生徒指導をはじめとする教育活動全般にわたる基本的な知識と基礎的な指導技術
- 京都府の教育施策に対する知識と理解、その実現に向け他者と連携して取り組む意欲と姿勢



## ステージ1（初任期・教職経験1年～6年）

大学等で学んだ知識や指導技術を生かしながら、初任者・新規採用者研修や2年目研修等の受講、日々の業務遂行におけるOJT等を通して、学習指導や生徒指導等の専門性や指導技術等の基礎・基本を身に付け、教職生涯の基盤を構築する段階

### 〈求められる資質能力〉

- 教育公務員としての自覚・使命感
- 管理職や先輩教職員等から積極的に学び、その学びを自身の教育実践（学習指導、生徒指導、学級経営等）に生かす力
- 校務分掌組織の一員として、責任を持って役割を果たし、学校運営に参画しようとする意欲・態度

## ステージ2（中堅期・教職経験7年～15年）

研修や経験を通して実践的指導力を高め、自己の指導スタイルを確立し、ミドルリーダーとして校務分掌の業務を遂行するとともに、先輩教職員から学びつつ、後輩教職員に対して経験や年齢が近い立場から助言するなど、人材育成に関わる段階

### 〈求められる資質能力〉

- ミドルリーダーとしての自覚・責任感
- 安定した教育実践（学習指導、生徒指導、学級経営等）と課題に応じた工夫ができる実践的指導力
- 校務分掌組織の中心として他の組織とも連携しながら学校運営に積極的に貢献できる力

## ステージ3（充実期・教職経験16年～24年）

研修や経験を通して実践的指導力をさらに高めるとともに、学校内外に幅広い視野を持って教育実践を発展させながら、校務分掌組織の主任等として学校経営に参画し、同僚や後輩教職員への助言・支援も行うなど、中核教員としての役割を担う段階

### 〈求められる資質能力〉

- 中核教員としての、自己の役割と責任の自覚
- これまでの教育実践を省察し、さらに積極的に実践的指導力を高める姿勢を有し、自らの経験をもとに同僚や後輩教職員に適切な助言・支援ができる優れた教育実践力
- 校務分掌組織をまとめて導くリーダー性、分掌間の連携を円滑に進める調整力

## ステージ4（熟練期・教職経験25年～）

豊富な経験と継続的な自己研鑽に裏打ちされた優れた教育実践力、他の教職員の模範となる安定感や信頼感を有し、さらなる工夫・改善にも不断に取り組むとともに、各分野におけるリーダー（副校長、教頭、主幹教諭、指導教諭等を含む。）として学校経営に積極的に参画する段階

### 〈求められる資質能力〉

- 学校内外におけるリーダーとしての自己の役割と責任の自覚
- 経験や高い専門性をもとに、広く周囲に適切な指導・助言ができる優れた教育実践力及び人材育成能力
- 企画力、実行力、分析力、判断力、リーダー性

学校経営に参画するためには、さらに以下の資質能力が求められる。

### 〈求められる資質能力〉

- 学校教育のさらなる充実に向けた改善意欲
- 学校教育目標の達成に向け、校長を補佐し円滑に組織を動かすマネジメント能力
- 教職員の服務、勤務時間、健康等の適切な管理ができる人事管理能力（管理職）

校長については、学校を統括する者としてのリーダーシップ等、校長に特に求められる資質能力を他の職と区別するため、別の指標を設けています。

## 【採用からの年数の目安について】

- **ステージ1（初任期）**は、基礎・基本を形成する期間として、新規採用以降1年目から6年目として設定
- **ステージ2（中堅期）**以降は、キャリアラインの分かれ目となる40歳代半ばまでの期間を9年ずつに分け、前期の7年目から15年目を**中堅教諭等資質向上研修の対象となる期間を含むステージ2（中堅期）**、後期の16年目から24年目を**ステージ3（充実期）**として設定
- **ステージ4（熟練期）**は、キャリアラインが分かれる時期である40歳代半ば以降の期間として設定  
ステージ4（熟練期）の中に、「**学校経営への参画**」として、学校経営に参画するために必要な資質能力の枠を設定



# 指 標

観点	(主な要素)	ステージ0	ステージ1
		着任時	初任期 (1年～6年)
基本的 資質能力	使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情と使命感・情熱を持っている。</li> <li>○教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。</li> <li>○社会人として必要なモラルや常識を身に付けている。</li> <li>○円滑なコミュニケーションができ、良好な人間関係を築くことができる。</li> <li>○求められる京都府の教員像を理解し、それに向かって自己を省察し、常に学び続けようとしている。</li> <li>○基本的な事務処理能力がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、社会人として良識ある言動ができる。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と円滑なコミュニケーションができる。</li> <li>○自己を省察しながら研修に励み、他から積極的に学ぶ姿勢を有している。</li> <li>○事務処理を正確に行うことができる。</li> </ul>
人権	人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚を持っている。</li> <li>○人権教育に関する基礎的な知識を有している。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。</li> <li>○一人一人の児童生徒を大切に、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基礎的な知識を有している。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に関する基礎的な知識・技能を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神に基づいて行動できる。</li> <li>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に取り組むことができる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組むことができる。</li> </ul>
学習指導	学習指導要領等の趣旨の実現、教育課程の実践、指導方法、指導技術、学習評価、ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領等や指導案作成に関する基礎的な知識を有し、指導案を作成できる。</li> <li>○各教科等の指導内容や指導方法についての基礎的な知識や指導技術を有している。</li> <li>○学習評価に関する基礎的な知識を有している。</li> <li>○ICT活用の基礎的な知識や技能を有し、授業改善のための方法・技術を学ぼうとする姿勢がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領等に基づいた指導案を作成し、それに沿った授業ができる。</li> <li>○各教科等の教材研究に取り組み、指導技術を高めることができる。</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、ICT活用も含め、授業改善に取り組むことができる。</li> <li>○学習過程や成果に対して評価や評定を行うことができる。</li> </ul>
生徒指導	学級経営、児童生徒理解、生徒指導、教育相談、進路指導、キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒理解や受容的・共感的な関わりの必要性を認識し、基礎的な知識を有している。</li> <li>○生徒指導や教育相談の基礎的な知識や技能を有している。</li> <li>○学級担任の職務や役割についての基礎的な知識を有している。</li> <li>○キャリア教育に関する意義を理解し、基礎的な知識を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担当する児童生徒の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導に取り組むことができる。</li> <li>○児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わる事ができる。</li> <li>○児童生徒の変化に気づき、課題の解決に向けて他の教職員と協力して対応できる。</li> <li>○同年度の教員と協力しながら、担任として責任を持って学級経営ができる。</li> <li>○キャリア教育の視点を生かした教育活動ができる。</li> </ul>
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌や学校運営の仕組みなどの基礎的な知識を有している。</li> <li>○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。</li> <li>○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基礎的な知識を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担当する校務分掌における自己の役割を理解し、責任を持ってその役割を果たすことで学校運営に参画できる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うなど、学校の危機管理マニュアルに沿った行動ができる。</li> </ul>
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他の教職員、家庭や地域社会、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。</li> <li>○資質能力の向上の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導・助言を受け、自己の資質能力を向上させようとする姿勢がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織の一員として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。</li> <li>○専門家や関係機関と連携しながら業務を遂行できる。</li> <li>○管理職や先輩教職員から積極的に学ぶ姿勢を持ち、その指導・助言を受けて、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に取り組むことができる。</li> </ul>
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、グローバル化への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランを理解している。</li> <li>○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化に対する基礎的な知識を有し、児童生徒に継承していくことの必要性を理解している。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、自らのコミュニケーション能力等を高める努力をするとともに、児童生徒に身に付けさせる必要性を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元しようとする努力ができる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深めるとともに、児童生徒の学習を構想し実践できる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を意識した指導ができる。</li> </ul>

<p>ステージ2</p> <p>中堅期 (7年～15年)</p>	<p>ステージ3</p> <p>充実期 (16年～24年)</p>	<p>ステージ4</p> <p>熟練期(25年～)</p> <p>学校経営への参画</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、教員として模範となる良識ある言動ができる。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的なコミュニケーションができる。</li> <li>○中堅教員としての資質能力の向上に向けて自己を省察し、積極的に学ぶことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、助言・支援できる。</li> <li>○さらなる資質能力の向上に向けて自己を省察し、高い意欲を持って積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼関係が確立されている。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、他の教職員に指導・助言できる。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、指導・助言できる。</li> <li>○不断に自己を省察し、研鑽に励むとともに、自らの資質能力の向上を学校全体の教育実践の充実へつなげることができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動できる。</li> <li>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、的確に実践できる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた的確な支援ができる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業について、他の教職員に助言・支援できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権教育を推進する牽引役として、校内体制を整え、取組を企画・指導できる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、校内体制を構築できる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に必要な校内体制を構築するとともに、個別事例の的確な状況把握と教職員への指導ができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できる。</li> <li>○各教科等の指導において、主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、ICT活用も含め、授業改善や教材研究に取り組むことができる。</li> <li>○学習過程や成果に対して的確な評価や評定を行い、授業改善に生かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できるとともに、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○各教科等の指導において、主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、ICT活用も含め、授業改善や教材研究に取り組み、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、それを生かした授業改善について、他の教職員に助言・支援できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育課程の編成を指導し、効果的な授業を展開するための校内全体の調整や進捗管理が的確にできる。</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、授業改善や教材研究を学校全体の取組として推進できる。</li> <li>○的確な評価や評定とそれを生かした授業改善について、学校全体の取組として推進できる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導を的確にできる。</li> <li>○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。</li> <li>○児童生徒の変化に気づき、課題の解決に向けて他の教職員と協力して積極的に対応できる。</li> <li>○担任として児童生徒一人一人が尊重された学級経営を推進するとともに、学年の実態を把握し、組織的に協働して取組を進めることができる。</li> <li>○キャリア教育の視点を生かした的確な教育活動ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わり、自己肯定感を涵養できる。</li> <li>○児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○キャリア教育の視点を生かした的確な教育活動について、他の教職員に助言・支援できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に指導・助言できる。</li> <li>○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、他の教職員に指導・助言できる。</li> <li>○児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に指導・助言できる。</li> <li>○キャリア教育の視点を生かした的確な教育活動について、他の教職員に指導・助言できる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織の中心となって自己の役割を果たすことで、学校運営に的確に参画できる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を図ることができる。</li> <li>○カリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に取り組むことができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用するなど、組織的かつ迅速に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員の支援や他の分掌組織との連携など、学校運営に中心的役割を果たすことができる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を積極的に提案できる。</li> <li>○カリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に中心的役割を果たすことができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用しつつ、その改善を提案するなど、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内のリーダーとしての自覚を持ち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向け、学校運営に指導的役割を果たすことができる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、学校全体の視点から業務改善を図ることができる。</li> <li>○カリキュラム・マネジメントの推進に指導的役割を果たすことができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用について周囲に指導・助言しつつ、中心となって組織的かつ迅速に取り組むことができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織の中心として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会の状況を把握し、連携しながら、教育活動に反映できる。</li> <li>○専門家や関係機関、他校の教職員と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。</li> <li>○管理職や先輩教職員からの指導・助言を受け、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に向け積極的に取り組み、後輩教職員に的確に助言できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員と連携・協働して、的確に業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて業務を遂行できる。</li> <li>○他の教職員から相談を受けたり、助言・支援したりしながら、人材育成に積極的に関わることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内のリーダーとして、他の教職員を支援しながら学校全体の連携・協働の要となり、的確に業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。</li> <li>○他の教職員から相談を受けたり、指導・助言したりしながら、校内の人材育成に中心的役割を果たすことができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元できる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習を構想し実践できる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な指導ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習について、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な指導について、他の教職員に助言・支援できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な取組において指導的役割を果たすことができる。</li> </ul>

観点	(主な要素)	ステージ0	ステージ1
		着任時	初任期 (1年～6年)
基本的 資質能力	使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情と使命感・情熱を持っている。</li> <li>○教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。</li> <li>○社会人として必要なモラルや常識を身に付けている。</li> <li>○円滑なコミュニケーションができ、良好な人間関係を築くことができる。</li> <li>○求められる京都府の教員像を理解し、それに向かって自己を省察し、常に学び続けようとしている。</li> <li>○基本的な事務処理能力がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、社会人として良識ある言動ができる。</li> <li>○他の教職員、生徒、保護者等と円滑なコミュニケーションができる。</li> <li>○自己を省察しながら研修に励み、他から積極的に学ぶ姿勢を有している。</li> <li>○事務処理を正確に行うことができる。</li> </ul>
人権	人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚を持っている。</li> <li>○人権教育に関する基礎的な知識を有している。</li> <li>○困難な状況におかれた生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。</li> <li>○一人一人の生徒を大切にし、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基礎的な知識を有している。</li> <li>○特別な配慮を必要とする生徒への支援に関する基礎的な知識・技能を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神に基づいて行動できる。</li> <li>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。</li> <li>○困難な状況におかれた生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に取り組むことができる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組むことができる。</li> </ul>
学習指導	学習指導要領等の趣旨の実現、教育課程の実践、指導方法、指導技術、学習評価、ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領等や指導案作成に関する基礎的な知識を有し、指導案を作成できる。</li> <li>○教科・科目の内容についての専門的な知識がある。</li> <li>○各教科等の指導内容や指導方法についての基礎的な知識や指導技術を有している。</li> <li>○学習評価に関する基礎的な知識を有している。</li> <li>○ICT活用の基礎的な知識や技能を有し、授業改善のための方法・技術を学ぼうとする姿勢がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領等に基づいた指導案を作成し、それに沿った授業ができる。</li> <li>○教科・科目に関する高い専門性を有し、各教科等の教材研究に取り組み、指導技術を高めることができる。</li> <li>○学校の設置学科・コースの特色や教育目標を理解している。</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、ICT活用も含め、授業改善に取り組むことができる。</li> <li>○学習過程や成果に対して評価や評定を行うことができる。</li> </ul>
生徒指導	ホームルーム経営、生徒理解、生徒指導、教育相談、進路指導、キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生徒理解や受容的・共感的な関わりの必要性を認識し、基礎的な知識を有している。</li> <li>○生徒指導や教育相談の基礎的な知識や技能を有している。</li> <li>○ホームルーム担任の職務や役割についての基礎的な知識を有している。</li> <li>○キャリア教育に関する意義を理解し、基礎的な知識を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担当する生徒の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導に取り組むことができる。</li> <li>○生徒理解をもとに、受容的・共感的に生徒と関わることができる。</li> <li>○生徒の変化に気づき、課題の解決に向けて他の教職員と協力して対応できる。</li> <li>○同年度の教員と協力しながら、担任として責任を持ってホームルーム経営ができる。</li> <li>○キャリア教育の視点を生かし、生徒の希望進路の実現に向けた指導ができる。</li> </ul>
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌や学校運営の仕組みなどの基礎的な知識を有している。</li> <li>○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。</li> <li>○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基礎的な知識を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担当する校務分掌における自己の役割を理解し、責任を持ってその役割を果たすことで学校運営に参画できる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うなど、学校の危機管理マニュアルに沿った行動ができる。</li> </ul>
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他の教職員、家庭や地域社会、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。</li> <li>○資質能力の向上の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導・助言を受け、自己の資質能力を向上させようとする姿勢がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織の一員として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。</li> <li>○専門家や関係機関と連携しながら業務を遂行できる。</li> <li>○管理職や先輩教職員から積極的に学ぶ姿勢を持ち、その指導・助言を受けて、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に取り組むことができる。</li> </ul>
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、グローバル化への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランを理解している。</li> <li>○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化に対する基礎的な知識を有し、生徒に継承していくことの必要性を理解している。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、自らのコミュニケーション能力等を高める努力をするとともに、生徒に身に付けさせる必要性を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元しようとする努力がある。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深めるとともに、生徒の学習を構想し実践できる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、生徒のコミュニケーション能力の育成を意識した指導ができる。</li> </ul>



ステージ2	ステージ3	ステージ4
<p>中堅期 (7年～15年)</p>	<p>充実期 (16年～24年)</p>	<p>熟練期(25年～)</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">学校経営への参画</p>
<p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、教員として模範となる良識ある言動ができる。 ○他の教職員、生徒、保護者等と積極的なコミュニケーションができる。 ○中堅教員としての資質能力の向上に向けて自己を省察し、積極的に学ぶことができる。</p>	<p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。 ○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。 ○他の教職員、生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、助言・支援できる。 ○さらなる資質能力の向上に向けて自己を省察し、高い意欲を持って積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。</p>	<p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼関係が確立されている。 ○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、他の教職員に指導・助言できる。 ○他の教職員、生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、指導・助言できる。 ○不断に自己を省察し、研鑽に励むとともに、自らの資質能力の向上を学校全体の教育実践の充実へつなげることができる。</p> <p>○高い調整力を有し、教職員の連携・協働の状況に目配りをしながら、円滑な教育活動につながるよう指導できる。 ○リーダーとして、不断の研鑽に励み、自らの人格と資質能力を高めながら、学校経営に参画することができる。</p>
<p>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、的確に実践できる。 ○困難な状況におかれた生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。 ○特別な配慮を必要とする生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業に取り組むことができる。</p>	<p>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員に助言・支援できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。 ○困難な状況におかれた生徒の背景にある様々な状況を踏まえた的確な支援ができる。 ○特別な配慮を必要とする生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業について、他の教職員に助言・支援できる。</p>	<p>○人権尊重の精神に基づいて、他の教職員の模範となって行動し、他の教職員に指導・助言できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項について、他の教職員に指導・助言できる。 ○困難な状況におかれた生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、他の教職員に指導・助言できる。 ○特別な配慮を必要とする生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○人権教育を推進する牽引役として、校内体制を整え、取組を企画・指導できる。 ○困難な状況におかれた生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、校内体制を構築できる。 ○特別な配慮を必要とする生徒への支援に必要な校内体制を構築するとともに、個別事例の的確な状況把握と教職員への指導ができる。</p>
<p>○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できる。 ○教科・科目に関する高い専門性を有し、学校の設置学科・コースの特色や教育目標を踏まえて、効果的な授業を行うことができる。 ○各教科等の指導において、主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、ICT活用も含め、授業改善や教材研究に取り組むことができる。 ○学習過程や成果に対する的確な評価や評定を行い、授業改善に生かすことができる。</p>	<p>○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できるとともに、他の教職員に助言・支援できる。 ○各教科等の指導において、学校の設置学科・コースの特色や教育目標を踏まえて、主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、ICT活用も含め、授業改善や教材研究に取り組み、他の教職員に助言・支援できる。 ○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、それを生かした授業改善について、他の教職員に助言・支援できる。</p>	<p>○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。 ○各教科等の指導において、学校の設置学科・コースの特色や教育目標を踏まえて、主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、ICT活用も含め、新しい指導方法も積極的に取り入れるなど授業改善や教材研究に不断に取り組む、他の教職員に指導・助言できる。 ○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、それを生かした授業改善について、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○教育課程の編成を指導し、効果的な授業を展開するための校内全体の調整や進捗管理が的確にできる。 ○学校の設置学科・コースの特色や教育目標を踏まえて、主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、授業改善や教材研究を学校全体の取組として推進できる。 ○的確な評価や評定とそれを生かした授業改善について、学校全体の取組として推進できる。</p>
<p>○生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導を的確にできる。 ○深い生徒理解をもとに、受容的・共感的に生徒と関わることができる。 ○生徒の変化に気付く、課題の解決に向けて他の教職員と協力して積極的に対応できる。 ○担任として生徒一人一人が尊重されたホームルーム経営を推進するとともに、学年の実態を把握し、組織的に協働して取組を進めることができる。 ○キャリア教育の視点を生かした的確な進路指導ができる。</p>	<p>○生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に助言・支援できる。 ○深い生徒理解をもとに、受容的・共感的に生徒と関わり、自己肯定感を涵養できる。 ○生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に助言・支援できる。 ○キャリア教育の視点を生かした的確な進路指導など、的確な教育活動について、他の教職員に助言・支援できる。</p>	<p>○生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に指導・助言できる。 ○生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、他の教職員に指導・助言できる。 ○生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に指導・助言できる。 ○キャリア教育の視点を生かした的確な進路指導など、的確な教育活動について、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導や集団指導のための校内体制を構築できる。 ○生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、学校全体の取組として推進できる。 ○生徒の課題の解決に向けた校内体制を構築できる。 ○キャリア教育の視点を生かした的確な進路指導など、効果的な教育活動全体の進捗管理ができる。</p>
<p>○校務分掌組織の中心となって自己の役割を果たすことで、学校運営に的確に参画できる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を図ることができる。 ○カリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に取り組むことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用するなど、組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p>	<p>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員の支援や他の分掌組織との連携など、学校運営に中心的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を積極的に提案できる。 ○カリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に中心的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用しつつ、その改善を提案するなど、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p>	<p>○校内のリーダーとしての自覚を持ち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向け、学校運営に指導的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向けて、学校全体の視点から業務改善を図ることができる。 ○カリキュラム・マネジメントの推進に指導的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用について周囲に指導・助言しつつ、中心となって組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p> <p>○校長の方針のもと、明確なビジョンを持ち、効率的な業務の遂行のための組織づくりができる。 ○教職員の業務状況の把握や健康管理が的確にできる。 ○学校の特色を踏まえ、中長期的な見直しを持って、カリキュラム・マネジメントを方向付け推進できる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用に必要な校内体制を構築できる。</p>
<p>○校務分掌組織の中心として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会の状況を把握し、連携しながら、教育活動に反映できる。 ○専門家や関係機関、他校の教職員と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。 ○管理職や先輩教職員からの指導・助言を受け、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に向け積極的に取り組み、後輩教職員に的確に助言できる。</p>	<p>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員と連携・協働して、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、助言・支援したりしながら、人材育成に積極的に関わることができる。</p>	<p>○校内のリーダーとして、他の教職員を支援しながら学校全体の連携・協働の要となり、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、指導・助言したりしながら、校内の人材育成に中心的役割を果たすことができる。</p> <p>○教職員一人一人の資質能力や役割を的確に把握し、活用し、協働的で効率的な組織を構築できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けた取組の進捗管理ができる。 ○教職員一人一人のキャリアステージに応じた資質能力の形成に向け、人材育成のための校内体制を構築できる。</p>
<p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習を構想し実践できる。 ○グローバル化に伴う社会変化を認識し、生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な指導ができる。</p>	<p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習について、他の教職員に助言・支援できる。 ○グローバル化に伴う社会変化を認識し、生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な指導について、他の教職員に助言・支援できる。</p>	<p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。 ○グローバル化に伴う社会変化を認識し、生徒のコミュニケーション能力を育成するため、学校全体の取組において指導的役割を果たすことができる。</p> <p>○社会情勢の動きの中で教育を捉え、広い視野と教養を持って、京都府教育振興プランの実現に向けて校内体制を構築できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための校内体制を構築できる。 ○グローバル化を見据え、生徒のコミュニケーション能力を育成するための校内体制を構築できる。</p>

観点	(主な要素)	ステージ0	ステージ1
		着任時	初任期 (1年～6年)
基本的 資質能力	使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情と使命感・情熱を持っている。</li> <li>○教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。</li> <li>○社会人として必要なモラルや常識を身に付けている。</li> <li>○円滑なコミュニケーションができ、良好な人間関係を築くことができる。</li> <li>○求められる京都府の教員像を理解し、それに向かって自己を省察し、常に学び続けようとしている。</li> <li>○基本的な事務処理能力がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、社会人として良識ある言動ができる。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と円滑なコミュニケーションができる。</li> <li>○自己を省察しながら研修に励み、他から積極的に学ぶ姿勢を有している。</li> <li>○事務処理を正確に行うことができる。</li> </ul>
人権	人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚を持っている。</li> <li>○人権教育に関する基礎的な知識を有している。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。</li> <li>○一人一人の児童生徒を大切に、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基礎的な知識を有している。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に関する基礎的な知識・技能を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神に基づいて行動できる。</li> <li>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に取り組むことができる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組むことができる。</li> </ul>
学習指導	学習指導要領等の趣旨の実現、教育課程の実践、指導方法、指導技術、学習評価、ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領等や指導案作成に関する基礎的な知識を有し、指導案を作成できる。</li> <li>○それぞれの障害の特性を理解し、個別の指導計画や教育支援計画について基礎的な知識を有している。</li> <li>○各教科等の指導内容や指導方法についての基礎的な知識や指導技術を有している。</li> <li>○学習評価に関する基礎的な知識を有している。</li> <li>○ICT活用の基礎的な知識や技能を有し、授業改善のための方法・技術を学ぼうとする姿勢がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領等に基づいた指導案を作成し、それに沿った授業ができる。</li> <li>○各教科等の教材研究に取り組み、指導技術を高めることができる。</li> <li>○障害の特性を理解した個別の指導計画を作成し、それに基づく授業ができる。</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの実現に向けて、ICT活用も含め、授業改善に取り組むことができる。</li> <li>○学習過程や成果に対して評価や評定を行うことができる。</li> </ul>
生徒指導	学級経営、児童生徒理解、生徒指導、教育相談、進路指導、キャリア教育	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒理解や受容的・共感的な関わりの必要性を認識し、基礎的な知識を有している。</li> <li>○それぞれの障害の特性を理解し、生徒指導や教育相談の基礎的な知識や技能を有している。</li> <li>○学級担任の職務や役割についての基礎的な知識を有している。</li> <li>○キャリア教育に関する意義を理解し、基礎的な知識を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担当する児童生徒の個性や学齢に応じた個別指導と集団指導に取り組むことができる。</li> <li>○児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。</li> <li>○児童生徒の変化に気づき、課題の解決に向けて他の教職員と協力して対応できる。</li> <li>○同学年の教員と協力しながら、担任として責任を持って学級経営ができる。</li> <li>○キャリア教育の視点を生かし、児童生徒の自立と社会参加に向けた教育活動ができる。</li> </ul>
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌や学校運営の仕組みなどの基礎的な知識を有している。</li> <li>○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。</li> <li>○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基礎的な知識を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担当する校務分掌における自己の役割を理解し、責任を持ってその役割を果たすことで学校運営に参画できる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うなど、学校の危機管理マニュアルに沿った行動ができる。</li> </ul>
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他の教職員、家庭や地域社会、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。</li> <li>○資質能力の向上の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導・助言を受け、自己の資質能力を向上させようとする姿勢がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織の一員として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。</li> <li>○専門家や関係機関と連携しながら業務を遂行できる。</li> <li>○管理職や先輩教職員から積極的に学ぶ姿勢を持ち、その指導・助言を受けて、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に取り組むことができる。</li> </ul>
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、グローバル化への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランを理解している。</li> <li>○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化に対する基礎的な知識を有し、児童生徒に継承していくことの必要性を理解している。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、自らのコミュニケーション能力等を高める努力をするとともに、児童生徒に身に付けさせる必要性を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元しようとする努力ができる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深めるとともに、児童生徒の学習を構想し実践できる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を意識した指導ができる。</li> </ul>



<p>ステージ2 中堅期 (7年～15年)</p>	<p>ステージ3 充実期 (16年～24年)</p>	<p>ステージ4 熟練期(25年～) 学校経営への参画</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、教員として模範となる良識ある言動ができる。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的なコミュニケーションができる。</li> <li>○中堅教員としての資質能力の向上に向けて自己を省察し、積極的に学ぶことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、助言・支援できる。</li> <li>○さらなる資質能力の向上に向けて自己を省察し、高い意欲を持って積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼関係が確立されている。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、他の教職員に指導・助言できる。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、指導・助言できる。</li> <li>○不断に自己を省察し、研鑽に励むとともに、自らの資質能力の向上を学校全体の教育実践の充実へつなげることができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動できる。</li> <li>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、的確に実践できる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた的確な支援ができる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業について、他の教職員に助言・支援できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権教育を推進する牽引役として、校内体制を整え、取組を企画・指導できる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、校内体制を構築できる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に必要な校内体制を構築するとともに、個別事例の的確な状況把握と教職員への指導ができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できる。</li> <li>○障害の特性を理解した個別の指導計画を作成し、それに基づく効果的な授業ができる。</li> <li>○各教科等の指導において、主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、ICT活用も含め、授業改善や教材研究に取り組むことができる。</li> <li>○学習過程や成果に対する的確な評価や評定を行い、授業改善に生かすことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できるとともに、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○各教科等の指導において、障害の特性を理解した個別の指導計画に基づく主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、ICT活用も含め、授業改善や教材研究に取り組む、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、それを生かした授業改善について、他の教職員に助言・支援できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学習指導要領等に基づき、内容の系統性も踏まえて効果的な授業を展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。</li> <li>○各教科等の指導において、障害の特性を理解した個別の指導計画に基づく主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、ICT活用も含め、新しい指導方法も積極的に取り入れるなど授業改善や教材研究に不断に取り組む、他の教職員に指導・助言できる。</li> <li>○学習過程や成果に対する的確な評価や評定と、それを生かした授業改善について、他の教職員に指導・助言できる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導を的確にできる。</li> <li>○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わる事ができる。</li> <li>○児童生徒の変化に気付く、課題の解決に向けて他の教職員と協力して積極的に対応できる。</li> <li>○担任として児童生徒一人一人の特性に合った学級経営を推進するとともに、学部全体の実態を把握し、組織的に協働して取組を進めることができる。</li> <li>○キャリア教育の視点を生かし、児童生徒の自立と社会参加に向けた的確な教育活動ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わり、自己肯定感を涵養できる。</li> <li>○児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学部全体の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○キャリア教育の視点を生かし、児童生徒の自立と社会参加に向けた的確な教育活動について、他の教職員に助言・支援できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導について、他の教職員に指導・助言と指導できる。</li> <li>○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、他の教職員に指導・助言できる。</li> <li>○児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学部全体の実態を踏まえながら対応でき、他の教職員に指導・助言できる。</li> <li>○キャリア教育の視点を生かし、児童生徒の自立と社会参加に向けた的確な教育活動について、他の教職員に指導・助言できる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織の中心となって自己の役割を果たすことで、学校運営に的確に参画できる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を図ることができる。</li> <li>○カリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に取り組むことができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用するなど、組織的かつ迅速に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員の支援や他の分掌組織との連携など、学校運営に中心的役割を果たすことができる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を積極的に提案できる。</li> <li>○カリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に中心的役割を果たすことができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用しつつ、その改善を提案するなど、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内のリーダーとしての自覚を持ち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向け、学校運営に指導的役割を果たすことができる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、学校全体の視点から業務改善を図ることができる。</li> <li>○カリキュラム・マネジメントの推進に指導的役割を果たすことができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用について周囲に指導・助言しつつ、中心となって組織的かつ迅速に取り組むことができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織の中心として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会の状況を把握し、連携しながら、教育活動に反映できる。</li> <li>○専門家や関係機関、他校の教職員と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。</li> <li>○管理職や先輩教職員からの指導・助言を受け、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に向け積極的に取り組み、後輩教職員に的確に助言できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員と連携・協働して、的確に業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて業務を遂行できる。</li> <li>○他の教職員から相談を受けたり、助言・支援したりしながら、人材育成に積極的に関わることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内のリーダーとして、他の教職員を支援しながら学校全体の連携・協働の要となり、的確に業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。</li> <li>○他の教職員から相談を受けたり、指導・助言したりしながら、校内の人材育成に中心的役割を果たすことができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元できる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習を構想し実践できる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な指導ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習について、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な指導について、他の教職員に助言・支援できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成する果たすことができる。</li> </ul>

観点	(主な要素)	ステージ0	ステージ1
		着任時	初任期 (1年～6年)
基本的 資質能力	使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情と使命感・情熱を持っている。</li> <li>○教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。</li> <li>○社会人として必要なモラルや常識を身に付けている。</li> <li>○円滑なコミュニケーションができ、良好な人間関係を築くことができる。</li> <li>○求められる京都府の教員像を理解し、それに向かって自己を省察し、常に学び続けようとしている。</li> <li>○基本的な事務処理能力がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、社会人として良識ある言動ができる。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と円滑なコミュニケーションができる。</li> <li>○自己を省察しながら研修に励み、他から積極的に学ぶ姿勢を有している。</li> <li>○事務処理を正確に行うことができる。</li> </ul>
人権	人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚を持っている。</li> <li>○人権教育に関する基礎的な知識を有している。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。</li> <li>○一人一人の児童生徒を大切に、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基礎的な知識を有している。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に関する基礎的な知識・技能を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神に基づいて行動できる。</li> <li>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に取り組むことができる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組むことができる。</li> </ul>
養護教諭 としての 専門領域	保健管理、保健教育、健康相談、保健室経営、保健組織活動、指導方法、指導技術、児童生徒理解、生徒指導、教育相談、ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○養護教諭の職務や役割についての基礎的な知識を有している。</li> <li>○児童生徒の怪我や病気、事故等への対応について、専門的な知識に基づき対応できる。</li> <li>○学習指導要領等及び学校保健安全法や保健管理、保健教育について基礎的な知識を有している。</li> <li>○健康相談や保健指導の基本的な方法を理解している。</li> <li>○保健組織活動の意義と重要性を理解している。</li> <li>○児童生徒理解や受容的・共感的な関わり的重要性を認識し、基礎的な知識を有している。</li> <li>○生徒指導や教育相談の基礎的な知識を有している。</li> <li>○ICT活用の基礎的な知識や技能を有し、業務の改善のための方法・技術を学ぼうとする姿勢がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒の怪我や病気、事故等の対応について、専門的な知識に基づき、的確に対応し、指導できる。</li> <li>○児童生徒の発達段階に応じた健康課題を把握し、適切に対処できる。</li> <li>○保健教育における自身の役割を理解し、専門性を生かした保健教育ができる。</li> <li>○健康相談の基本的な過程を理解し、児童生徒の心身の発達段階に応じた健康相談を実施できる。</li> <li>○保健室経営計画を作成し、児童生徒の課題に応じた保健室経営ができる。</li> <li>○保健組織活動を推進できるよう、企画運営に参画できる。</li> <li>○児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。</li> <li>○児童生徒の変化に気づき、課題の解決に向けて他の教職員と協力して対応できる。</li> <li>○ICT活用の知識や技能を有し、それを生かして基本的な業務ができる。</li> </ul>
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌や学校運営の仕組みなどの基礎的な知識を有している。</li> <li>○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。</li> <li>○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基礎的な知識を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担当する校務分掌における自己の役割を理解し、責任を持ってその役割を果たすことで学校運営に参画できる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うなど、学校の危機管理マニュアルに沿った行動ができる。</li> </ul>
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他の教職員、家庭や地域社会、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。</li> <li>○資質能力の向上の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導・助言を受け、自己の資質能力を向上させようとする姿勢がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織の一員として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。</li> <li>○専門家や関係機関と連携しながら業務を遂行できる。</li> <li>○管理職や先輩教職員から積極的に学ぶ姿勢を持ち、その指導・助言を受けて、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に取り組むことができる。</li> </ul>
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、グローバル化への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランを理解している。</li> <li>○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化に対する基礎的な知識を有し、児童生徒に継承していくことの必要性を理解している。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、自らのコミュニケーション能力等を高める努力をするとともに、児童生徒に身に付けさせる必要性を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元しようとする努力ができる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深めるとともに、児童生徒の学習を構想し実践できる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を意識した指導ができる。</li> </ul>



ステージ2	ステージ3	ステージ4
<p>中堅期 (7年～15年)</p>	<p>充実期 (16年～24年)</p>	<p>熟練期(25年～)</p> <p style="border: 1px dashed black; padding: 2px;">学校経営への参画</p>
<p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。 ○コンプライアンス意識を有し、教員として模範となる良識ある言動ができる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的なコミュニケーションができる。 ○中堅教員としての資質能力の向上に向けて自己を省察し、積極的に学ぶことができる。</p>	<p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。 ○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、助言・支援できる。 ○さらなる資質能力の向上に向けて自己を省察し、高い意欲を持って積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。</p>	<p>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼関係が確立されている。 ○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、他の教職員に指導・助言できる。 ○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、指導・助言できる。 ○不断に自己を省察し、研鑽に励むとともに、自らの資質能力の向上を学校全体の教育実践の充実へつなげることができる。</p> <p>○高い調整力を有し、教職員の連携・協働の状況に目配りをしながら、円滑な教育活動につながるよう指導できる。 ○リーダーとして、不断の研鑽に励み、自らの人格と資質能力を高めながら、学校経営に参画することができる。</p>
<p>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、的確に実践できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業に取り組むことができる。</p>	<p>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員に助言・支援できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた的確な支援ができる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業について、他の教職員に助言・支援できる。</p>	<p>○人権尊重の精神に基づいて、他の教職員の模範となって行動し、他の教職員に指導・助言できる。 ○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項について、他の教職員に指導・助言できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、他の教職員に指導・助言できる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業を確立し、他の教職員に指導・助言できる。</p> <p>○人権教育を推進する牽引役として、校内体制を整え、取組を企画・指導できる。 ○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、校内体制を構築できる。 ○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に必要な校内体制を構築するとともに、個別事例の的確な状況把握と他の教職員への指導ができる。</p>
<p>○児童生徒の怪我や病氣、事故等への対応や未然防止について知識を深め、的確に対応できるとともに校内全体へ助言できる。 ○心身の健康課題を総合的に捉え、校内支援体制の充実に努めることができる。 ○児童生徒の実態に応じた保健教育を推進できる。 ○保健室経営計画に基づき、保健室を経営、評価し、次年度の取組に生かせる。 ○保健組織が主体的に活動できるよう、内容の工夫や改善を図ることができる。 ○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。 ○児童生徒の変化に気付き、課題の解決に向けて他の教職員と協力して積極的に対応できる。 ○ICT活用の知識や技能を有し、それを生かして効果的に業務を進めることができる。</p>	<p>○児童生徒の怪我や病氣、事故等への対応や未然防止について高い専門性と深い知識を持ち、的確に対処できるとともに校内全体へ助言できる。 ○児童生徒の心身の健康問題に対して、他の教職員への指導的役割を果たすことができる。 ○保健組織が主体的に活動できるよう指導できる。 ○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わり、自己肯定感を涵養できる。 ○児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえ、養護教諭としての専門性を生かして積極的に対応できる。 ○保健室経営計画に基づき、保健室を経営、評価し、学校教育目標の実現に向けた取組ができる。 ○ICT活用の知識や技能を生かした効果的な業務の進め方について、他の養護教諭に助言・支援できる。</p>	<p>○児童生徒の怪我や病氣、事故等への対応や未然防止について高い専門性と深い知識を持ち、的確に対応できるとともに校内だけでなく地域や府内へ発信できる。 ○近隣の学校と連携し、地域全体で健康づくりを進め、自らの実践を発信できる。 ○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、他の教職員に助言できる。 ○児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえ、他の教職員に対して養護教諭としての専門性を生かした助言ができる。 ○ICT活用の知識や技能を生かした効果的な業務の進め方について、他の養護教諭に指導的役割を果たすことができる。</p> <p>○養護教諭としての専門性を生かしながら、教育目標の実現に向けた取組について、校内全体の調整や進行管理が的確にできる。 ○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導や集団指導について、教職員に指導できる。 ○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、教職員に指導できる。 ○児童生徒の課題の解決に向けて、関係機関とも連携しながら、見通しを持った対応の方向性を示すことができる。</p>
<p>○校務分掌組織の中心となって自己の役割を果たすことで、学校運営に的確に参画できる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を図ることができる。 ○カリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に取り組むことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用するなど、組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p>	<p>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員の支援や他の分掌組織との連携など、学校運営に中心的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を積極的に提案できる。 ○カリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に中心的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用しつつ、その改善を提案するなど、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p>	<p>○校内のリーダーとしての自覚を持ち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向け、学校運営に指導的役割を果たすことができる。 ○効率的な業務の遂行に向け、学校全体の視点から業務改善を図ることができる。 ○カリキュラム・マネジメントの推進に指導的役割を果たすことができる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用について周囲に指導・助言しつつ、中心となって組織的かつ迅速に取り組むことができる。</p> <p>○校長の方針のもと、明確なビジョンを持ち、効率的な業務の遂行のための組織づくりができる。 ○教職員の業務状況の把握や健康管理が的確にできる。 ○学校の特色を踏まえ、中長期的な見通しを持って、カリキュラム・マネジメントを方向付け推進できる。 ○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用に必要な校内体制を構築できる。</p>
<p>○校務分掌組織の中心として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会の状況を把握し、連携しながら、教育活動に反映できる。 ○専門家や関係機関、他校の教職員と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。 ○管理職や先輩教職員からの指導・助言を受け、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に向け積極的に取り組み、後輩教職員に的確に助言できる。</p>	<p>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員と連携・協働して、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、助言・支援したりしながら、人材育成に積極的に関わることができる。</p>	<p>○校内のリーダーとして、他の教職員を支援しながら学校全体の連携・協働の要となり、的確に業務を遂行できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。 ○他の教職員から相談を受けたり、指導・助言したりしながら、校内の人材育成に中心的役割を果たすことができる。</p> <p>○教職員一人一人の資質能力や役割を的確に把握・活用し、協働的で効果的な組織を構築できる。 ○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けた取組の進行管理ができる。 ○教職員一人一人のキャリアステージに応じた資質能力の形成に向け、人材育成のための校内体制を構築できる。</p>
<p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習を構想し実践できる。 ○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な指導ができる。</p>	<p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための効果的な学習について、他の教職員に助言・支援できる。 ○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な指導について、他の教職員に助言・支援できる。</p>	<p>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。 ○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な取組において指導的役割を果たすことができる。</p> <p>○社会情勢の動きの中で教育を捉え、広い視野と教養を持って、京都府教育振興プランの実現に向けて校内体制を構築できる。 ○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための校内体制を構築できる。 ○グローバル化を見据え、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための校内体制を構築できる。</p>

観点	(主な要素)	ステージ0	ステージ1
		着任時	初任期 (1年～6年)
基本的 資質能力	使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情と使命感・情熱を持っている。</li> <li>○教職生涯にわたって健康を維持できる心身のたくましさがある。</li> <li>○社会人として必要なモラルや常識を身に付けている。</li> <li>○円滑なコミュニケーションができ、良好な人間関係を築くことができる。</li> <li>○求められる京都府の教員像を理解し、それに向かって自己を省察し、常に学び続けようとしている。</li> <li>○基本的な事務処理能力がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、行動できる。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、社会人として良識ある言動ができる。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と円滑なコミュニケーションができる。</li> <li>○自己を省察しながら研修に励み、他から積極的に学ぶ姿勢を有している。</li> <li>○事務処理を正確に行うことができる。</li> </ul>
人権	人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神と人権教育の担い手であるという自覚を持っている。</li> <li>○人権教育に関する基礎的な知識を有している。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒には、背景にある様々な状況を踏まえた対応が必要であることを認識している。</li> <li>○一人一人の児童生徒を大切に、配慮できる姿勢と、ユニバーサルデザインや合理的配慮の提供についての基礎的な知識を有している。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に関する基礎的な知識・技能を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神に基づいて行動できる。</li> <li>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、それに基づいた取組ができる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた対応に取り組むことができる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を意識した指導や授業に取り組むことができる。</li> </ul>
栄養教諭 としての 専門領域	学校給食の管理、食に関する指導、指導方法、指導技術、児童生徒理解、生徒指導、教育相談、ICT活用	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食の役割について理解し、適切な栄養管理を実施しようとしている。</li> <li>○衛生管理の重要性について理解し、適切に実施しようとしている。</li> <li>○学習指導要領等や食に関する指導について、基礎的な知識と基礎的な指導技術を有している。</li> <li>○食に関する健康課題や栄養相談について基礎的な知識を有している。</li> <li>○児童生徒理解や受容的・共感的な関わりの必要性を認識し、基礎的な知識を理解している。</li> <li>○生徒指導や教育相談の基礎的な知識を有している。</li> <li>○ICT活用の基礎的な知識や技能を有し、業務改善のための方法・技術を学ぼうとする姿勢がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食実施基準に基づいた献立が作成できる。</li> <li>○適切な衛生管理の実施のため、調理従事者や施設設備の衛生等に関して日常的に点検・確認ができる。</li> <li>○学習指導要領等を理解し、食に関する指導の指導案を作成し、それに沿った授業ができる。</li> <li>○食に関する健康課題や栄養相談について基礎的な知識を有し、食中毒や食物アレルギー等に対して個々の状況に応じた的確に対応できる。</li> <li>○児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。</li> <li>○児童生徒の変化に気付き、課題の解決に向けて他の教職員と協力して対応できる。</li> <li>○ICT活用の知識や技能を有し、それを生かした基本的な業務ができる。</li> </ul>
マネジメント	学校運営への関わり、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌や学校運営の仕組みなどの基礎的な知識を有している。</li> <li>○組織の一員としての自覚を有し、校務に積極的に参画し、他と協働して自らの役割を果たそうとする姿勢がある。</li> <li>○学校安全や危機管理の重要性を理解し、基礎的な知識を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○担当する校務分掌における自己の役割を理解し、責任を持ってその役割を果たすことで学校運営に参画できる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、セルフマネジメントができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、適切に報告、連絡、相談を行うなど、学校の危機管理マニュアルに沿った行動ができる。</li> </ul>
チーム学校	他の教職員との連携・協働、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成への関わり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他の教職員、家庭や地域社会、関係機関や多様な人材と連携・協働することの必要性を理解している。</li> <li>○資質能力の向上の重要性を理解し、管理職や先輩教職員の指導・助言を受け、自己の資質能力を向上させようとする姿勢がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織の一員として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会と積極的に交流し、実態の把握に努めることができる。</li> <li>○専門家や関係機関と連携しながら業務を遂行できる。</li> <li>○管理職や先輩教職員から積極的に学ぶ姿勢を持ち、その指導・助言を受けて、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に取り組むことができる。</li> </ul>
京都ならではの教育	京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、グローバル化への対応	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランを理解している。</li> <li>○社会情勢や世の中の出来事について知識を有し、多様な体験や交流の経験がある。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化に対する基礎的な知識を有し、児童生徒に継承していくことの必要性を理解している。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、自らのコミュニケーション能力等を高める努力をするとともに、児童生徒に身に付けさせる必要性を理解している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元しようと努力できる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化について自らの理解を深め、給食の献立の作成や食に関する指導と関連付けられる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力の育成を意識した指導ができる。</li> </ul>



ステージ2	ステージ3	ステージ4
<p>中堅期 (7年～15年)</p>	<p>充実期 (16年～24年)</p>	<p>熟練期(25年～)</p> <p>学校経営への参画</p>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動できる。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、教員として模範となる良識ある言動ができる。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的なコミュニケーションができる。</li> <li>○中堅教員としての資質能力の向上に向けて自己を省察し、積極的に学ぶことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼感がある。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、周りからの信頼が厚い。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、助言・支援できる。</li> <li>○さらなる資質能力の向上に向けて自己を省察し、高い意欲を持って積極的に研鑽に励み、教育実践の充実・深化につなげることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育的愛情や使命感・情熱に基づき、率先して行動でき、信頼関係が確立されている。</li> <li>○コンプライアンス意識を有し、他の教職員の模範となる良識ある言動ができ、他の教職員に指導・助言できる。</li> <li>○他の教職員、児童生徒、保護者等と積極的にコミュニケーションができるとともに、他の教職員の活動に関わり、指導・助言できる。</li> <li>○不断に自己を省察し、研鑽に励むとともに、自らの資質能力の向上を学校全体の教育実践の充実へつなげることができる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○高い調整力を有し、教職員の連携・協働の状況に自配りをしながら、円滑な教育活動につながるよう指導できる。</li> <li>○リーダーとして、不断の研鑽に励み、自らの人格と資質能力を高めながら、学校経営に参画することができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動できる。</li> <li>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、的確に実践できる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援ができる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権尊重の精神に基づいて率先して行動し、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項への理解を深め、主体的かつ積極的に推進できる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた的確な支援ができる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒を含むユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を踏まえた効果的な指導や授業について、他の教職員に助言・支援できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○人権教育を推進する牽引役として、校内体制を整え、取組を企画・指導できる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒の背景にある様々な状況を踏まえた支援について、校内体制を構築できる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援に必要な校内体制を構築するとともに、個別事例の的確な状況把握と教職員への指導ができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食実施基準に基づきつつ、学校や地域の特色に応じた献立が作成できる。</li> <li>○適切な衛生管理の実施のため、専門的な立場から他の教職員へ指導・助言を行うことができる。</li> <li>○学習指導要領等を理解し、教科・科目の指導内容と関連付けて食に関する指導を実施できる。</li> <li>○食に関する健康課題や栄養相談について専門知識を有し、食中毒や食物アレルギー等に対して個々の状況に応じて、他の教職員と連携して的確に対応できる。</li> <li>○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わることができる。</li> <li>○児童生徒の変化に気づき、課題の解決に向けて他の教職員と協力して積極的に対応できる。</li> <li>○ICT活用の知識や技能を有し、それを生かして効果的に業務を進めることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食実施基準に基づきつつ、学校や地域の特色に応じた献立が作成でき、近隣の学校にも積極的に発信できる。</li> <li>○学習指導要領等を理解し、児童生徒の学習段階や系統性も踏まえ、食に関する指導を的確に実施できる。</li> <li>○食に関する健康課題や栄養相談について高度な専門知識を有し、食中毒や食物アレルギー等に対して個々の状況に応じて、他の教職員へ指導的役割を果たすことができる。</li> <li>○深い児童生徒理解をもとに、受容的・共感的に児童生徒と関わり、自己肯定感を涵養できる。</li> <li>○児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえ、栄養教諭としての専門性を生かして積極的に対応できる。</li> <li>○ICT活用の知識や技能を生かした効果的な業務の進め方について、他の栄養教諭に助言・支援できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校給食実施基準に基づきつつ、学校や地域の特色に応じた献立が作成でき、近隣の学校を含めてのリーダーとして、積極的に助言できる。</li> <li>○近隣の学校と連携し、食に関する指導、食中毒や食物アレルギー等の健康課題への対応等について、地域全体に向けて自らの実践を発信できる。</li> <li>○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、他の教職員に助言できる。</li> <li>○児童生徒の課題の解決に向けて、学校や学年の実態を踏まえ、他の教職員に対して栄養教諭としての専門性を生かした助言ができる。</li> <li>○ICT活用の知識や技能を生かした効果的な業務の進め方について、他の栄養教諭に指導的役割を果たすことができる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○栄養教諭としての専門性を生かしながら、教育目標の実現に向けた取組について、校内全体の調整や進行管理が的確にできる。</li> <li>○児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏まえた個別指導や集団指導について、教職員に指導できる。</li> <li>○児童生徒への深い理解と受容的・共感的な指導方法について、教職員に指導できる。</li> <li>○児童生徒の課題の解決に向けて、関係機関とも連携しながら、見通しを持った対応の方向性を示すことができる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織の中心となって自己の役割を果たすことで、学校運営に的確に参画できる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を図ることができる。</li> <li>○カリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に取り組むことができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用するなど、組織的かつ迅速に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員の支援や他の分掌組織との連携など、学校運営に中心的役割を果たすことができる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、前例にとらわれることなく業務改善を積極的に提案できる。</li> <li>○カリキュラム・マネジメントの視点をもち、その推進に中心的役割を果たすことができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルを的確に運用しつつ、その改善を提案するなど、必要な取組を提案し、率先して組織的かつ迅速に取り組むことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内のリーダーとしての自覚を持ち、教育の動向を把握し、教育目標の実現に向け、学校運営に指導的役割を果たすことができる。</li> <li>○効率的な業務の遂行に向け、学校全体の視点から業務改善を図ることができる。</li> <li>○カリキュラム・マネジメントの推進に指導的役割を果たすことができる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用について周囲に指導・助言しつつ、中心となって組織的かつ迅速に取り組むことができる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○校長の方針のもと、明確なビジョンを持ち、効率的な業務の遂行のための組織づくりができる。</li> <li>○教職員の業務状況の把握や健康管理が的確にできる。</li> <li>○学校の特色を踏まえ、中長期的な見通しを持って、カリキュラム・マネジメントを方向付け推進できる。</li> <li>○学校安全や危機管理の観点から、学校の危機管理マニュアルの的確な運用に必要な校内体制を構築できる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織の中心として、他の教職員と連携・協働して業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会の状況を把握し、連携しながら、教育活動に反映できる。</li> <li>○専門家や関係機関、他校の教職員と連携しながら、課題解決に向けた取組ができる。</li> <li>○管理職や先輩教職員からの指導・助言を受け、同僚と切磋琢磨しながら自己の資質能力の向上に向け積極的に取り組み、後輩教職員に的確に助言できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校務分掌組織のリーダーとして、他の教職員と連携・協働して、的確に業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて業務を遂行できる。</li> <li>○他の教職員から相談を受けたり、助言・支援したりしながら、人材育成に積極的に関わることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○校内のリーダーとして、他の教職員を支援しながら学校全体の連携・協働の要となり、的確に業務を遂行できる。</li> <li>○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けて中心となって業務を遂行できる。</li> <li>○他の教職員から相談を受けたり、指導・助言したりしながら、校内の人材育成に中心的役割を果たすことができる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員一人一人の資質能力や役割を的確に把握・活用し、協働的で効率的な組織を構築できる。</li> <li>○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他校の教職員と連携・協働し、教育目標の実現に向けた取組の進行管理ができる。</li> <li>○教職員一人一人のキャリアステージに応じた資質能力の形成に向け、人材育成のための校内体制を構築できる。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、教育活動に還元できる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための給食の献立の作成や食に関する指導を効果的に実践できる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な指導ができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための給食の献立の作成や食に関する指導について、他の教職員に助言・支援できる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な指導について、他の教職員に助言・支援できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○京都府教育振興プランの実現に向け、社会情勢や世の中の出来事について日々情報収集し、多様な体験や交流を通じて自らの視野や教養を広げ、豊かな教育活動が展開できるとともに、他の教職員に指導・助言できる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を推進できる。</li> <li>○グローバル化に伴う社会変化を認識し、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための効果的な取組において指導的役割を果たすことができる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○社会情勢の動きの中で教育を捉え、広い視野と教養を持って、京都府教育振興プランの実現に向けて校内体制を構築できる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための校内体制を構築できる。</li> <li>○グローバル化を見据え、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するための校内体制を構築できる。</li> </ul>

観点	(主な要素)	校長に求められる資質能力
<p><b>基本的 資質能力</b></p>	<p>使命感、責任感、教育的愛情、コンプライアンス意識、社会性、人間性、コミュニケーション力、自己省察、自己研鑽</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高潔清廉な人格で、心身ともに健康であり、児童生徒に対する深い愛情と教職への誇りを持って学校経営を行い、教職員、児童生徒、保護者等からの厚い信頼が確立されている。</li> <li>○教職員の模範となる高いコンプライアンス意識を有し、教職員をまとめて組織的協働につなげるための確かなコミュニケーションができる。</li> <li>○学校の最高責任者として広い視野と高い識見を持ち、迅速で的確な判断・決断を行うことができる。</li> <li>○学校の最高責任者として高い使命感を持つとともに、自己を省察し職能を成長させるために学び続けることができる。</li> <li>○自校の役割やアイデンティティを確立し、明確に発信しながら、教職員と児童生徒に自校への誇りと愛着を醸成することができる。</li> </ul>
<p><b>人権</b></p>	<p>人権尊重、人権教育の推進、特別な配慮を必要とする児童生徒への支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○高い人権感覚を有し、人権尊重の精神に基づく行動の模範となり、教職員の指導ができる。</li> <li>○人権教育に関する高い識見を有し、年間を見通して計画的に学校の取組を推進できる。</li> <li>○困難な状況におかれた児童生徒への支援について、校内体制を確立し、その背景にある様々な状況を踏まえて関係機関とも連携しながら、課題解決に向けて統括できる。</li> <li>○特別な配慮を必要とする児童生徒への支援を含め、ユニバーサルデザインや合理的配慮の視点を持ち、校内体制の構築ができる。</li> </ul>
<p><b>学習指導</b></p>	<p>学習指導要領等の趣旨の実現、教育課程の管理、指導方法、指導技術、学習評価、ICT活用</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育の動向を把握し、地域の実情も踏まえた適切な学校教育目標を策定し、その実現に向け、教職員を指揮・統率して取り組むことができる。</li> <li>○学習指導要領等の内容に精通し、教育課程の編成を統括し、学校の教育目標の実現に向けた教育活動を指揮・統率できる。</li> <li>○学習指導要領等の理念の実現に向け、校内体制を構築し、ICT活用を含めて、授業改善や教材研究等の学校全体の取組を指揮・統率できる。</li> <li>○主体的・対話的で深い学びの実現に向け、校内研修を活性化して課題を明確化させ、学校全体の授業改善を指揮・統率できる。</li> </ul>
<p><b>生徒指導</b></p>	<p>児童生徒理解、生徒指導、教育相談、進路指導、キャリア教育</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○児童生徒に対する深い理解があり、受容的・共感的に関わることができるとともに、教職員が児童生徒に適切な指導・支援ができるよう、自らの経験に基づく的確な指導ができる。</li> <li>○児童生徒一人一人の状態の見立てに基づき、必要に応じて指導・支援のための校内体制を構築するとともに、保護者や関係機関と適切に連携できる。</li> <li>○キャリア教育の視点を生かした効果的な教育活動の進行管理を行うとともに、地域社会等との連携も含めた校内体制を構築できる。</li> <li>○いじめや不登校、生徒指導上の問題事象の未然防止や解決に向け、法や制度的な枠組みを踏まえ、危機管理意識と見通しを持って組織的な対応を指揮・統率できる。</li> </ul>
<p><b>マネジメント</b></p>	<p>ビジョンやリーダーシップ、学校経営、効率的な業務の遂行、カリキュラム・マネジメント、学校安全、危機管理</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学校を取り巻く状況や自校の課題を踏まえた学校づくりのビジョンを定め、その実現に向けてリーダーシップを発揮しながら的確な学校経営を行うことができる。</li> <li>○自校の教職員の業務状況や健康状態を的確に把握し、教職員の意欲を最大限に引き出しつつ、多忙化の解消と効率的な業務の遂行のための管理ができる。</li> <li>○学校や地域の特色を踏まえつつ、社会に開かれた教育課程の実現に向けたカリキュラム・マネジメントの推進を指揮・統率できる。</li> <li>○組織のリーダーとして、危機管理マニュアルの的確な運用等、学校安全の確保に向けた危機管理及び危機対応を迅速で的確に行うことができる。</li> </ul>
<p><b>チーム学校</b></p>	<p>教職員の掌握と指導、家庭や地域社会との連携・協働、関係機関や多様な人材との連携・協働、人材育成</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員一人一人の資質能力や役割を的確に把握・活用し、協働的で効率的な校内体制を構築し、活動を統括できる。</li> <li>○保護者や地域社会、専門家や関係機関、他の学校との連携体制を構築し、教育目標の実現に向けた取組を指揮・統率できる。</li> <li>○教職員一人一人のキャリアステージに応じた資質能力の形成を指導・支援し、校内全体の人材育成を指揮・統率できる。</li> <li>○副校長・教頭や主幹教諭等の計画的な人材育成に努め、マネジメント能力に長けた次世代のリーダーを育成することができる。</li> </ul>
<p><b>京都ならではの教育</b></p>	<p>京都府教育振興プランの実現、京都の伝統・文化の理解と発信、グローバル化への対応</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会情勢や世の中の出来事に精通し、社会全体の大きな流れの中で教育のあるべき方向性を見据え、高い識見と豊かな教養を持って、京都府教育振興プランの実現に向け、教育哲学や教育理念を周囲に伝播できる。</li> <li>○京都の自然、歴史、伝統・文化を尊重し理解を深めるための学校全体の取組を構想し、組織的な取組として指揮・統率できる。</li> <li>○グローバル化を見据え、児童生徒のコミュニケーション能力を育成するため、学校全体の取組を指揮・統率できる。</li> </ul>

# 総合教育センターの研修講座

# 単位制履修制度の概要

総合教育センターの研修については「単位制履修制度」を採用しています。

## 1 趣旨

単位制履修制度は、教職員個々の意欲を大切にし、キャリアステージに応じた研修を計画的・継続的に受講できるようにすることを基本的な考え方としています。また、研修履歴を活用することで、今後の研修計画に生かし、計画的な人材育成につなげようとするものです。

## 2 単位数

- (1) 1 講座の受講をもって 1 単位履修を基本とする。
- (2) 国・京都府教育委員会・教育局・市町（組合）教育委員会の実施する研修の一部も 1～3 単位として認定

## 3 研修の分類体系

- ◇基本研修 …該当者全員を対象とする、初任期育成研修及び中堅教諭等資質向上研修
- ◇専門研修 …専門的力量的の向上をねらいとして行う研修（職能別研修を含む。）
- ◇指導者養成研修 …各学校や地域における指導者を養成することを目的とした研修
- ◇中核職員養成研修…各学校や地域で中核となる教員及び事務職員を養成することを目的とした研修
- ◇特別研修 …教育課題解決のために、単年度で開催する研修

## 4 研修講座の分野

各研修講座は、その内容に照らして以下の 4 分野に整理しています（基本研修を除く。）。

- ①教科（事務職員は実務） ②領域等 ③コミュニケーション能力 ④チームマネジメント能力

## 5 研修講座のグレード

教職員のキャリアステージ、興味・関心、職能に応じ、必要な内容を必要な時機に受講しやすいように「基礎・基本」「実践の推進」「実践の発展」の 3 グレードを設定しています。

「実践の推進」は、「基礎・基本」から「実践の発展」までをつなぐ、幅広い範囲を網羅しています。

## 6 研修年に応じて求められる履修単位数

規定された研修年に応じた単位数の講座を受講してください。

- (1) 初任期育成研修【基本研修】 **必修**

受講対象者	初任期育成研修		
	初任者・ 新規採用者研修	ステップアップ研修	
		新規採用者 (平成 31 年度実施)	2 年目教員 (平成 32 年度実施)
小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の教諭	20 単位		8 単位
幼稚園教諭	11 単位		
養護教諭、栄養教諭	16 単位		
実習助手、寄宿舎指導員	9 単位	3 単位	
事務職員	8 単位		
学校図書館司書	7 単位		
学校施設管理職員	9 単位		

- (2) 中堅教諭等資質向上研修【基本研修】 **必修**  
「中堅教諭等資質向上研修講座」ページを参照してください。
- (3) 2～6年目研修  
受講対象者や選択講座数等については、「2～6年目研修講座」ページを参照してください。
- (4) 7～15年目研修  
受講対象者や選択講座数等については、「7～15年目研修講座」ページを参照してください。
- (5) 16年目以降の研修  
4分野からできるだけ偏りなく選択し、計画的に受講してください。

## 7 職位に応じて求められる単位数と履修内容（事務職員のみ）

規定された職位にあるときに必要な単位数の講座を受講してください。

※事務職員の選択講座等については、「研修講座一覧」ページを参照してください。

### (1) 主事カテゴリ研修

**必修** 主事1級在位中に**4単位**を受講してください。

※新規採用者研修の必修講座8単位を取得していれば、履修したものとします。

**指定** 指定講座の中から主事2級在位中に**1単位**を受講してください。

**選択** 選択講座の中から主事1・2級在位中に**6単位**を受講してください。

### (2) 主任カテゴリ研修

**指定** 指定講座の中から主任在位中に**1単位**、主任（係長相当職）在位中に**2単位**を受講してください。

**選択** 選択講座の中から主任・主任（係長相当職）在位中に、4分野からできるだけ偏りなく**4単位**を受講してください。

※推薦により、次の講座を受講した場合、チームマネジメント能力の2単位として**選択**講座の受講単位数に充当されます。2単位を超えた分は「総単位数」に充当されます。

- ・学校組織運営特別講座シリーズⅠ～Ⅲ
- ・チーム学校講座シリーズⅠ～Ⅳ－教員と事務職員の協働－

### (3) 事務主任・専門幹カテゴリ研修

事務主任・専門幹在位中に、4分野からできるだけ偏りなく**8単位**を受講してください。

### (4) 指定講座一覧

内容等については、各研修講座の実施概要を参照してください。

※指定講座として次の講座を受講する場合は、講座番号951～959で申込をしてください。

備考欄に記載の講座番号で申込をした場合は、選択講座となります。

指定講座番号	講座名	主事2級	主任	主任 (係長相当職)	備考
951	人権教育講座Ⅰ－多様な性に対する理解－【指定】		指定	指定	502と同様
952	教職員のメンタルヘルス講座【指定】			指定	520と同様
953	コミュニケーション基礎講座－ビジネスマナーから考える－（企業連携）【指定】	指定		指定	601と同様
954	コミュニケーション講座Ⅰ－職場実践に生かす－（企業連携）【指定】		指定	指定	602と同様
955	コミュニケーション講座Ⅱ－職場実践に生かす－（企業連携）【指定】		指定	指定	603と同様
956	コミュニケーション発展講座－人材育成に生かす－（企業連携）【指定】			指定	604と同様
957	学校運営に生かすコーチング講座（企業連携）【指定】			指定	606と同様
958	CS発想から考えるビジネスマナー講座（企業連携）【指定】	指定		指定	807と同様
959	学校事務職員講座【指定】	指定		指定	808と同様



## 単位制履修制度早分かり表（教諭の例）

必修		年期	年	選択
初任者研修	20単位	初任期 育成	1	
2年目教員 ステップアップ研修	8単位		2	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">                     京都府の教育公務員として 基盤となる基本事項                 </div>		2～6年目	3	} 5単位
			4	
			5	
			6	
			7	
			8	
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;">                     ◇教職への使命感と職責への 自覚の向上 ◇教育をめぐる現状と今日の 課題を知り、問題解決への 意識を向上                 </div>		7～15年目	9	} 9単位
			10	
			11	
			12	
			13	
		16年目以降	14	} 13単位 指導的 力量向上 に向け、 標準的な 単位
			15	
			16	
			17	
			⋮	
33単位				27単位

管理職、主幹教諭・指導教諭等は職能に応じて

**教諭の生涯にわたる標準的な単位 60単位**  
 ・今後の教育を取り巻く環境・状況の変化に伴い、変更する場合があります。  
 ・国・京都府教育委員会・教育局・市町（組合）教育委員会実施の研修の一部も単位として認定します。



## 単位制履修制度早分かり表（事務職員の例）

標準職務上の職位	職務の級	職名	キャリアステージ	必修・指定	選択
	1級	主事	新規採用者	8単位	6単位
	2級		主事	(4単位) ④	
				1単位	
主任	3級	主任	主任	1単位	4単位
係長		主任 (係長相当職)		2単位	
困難係長	4級	事務主任	事務主任 ・ 専門幹		8単位
課長補佐					
困難課長補佐	5級	専門幹			指導的力量的な単位 向上に向け、標準的な単位
				12単位	18単位

事務長は職能に応じて

④新規採用者研修必修8単位を取得していれば、履修したものとします。

**事務職員の生涯にわたる標準的な単位 30単位**

- ・今後の教育を取り巻く環境・状況の変化に伴い、変更する場合があります。
- ・国・京都府教育委員会・教育局・市町（組合）教育委員会実施の研修の一部も単位として認定します。

## 2～6年目研修講座

### 1 受講対象者

小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の2～6年目の教諭、養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員、実習教諭・実習助手、寄宿舎指導員 等

### 2 受講講座

受講対象者	必修 2年目に受講	選択 2～6年目に受講	合計
小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の教諭	8単位	5単位	13単位
小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の養護教諭、 栄養教諭・学校栄養職員、実習教諭・実習助手、寄宿 舎指導員 等		4単位	4単位

#### 必修 (講座ごとの申込は不要)

小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の教諭は、以下の**8単位**を2年目に必ず受講してください。

- ・2年目教員「ステップアップ1～3」講座 (3単位)
- ・2年目教員「テーマ研修」 (5単位)

※該当校に事前に要項及び受講対象者申込票等の関係書類を別途送付します。その回答をもって受講  
手続としますので、講座ごとの受講申込は不要です。

#### 選択 (要申込)

- (1) 2～6年目に受講してください(次項の**選択講座一覧表**を参照)。
- (2) 2～6年目に教員免許状更新講習の受講完了手続きをした場合、**選択講座**の4単位に充当されます  
(各学校からの届出は不要)。  
※推薦等により、次の講座を受講した場合、それぞれ【 】の2単位として**選択講座**の受講単位に充  
当できます。

- ・小学校プログラミング教育指導者養成講座シリーズⅠ・Ⅱ 【領域等】
- ・算数科・数学科授業づくりシリーズ講座 【教科】

### 3 選択講座一覧表

受講対象校種及び内容等については、各研修講座の実施概要を参照してください。

番号	講座名	番号	講座名
<b>【教科】</b>			
407	学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅰ	408	学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅱ
409	小学校国語科教育講座－「読むこと」を構想する－	410	小学校社会科教育講座－問題解決的な学習を構想する－
411	小学校理科教育講座－興味を引き出す授業づくり－	412	《新指対応!》図画工作科講座～指導と評価を考える～
413	小学校家庭科 快適な住まいと環境講座	414	小学校外国語教育実践講座Ⅰ
415	小学校外国語教育実践講座Ⅱ	416	明日の授業を考える外国語教育講座－新学習指導要領に対応して－
417	小学校実技どんとこい!音楽科&図画工作科講座－鑑賞編－	418	小学校実技どんとこい!理科&家庭科講座
419	小中9年間で数学的な見方・考え方を育てる授業づくり講座	421	小中をつなぐ理科教育講座 (Web+)
422	小中音楽科「箏の音色で音楽づくり」講座	423	小中高をつなぐ「新学習指導要領音楽科の指導と評価」講座
424	基礎力パワーアップ講座～小中学校編～	425	中学校・高等学校国語科教育講座－「文学」の授業を考える－

番号	講座名	番号	講座名
<b>【教科】</b>			
426	育成すべき資質・能力をつなぐ社会科・地理歴史科・公民科教育講座	427	中高をつなぐ理科教育講座
430	中高美術講座―墨の美―	431	中学校技術・家庭科（技術分野）基礎がため講座（内容C・D）
432	《新指対応！》中学校家庭科講座	434	中学校・高等学校外国語科教育講座―即興型英語ディベートを授業に―
435	中学校・高等学校外国語科教育講座―「指導と評価の一体化」を考える―	436	道徳の授業づくり実践講座（センター）
437	道徳の授業づくり実践講座（北部）	439	明日の授業を考える高校教育講座―高大接続と探究活動を視点にして―
440	アクティブ・ラーニング実践講座―演習から学ぶ授業づくり―	441	6年目教員指導力向上講座
851	これが聴きタイム（算数・数学）研修講座（奈良県連携）		
<b>【領域等】</b>			
501	総合的な学習の時間・総合的な探究の時間講座―深い学びを構想する―	502	人権教育講座Ⅰ―多様な性に対する理解―
504	生徒指導講座―生徒指導の機能を生かした学級づくり―	505	特別活動講座―よりよい学級・学校生活をつくるために―
506	情報活用能力育成講座～ICT・情報モラル・メディアリテラシーを学ぶ～	508	京の教育「みやび」講座
509	京の教育「ふるさと」講座Ⅰ―お茶の京都―	510	京の教育「ふるさと」講座Ⅱ―海の京都―
511	京都文化博物館で学ぶ歴史、伝統・文化講座	512	図書館教育講座―調べ学習を支援する学習センターとしての図書館の在り方―
513	教育相談<初級>講座―児童生徒理解と関わり―（センター）【領域①②③】	514	教育相談<初級>講座―児童生徒理解と関わり―（北部）【領域①②③】
519	「今を生きる子どものこころ」講座―アニメや物語にみる子どものこころ―	520	教職員のメンタルヘルス講座
521	特別支援教育「インクルーシブ教育システム」講座―コーディネーターの役割―【養成講座Ⅰ】	522	特別支援教育「校内支援体制の充実」講座―個別の指導計画の作成と活用―【養成講座Ⅱ】
523	特別支援教育「児童生徒の気になる行動、その理解と対応」講座	524	特別支援教育「学習障害（LD）のある児童生徒への指導・支援」講座
525	特別支援教育「心理検査を支援に生かす」講座―基礎から学ぶ新版K式発達検査2001―	526	特別支援教育「これからの高等学校の特別支援教育を考える」講座
527	特別支援教育「ICTを活用した指導・支援」講座―読み書きの困難に焦点をあてて―	528	特別支援教育「知的障害のある児童生徒の授業づくり」講座―特別支援学級・特別支援学校の授業づくり―
529	特別支援教育・サテライト「肢体不自由のある児童生徒の授業づくり」講座	530	特別支援教育・京都府スーパーサポートセンター連携「基礎から学ぶ特別支援学級・通級による指導」講座（センター）
531	特別支援教育・京都府スーパーサポートセンター連携「基礎から学ぶ特別支援学級・通級による指導」講座（北部）	532	特別支援教育・京都教育大学サテライト「コーディネータースキルアップⅠ」講座―ソーシャルスキル―
533	特別支援教育・京都教育大学サテライト「コーディネータースキルアップⅡ」講座―医療・福祉との連携―	534	特別支援教育・佛教大学サテライト「病弱教育」講座
535	特別支援教育・佛教大学サテライト「重複・発達障害教育」講座シリーズⅠ	536	特別支援教育・佛教大学サテライト「重複・発達障害教育」講座シリーズⅡ
804	養護教諭講座	805	栄養教諭・学校栄養職員講座
807	CS発想から考えるビジネスマナー講座（企業連携）	854	子どもの貧困と学習支援講座
<b>【コミュニケーション能力】</b>			
601	コミュニケーション基礎講座―ビジネスマナーから考える―（企業連携）	605	子どもの力を引き出す教育コーチング講座（企業連携）
<b>【チームマネジメント能力】</b>			
706	多忙化への対応とセルフマネジメント講座（企業連携）	708	カリキュラム・マネジメント入門講座
814	新任教務主任（部長）講座		

以下の講座はシリーズ講座のため、通して受講してください。また、シリーズⅡの申込は不要です。

- 〔 535 特別支援教育・佛教大学サテライト「重複・発達障害教育」講座シリーズⅠ
- 〔 536 特別支援教育・佛教大学サテライト「重複・発達障害教育」講座シリーズⅡ

## 7～15年目研修講座

### 1 受講対象者

小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の7～15年目の教諭、養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員、実習教諭・実習助手、寄宿舎指導員 等

### 2 受講講座

受講対象者	選択講座の受講単位数
小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の教諭	9単位
小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の養護教諭、栄養教諭・学校栄養職員	7単位
小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の実習教諭・実習助手、寄宿舎指導員 等	5単位

#### 選 択 (要申込)

7～15年目に4分野からできるだけ偏りなく受講してください(次項の**選択講座一覧表**を参照)。

※推薦等により、次の講座を受講した場合、それぞれ【 】の2単位として**選択講座**の受講単位数に充当できます。2単位を超えた分は「総単位数」に充当されます。

- ・学校組織運営特別講座シリーズⅠ～Ⅲ 【チームマネジメント能力】
- ・小学校プログラミング教育指導者養成講座シリーズⅠ・Ⅱ 【領域等】
- ・チーム学校講座シリーズⅠ～Ⅳー教員と事務職員の協働ー 【チームマネジメント能力】

### 3 選択講座一覧表

受講対象校種及び内容等については、各研修講座の実施概要を参照してください。

番号	講座名	番号	講座名
【教 科】			
407	学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅰ	408	学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅱ
409	小学校国語科教育講座ー「読むこと」を構想するー	410	小学校社会科教育講座ー問題解決的な学習を構想するー
411	小学校理科教育講座ー興味を引き出す授業づくりー	412	《新指対応!》図画工作科講座ー指導と評価を考えるー
414	小学校外国語教育実践講座Ⅰ	415	小学校外国語教育実践講座Ⅱ
416	明日の授業を考える外国語教育講座ー新学習指導要領に対応してー	417	小学校実技どんとこい!音楽科&図画工作科講座ー鑑賞編ー
418	小学校実技どんとこい!理科&家庭科講座	419	小中9年間で数学的な見方・考え方を育てる授業づくり講座
421	小中をつなぐ理科教育講座(W e b +)	423	小中高をつなぐ「新学習指導要領音楽科の指導と評価」講座
425	中学校・高等学校国語科教育講座ー「文学」の授業を考えるー	426	育成すべき資質・能力をつなぐ社会科・地理歴史科・公民科教育講座
427	中高をつなぐ理科教育講座	428	最先端科学から学ぶ講座
429	中高音楽科「伝統音楽指導法～能楽&雅楽～」講座	430	中高美術講座ー墨の美ー
431	中学校技術・家庭科(技術分野)基礎がため講座(内容C・D)	433	中高家庭科 消費者教育講座
434	中学校・高等学校外国語科教育講座ー即興型英語ディベートを授業にー	435	中学校・高等学校外国語科教育講座ー「指導と評価の一体化」を考えるー
436	道徳の授業づくり実践講座(センター)	437	道徳の授業づくり実践講座(北部)
438	道徳教育の推進講座	439	明日の授業を考える高校教育講座ー高大接続と探究活動を視点にしてー
440	アクティブ・ラーニング実践講座ー演習から学ぶ授業づくりー	442	認知発達と授業づくり講座ー理科教育実践を通してー
851	これが聴きタイム(算数・数学)研修講座(奈良県連携)		

番号	講座名	番号	講座名
<b>【領域等】</b>			
501	総合的な学習の時間・総合的な探究の時間講座ー深い学びを構想するー	502	人権教育講座Ⅰー多様な性に対する理解ー
503	人権教育講座Ⅱー同和問題を考えるー	504	生徒指導講座ー生徒指導の機能を生かした学級づくりー
505	特別活動講座ーよりよい学級・学校生活をつくるためにー	506	情報活用能力育成講座～ICT・情報モラル・メディアリテラシーを学ぶ～
507	プログラミング教育基礎講座	508	京の教育「みやび」講座
509	京の教育「ふるさと」講座Ⅰーお茶の京都ー	510	京の教育「ふるさと」講座Ⅱー海の京都ー
511	京都文化博物館で学ぶ歴史、伝統・文化講座	512	図書館教育講座ー調べ学習を支援する学習センターとしての図書館の在り方ー
513	教育相談<初級>講座ー児童生徒理解と関わりー（センター）【領域①②③】	514	教育相談<初級>講座ー児童生徒理解と関わりー（北部）【領域①②③】
515	教育相談<中級>講座Ⅰー事例を通して深める子どもの理解ー【領域①】	516	教育相談<中級>講座Ⅲー教師・子ども関係からみる事例の理解～プロセスレコードを用いてー【領域③】
517	教育相談<上級>講座Ⅱー心と身体をつなぐの理解と関わりー【領域②】	518	教育相談<上級>講座Ⅲーストレスマネジメント教育ー【領域③】
519	「今を生きる子どものこころ」講座ーアニメや物語にみる子どものこころー	520	教職員のメンタルヘルス講座
521	特別支援教育「インクルーシブ教育システム」講座ーコーディネーターの役割ー【養成講座Ⅰ】	522	特別支援教育「校内支援体制の充実」講座ー個別の指導計画の作成と活用ー【養成講座Ⅱ】
523	特別支援教育「児童生徒の気になる行動、その理解と対応」講座	524	特別支援教育「学習障害（LD）のある児童生徒への指導・支援」講座
525	特別支援教育「心理検査を支援に生かす」講座ー基礎から学ぶ新版K式発達検査2001ー	526	特別支援教育「これからの高等学校の特別支援教育を考える」講座
527	特別支援教育「ICTを活用した指導・支援」講座ー読み書きの困難に焦点をあててー	528	特別支援教育「知的障害のある児童生徒の授業づくり」講座ー特別支援学級・特別支援学校の授業づくりー
529	特別支援教育・サテライト「肢体不自由のある児童生徒の授業づくり」講座	530	特別支援教育・京都府スーパーサポートセンター連携「基礎から学ぶ特別支援学級・通級による指導」講座（センター）
531	特別支援教育・京都府スーパーサポートセンター連携「基礎から学ぶ特別支援学級・通級による指導」講座（北部）	532	特別支援教育・京都教育大学サテライト「コーディネータースキルアップⅠ」講座ーソーシャルスキルー
533	特別支援教育・京都教育大学サテライト「コーディネータースキルアップⅡ」講座ー医療・福祉との連携ー	534	特別支援教育・佛教大学サテライト「病弱教育」講座
535	特別支援教育・佛教大学サテライト「重複・発達障害教育」講座シリーズⅠ	536	特別支援教育・佛教大学サテライト「重複・発達障害教育」講座シリーズⅡ
804	養護教諭講座	805	栄養教諭・学校栄養職員講座
854	子どもの貧困と学習支援講座	855	スクールソーシャルワーク講座ーSSWの役割の理解とその実践ー
<b>【コミュニケーション能力】</b>			
602	コミュニケーション講座Ⅰー職場実践に生かすー（企業連携）	603	コミュニケーション講座Ⅱー職場実践に生かすー（企業連携）
604	コミュニケーション発展講座ー人材育成に生かすー（企業連携）	605	子どもの力を引き出す教育コーチング講座（企業連携）
606	学校運営に生かすコーチング講座（企業連携）		
<b>【チームマネジメント能力】</b>			
702	学校内外環境分析講座ー学校の強みを生かした特色づくりー	703	教職員の資質向上を図るメンターシップ講座
704	教育法規演習講座ー判例に学ぶ信頼ある学校づくりー	705	企業から学ぶマネジメント講座ー経営哲学から学ぶー（企業連携）
706	多忙化への対応とセルフマネジメント講座（企業連携）	707	ワーク・ライフ・マネジメント講座（企業連携）
709	カリキュラム・マネジメント推進講座	710	学校組織力パワーアップ講座Ⅰ
814	新任教務主任（部長）講座		

※以下の講座はシリーズ講座のため、通して受講してください。また、シリーズⅡの申込は不要です。

- 〔 535 特別支援教育・佛教大学サテライト「重複・発達障害教育」講座シリーズⅠ
- 〔 536 特別支援教育・佛教大学サテライト「重複・発達障害教育」講座シリーズⅡ

※教育相談<中級>・<上級>講座（講座番号 515～518）は、受講条件があります（詳細は「研修講座受講モデルプラン」ページを参照）。



## 中堅教諭等資質向上研修講座

### 1 受講対象者

幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、府立学校の中堅教諭等資質向上研修対象となる教諭、養護教諭、栄養教諭、学校栄養職員

- (1) 幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校：市町（組合）教育委員会を通じて学校（園）に通知します。  
(2) 府立学校（附属中学校含む。）：学校に直接通知します。

### 2 受講講座

講座	会場	実施日	備考
「共通」講座Ⅰa	総合教育センター	5月24日(金)	いずれかを受講してください。
「共通」講座Ⅰb	総合教育センター	5月28日(火)	
「共通」講座Ⅱ	総合教育センター	7月29日(月)	
「共通」講座Ⅲ	総合教育センター	8月21日(水)	
「共通」講座Ⅳ	総合教育センター	12月26日(木)	
「共通」講座Ⅴa	総合教育センター	1月24日(金)	いずれかを受講してください。
「共通」講座Ⅴb	総合教育センター	1月28日(火)	

※講座ごとの受講申込書の提出は、不要です。前年度に実施した対象者調査をもって受講手続きとします。

### 3 中堅教諭等資質向上研修の欠席について

欠席する場合、講座が始まるまでに、校（園）長又は副校長・教頭・事務長から総合教育センター北部研修所**地域教育支援部（0773-43-2934）**と**市町（組合）教育委員会（府立学校は除く。）**まで電話で連絡してください。また、法定研修のため、欠席の場合は**欠席届（様式2）**を必ず総合教育センター北部研修所**地域教育支援部へ直接提出（郵送）**してください。

### 4 留意点

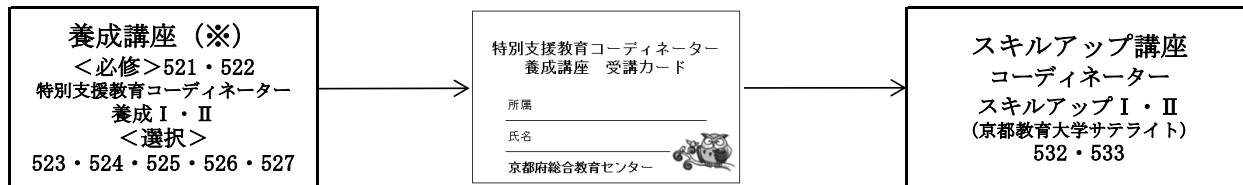
中堅教諭等資質向上研修対象者が「共通」講座以外のセンター研修を受講する際、申込書の教職経験は、「7～15年」を選択してください。

# 研修講座受講モデルプラン

## 〈特別支援教育〉

※問合せ先：特別支援教育部（075-612-2953）

### ○特別支援教育コーディネーター育成のための受講モデルプラン



養成講座、スキルアップ講座の他は、研修ニーズに応じて研修講座のグレード「基礎・基本」、「推進」、「発展」から受講し、研修を進めてください。

### ※ 特別支援教育コーディネーター養成講座の受講について

#### 〈対象〉

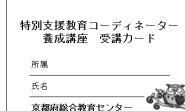
- 1 特別支援教育コーディネーターに指名されている者又は候補者
- 2 校内の特別支援教育を推進する者

#### 〈受講しなければならない講座〉

- 1 必修講座
  - 5 2 1 「インクルーシブ教育システム」講座－コーディネーターの役割－
  - 5 2 2 「校内支援体制の充実」講座－個別の指導計画の作成と活用－
- 2 選択講座
  - 5 2 3 「児童生徒の気になる行動、その理解と対応」講座
  - 5 2 4 「学習障害（LD）のある児童生徒への指導・支援」講座
- 1 講座選択
  - 5 2 5 「心理検査を支援に生かす」講座－基礎から学ぶ新版K式発達検査2001－
  - 5 2 6 「これからの高等学校の特別支援教育を考える」講座
  - 5 2 7 「ICTを活用した指導・支援」講座－読み書きの困難に焦点をあてて－

#### 〈受講カード〉

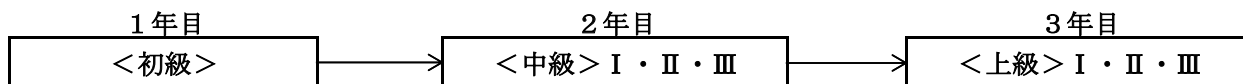
「特別支援教育コーディネーター養成講座」全3講座を受講した場合、「受講カード」に修了の印を押印の上、お渡しします。（希望者）



## 〈教育相談〉

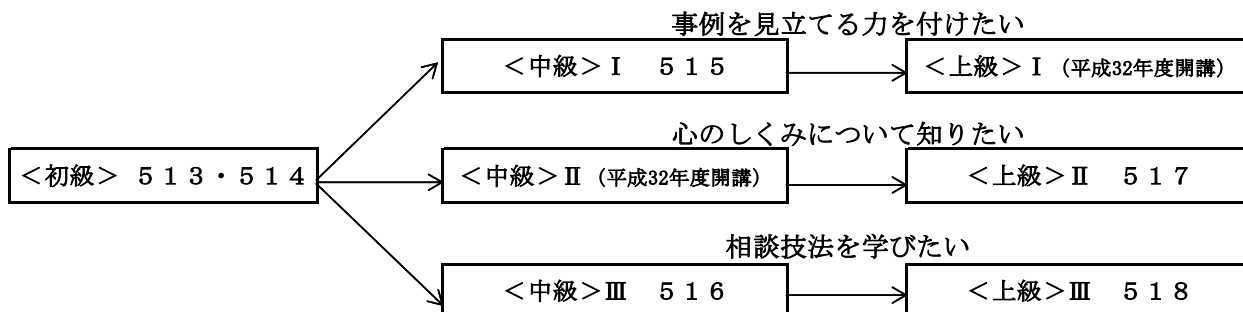
※問合せ先：教育相談部（075-612-2959）

### ○教育相談担当者を目指すための受講モデルプラン



\*年数はあくまで参考です。初級を履修後中級、中級を履修後上級を受講してください。

### ○興味・関心に合わせて教育相談を学ぶ受講モデルプラン

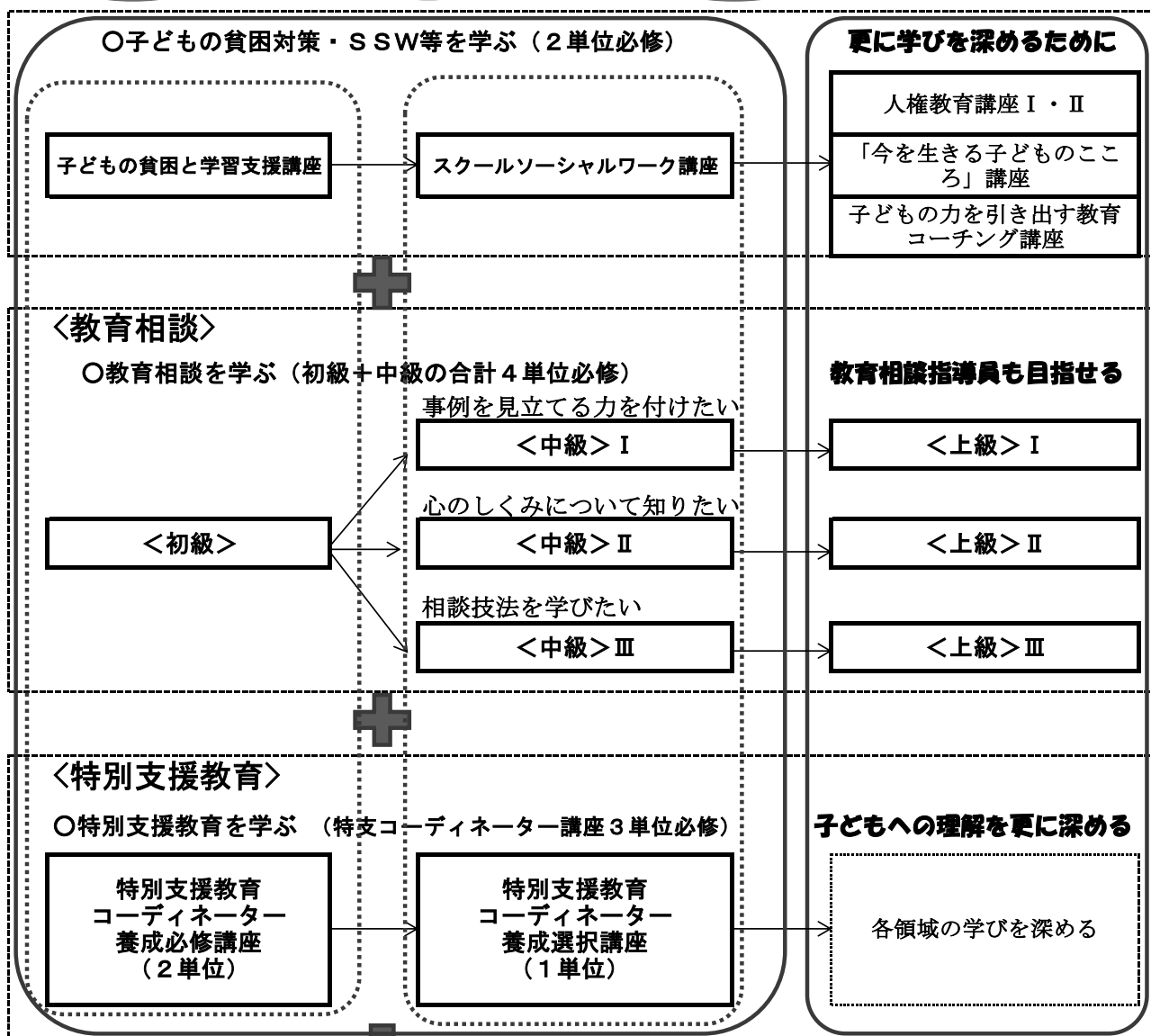
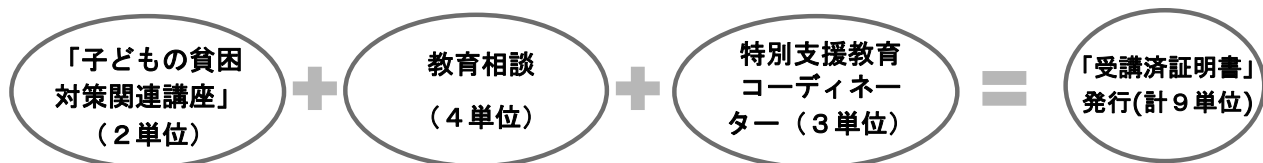


### 〈平成31年度 中級・上級講座の受講条件〉※次の①～③の条件のうち1つを満たすこと。

- ①平成24年度以降の「初級」講座を受講した者
  - ②平成24～27年度の「中級」「上級」講座をいずれか1つ受講した者（この条件は平成31年度限りとします。）
  - ③教職経験16年以上の者で、教育相談に関わる担当経験があると校長が判断した者
- \*平成28年度から、中・上級講座を受講するためには、原則平成24年度以降の初級講座を受講済であることを条件としています。

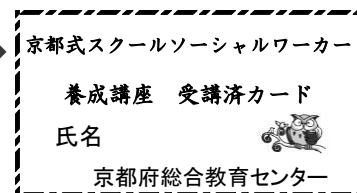
※初級講座：臨床心理学の知見から学ぶ教育相談の入り口の講座です。また、子どものこころの理解の基本や相談活動において「聴く」ことの重要性について学びます。

京都市スクールソーシャルワーカー（まなび・生活アドバイザー）  
研修履修モデルプラン「2年間9単位受講で証明書を発行！」



計画的な履修(最短2年間)で「9単位」を学ぶ

更なる学びで「特別支援教育コーディネーター」+「教育相談担当者」としても活躍



※問合せ先:企画研究部(075-612-2950)



初任期育成研修			
番 号	講 座 名	実施日 (曜日)	頁
154	初任者研修「高等学校教科教育1」講座(センター)	5月30日(木)	80
155	初任者研修「高等学校教科教育1」講座(北部)	5月30日(木)	81
156	初任者研修「高等学校教科教育2」講座(センター)	6月20日(木)	81
157	初任者研修「高等学校教科教育2」講座(北部)	6月20日(木)	81
158	初任者研修「高等学校教科教育3」講座(センター)	7月24日(水)	82
159	初任者研修「高等学校教科教育3」講座(北部)	教科で異なる	82
160	初任者研修「高等学校教科教育4」講座(センター)	教科で異なる	82
161	初任者研修「高等学校教科教育4」講座(北部)	10月3日(木)	83
162	初任者研修「高等学校教科教育5」講座(センター)	10月31日(木)	83
163	初任者研修「高等学校教科教育5」講座(北部)	教科で異なる	83
164	初任者研修「高等学校教科教育6、ホームルーム経営」講座(センター)	11月28日(木)	84
165	初任者研修「高等学校教科教育6、ホームルーム経営」講座(北部)	11月28日(木)	84
166	初任者研修「高等学校教科教育7」講座(センター)	1月23日(木)	84
167	初任者研修「高等学校教科教育7」講座(北部)	教科で異なる	85
168	初任者研修「高等学校総合的な探究の時間、キャリア教育」講座	9月12日(木)	85
169	初任者研修「特別支援学校1」講座	5月23日(木)	85
170	初任者研修「特別支援学校2」講座	7月4日(木)	86
171	初任者研修「特別支援学校3」講座	7月30日(火)	86
172	初任者研修「特別支援学校4」講座	9月12日(木)	86
173	初任者研修「特別支援学校5」講座	11月21日(木)	87
174	初任者研修「特別支援学校6」講座	1月9日(木)	87
175	初任者研修「特別支援学校授業参観」講座	6月20日(木)	87
176	初任者研修「特別支援学校外国語活動、総合的な学習の時間・総合的な探究の時間、情報教育」講座A	7月25日(木)	88
177	初任者研修「特別支援学校外国語活動、総合的な学習の時間・総合的な探究の時間、情報教育」講座B	7月29日(月)	88
178	初任者研修「他校種体験研修1」講座	別途連絡	△
179	初任者研修「他校種体験研修2」講座	別途連絡	△
181	新規採用者研修「幼稚園教諭1」講座	5月30日(木)	88
182	新規採用者研修「幼稚園教諭2」講座	7月23日(火)	89
183	新規採用者研修「幼稚園教諭3」講座	8月2日(金)	89
184	新規採用者研修「養護教諭1」講座	5月16日(木)	89
185	新規採用者研修「養護教諭2」講座	7月2日(火)	90
186	新規採用者研修「養護教諭3」講座	7月22日(月)	90
187	新規採用者研修「養護教諭4」講座	8月8日(木)	90
188	新規採用者研修「養護教諭5」講座	9月3日(火)	91
189	新規採用者研修「養護教諭6」講座	10月17日(木)	91
190	新規採用者研修「養護教諭7」講座	12月10日(火)	91
191	新規採用者研修「栄養教諭1」講座	5月16日(木)	92
192	新規採用者研修「栄養教諭2」講座	6月4日(火)	92
193	新規採用者研修「栄養教諭3」講座	7月22日(月)	92
194	新規採用者研修「栄養教諭4」講座	8月1日(木)	93
195	新規採用者研修「栄養教諭5」講座	9月17日(火)	93
196	新規採用者研修「栄養教諭6」講座	11月12日(火)	93
197	新規採用者研修「栄養教諭7」講座	12月10日(火)	94
198	新規採用者研修「実習助手1」講座	5月16日(木)	94
199	新規採用者研修「実習助手2」講座	5月30日(木)	94
200	実習助手「ステップアップ」講座	11月5日(火)	95
201	新規採用者研修「寄宿舎指導員1」講座	5月16日(木)	95
202	新規採用者研修「寄宿舎指導員2」講座	5月23日(木)	95
203	寄宿舎指導員「ステップアップ」講座	11月5日(火)	96
204	新規採用者研修「学校事務職員1」講座	4月23日(火)	96
205	新規採用者研修「学校事務職員2」講座	6月27日(木)	96
206	新規採用者研修「学校事務職員3」講座	7月11日(木)	97
207	新規採用者研修「学校図書館司書1」講座	6月27日(木)	97
208	新規採用者研修「学校図書館司書2」講座	8月23日(金)	97
209	新規採用者研修「学校施設管理職員1」講座	4月23日(火)	98
210	新規採用者研修「学校施設管理職員2」講座	6月27日(木)	98
211	新規採用者研修「学校施設管理職員3」講座	7月11日(木)	98
212	新規採用者研修「学校施設管理職員4」講座	7月31日(水)	99
213	幼稚園等新規採用教員研修「テーマ研修」	別途連絡	△
214	新規採用者「テーマ研修(計画立案)」	別途連絡	△
215	新規採用者「テーマ研修(実践研究)」	別途連絡	△

初任期育成研修(2年目教員)			
番 号	講 座 名	実施日 (曜日)	頁
221	2年目教員「ステップアップ1」講座(センター)	7月30日(火)	99
222	2年目教員「ステップアップ1」講座(北部)	8月1日(木)	99
223	2年目教員「ステップアップ2」講座a(センター)	8月9日(金)	100
224	2年目教員「ステップアップ2」講座a(北部)	8月9日(金)	100
225	2年目教員「ステップアップ2」講座b(センター)	8月19日(月)	100
226	2年目教員「ステップアップ3」講座a(センター)	12月25日(水)	101
227	2年目教員「ステップアップ3」講座a(北部)	12月25日(水)	101
228	2年目教員「ステップアップ3」講座b(センター)	12月26日(木)	101
229	2年目教員「テーマ研修」	別途連絡	△

中堅教諭等資質向上研修			
番 号	講 座 名	実施日 (曜日)	頁
251	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座I a	5月24日(金)	103
252	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座I b	5月28日(火)	103
253	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座II	7月29日(月)	103
254	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座III	8月21日(水)	104
255	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座IV	12月26日(木)	104
256	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Va	1月24日(金)	104
257	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Vb	1月28日(火)	105



◎ ……選択講座  
 ○ ……選択講座外(総単位数へ加算)  
 — ……受講不可  
 指定…「単位制履修制度の概要」ページを参照

指導者養成研修																	
番号	講座名	実施日 (曜日)	研修年定期別				事務職員職位別					講師対象	頁				
			25 6 年 目	7 5 15 年 目	16 年 目 以 降	主事		主任		事務 主任 ・ 専門 幹							
						1 級	2 級	主任	係 長								
301	学校組織運営特別講座シリーズⅠ	6月14日(金)	* 1			—	—	* 2				107					
302	小学校プログラミング教育指導者養成講座シリーズⅠ	6月13日(木)				—	—	—	—			—	—	107			
303	小学校プログラミング教育指導者養成講座シリーズⅡ	12月6日(金)				—	—	—	—			—	—	107			
304	学校組織マネジメント特別講座シリーズⅠ	6月28日(金)	/														
305	学校組織マネジメント特別講座シリーズⅡ	8月2日(金)															
306	学校組織マネジメント特別講座シリーズⅢ	11月22日(金)															
中核職員養成研修																	
番号	講座名	実施日 (曜日)	研修年定期別				事務職員職位別					講師対象	頁				
			25 6 年 目	7 5 15 年 目	16 年 目 以 降	主事		主任		事務 主任 ・ 専門 幹							
						1 級	2 級	主任	係 長								
321	チーム学校講座シリーズⅠ－教員と事務職員の協働－	7月23日(火)	—	* 1								109					
322	チーム学校講座シリーズⅡ－教員と事務職員の協働－	7月24日(水)	—									—	—	—	—	—	109
323	チーム学校講座シリーズⅢ－教員と事務職員の協働－	8月20日(火)	—									—	—	—	—	—	109
324	チーム学校講座シリーズⅣ－教員と事務職員の協働－	9月27日(金)	—									—	—	—	—	—	110

\* 1 ……該当年期のページに記載(記載のないものは総単位数へ加算)  
 \* 2 ……「単位制履修制度の概要」ページに記載

◎ ……選択講座  
 — ……受講不可

○ ……選択講座外(総単位数へ加算)  
 指定…「単位制履修制度の概要」ページを参照

専門研修 教科												
番号	講座名	実施日 (曜日)	研修年別			事務職員職位別				講師 対象	頁	
			2 5 6 年 目	7 5 15 年 目	16 年 目 以 降	主事		主任				事務 主任 ・ 専門 幹
						1 級	2 級	主任	係 長			
401	京都府学力診断テスト(小学校4年国語・中学校1年国語)活用講座(センター)	7月 9日 (火)	○	○	○	-	-	-	-	-	○	113
402	京都府学力診断テスト(小学校4年算数・中学校1年数学)活用講座(センター)	7月 9日 (火)	○	○	○	-	-	-	-	-	○	113
403	京都府学力診断テスト(小学校4年国語・中学校1年国語)活用講座(北部)	7月 11日 (木)	○	○	○	-	-	-	-	-	○	113
404	京都府学力診断テスト(小学校4年算数・中学校1年数学)活用講座(北部)	7月 11日 (木)	○	○	○	-	-	-	-	-	○	114
405	京都府学力診断テスト(中学校2年)活用講座(センター)	1月 17日 (金)	○	○	○	-	-	-	-	-	○	114
406	京都府学力診断テスト(中学校2年)活用講座(北部)	1月 20日 (月)	○	○	○	-	-	-	-	-	○	114
407	学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅰ	7月 23日 (火)	◎	◎	○	-	-	-	-	-	○	115
408	学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅱ	8月 2日 (金)	◎	◎	○	-	-	-	-	-	○	115
409	小学校国語科教育講座-「読むこと」を構想する-	7月 24日 (水)	◎	◎	○	-	-	-	-	-	○	115
410	小学校社会科教育講座-問題解決的な学習を構想する-	8月 23日 (金)	◎	◎	○	-	-	-	-	-	○	116
411	小学校理科教育講座-興味を引き出す授業づくり-	8月 7日 (水)	◎	◎	○	-	-	-	-	-	○	116
412	《新指対応!》図画工作科講座~指導と評価を考える~	8月 7日 (水)	◎	◎	○	-	-	-	-	-	○	116
413	小学校家庭科 快適な住まいと環境講座	7月 26日 (金)	◎	○	○	-	-	-	-	-	○	117
414	小学校外国語教育実践講座Ⅰ	5月 24日 (金)	◎	◎	○	-	-	-	-	-	○	117
415	小学校外国語教育実践講座Ⅱ	6月 14日 (金)	◎	◎	○	-	-	-	-	-	○	117
416	明日の授業を考える外国語教育講座-新学習指導要領に対応して-	7月 31日 (水)	◎	◎	○	-	-	-	-	-	○	118
417	小学校実技どんとこい!音楽科&図画工作科講座-鑑賞編-	8月 5日 (月)	◎	◎	○	-	-	-	-	-	○	118
418	小学校実技どんとこい!理科&家庭科講座	8月 5日 (月)	◎	◎	○	-	-	-	-	-	○	118
419	小中9年間で数学的な見方・考え方を育てる授業づくり講座	6月 28日 (金)	◎	◎	○	-	-	-	-	-	○	119
420	算数科・数学科授業づくりシリーズ講座	P.119 参照	* 1	-	-	-	-	-	-	-	-	119
421	小中をつなぐ理科教育講座(Web+)	11月 19日 (火)	◎	◎	○	-	-	-	-	-	○	119
422	小中音楽科「箏の音色で音楽づくり」講座	10月 11日 (金)	◎	○	○	-	-	-	-	-	○	120
423	小中高をつなぐ「新学習指導要領音楽科の指導と評価」講座	10月 25日 (金)	◎	◎	○	-	-	-	-	-	○	120
424	基礎力パワーアップ講座~小中学校編~	8月 2日 (金)	◎	○	○	-	-	-	-	-	○	120
425	中学校・高等学校外国語科教育講座-「文学」の授業を考える-	8月 2日 (金)	◎	◎	○	-	-	-	-	-	○	121
426	育成すべき資質・能力をつなぐ社会科・地理歴史科・公民科教育講座	6月 21日 (金)	◎	◎	○	-	-	-	-	-	○	121
427	中高をつなぐ理科教育講座	10月 10日 (木)	◎	◎	○	-	-	-	-	-	○	121
428	最先端科学から学ぶ講座	7月 12日 (金)	○	◎	○	-	-	-	-	-	○	122
429	中高音楽科「伝統音楽指導法~能楽&雅楽~」講座	8月 22日 (木)	○	◎	○	-	-	-	-	-	○	122
430	中高美術講座-墨の美-	12月 6日 (金)	◎	◎	○	-	-	-	-	-	○	122
431	中学校技術・家庭科(技術分野)基礎がため講座(内容C・D)	8月 8日 (木)	◎	◎	○	-	-	-	-	-	○	123
432	《新指対応!》中学校家庭科講座	8月 2日 (金)	◎	○	○	-	-	-	-	-	○	123
433	中高家庭科 消費者教育講座	10月 10日 (木)	○	◎	○	-	-	-	-	-	○	123
434	中学校・高等学校外国語科教育講座-即興型英語ディベートを授業に-	10月 3日 (木)	◎	◎	○	-	-	-	-	-	○	124
435	中学校・高等学校外国語科教育講座-「指導と評価の一体化」を考える-	8月 7日 (水)	◎	◎	○	-	-	-	-	-	○	124
436	道徳の授業づくり実践講座(センター)	5月 31日 (金)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	124
437	道徳の授業づくり実践講座(北部)	6月 7日 (金)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	125
438	道徳教育の推進講座	7月 24日 (水)	○	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	125
439	明日の授業を考える高校教育講座-高大接続と探究活動を視点にして-	5月 23日 (木)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	125
440	アクティブ・ラーニング実践講座-演習から学ぶ授業づくり-	6月 7日 (金)	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	126
441	6年目教員指導力向上講座	8月 5日 (月)	◎	-	-	-	-	-	-	-	-	126
442	認知発達と授業づくり講座~理科教育実践を通して~	8月 19日 (月)	○	◎	○	○	○	○	○	○	-	126

\* 1…該当年期のページに記載(記載のないものは総単位数へ加算)

◎ ……選択講座  
 — ……受講不可

○ ……選択講座外(総単位数へ加算)  
 指定…「単位制履修制度の概要」ページを参照

専門研修 領域等												
番号	講座名	実施日 (曜日)	研修年別			事務職員職位別					講師 対象	頁
			2 6 年 目	7 15 年 目	16 年 目 以 降	主事		主任		事務 主任 ・ 専門 科		
						1 級	2 級	主任	係 長			
501	総合的な学習の時間・総合的な探究の時間講座－深い学びを構想する－	2月 6日 (木)	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	129
502	人権教育講座Ⅰ－多様な性に対する理解－	8月 23日 (金)	◎	◎	○	◎	◎	指定	指定	○	○	129
503	人権教育講座Ⅱ－同和問題を考える－	10月 28日 (月)	○	◎	○	○	○	◎	◎	○	○	129
504	生徒指導講座－生徒指導の機能を生かした学級づくり－	11月 5日 (火)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	130
505	特別活動講座－よりよい学級・学校生活をつくるために－	10月 8日 (火)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	130
506	情報活用能力育成講座～ICT・情報モラル・メディアリテラシーを学ぶ～	8月 9日 (金)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	130
507	プログラミング教育基礎講座	9月 3日 (火)	○	◎	○	—	—	—	—	—	—	131
508	京の教育「みやび」講座	11月 1日 (金)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	131
509	京の教育「ふるさと」講座Ⅰ－お茶の京都－	10月 10日 (木)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	131
510	京の教育「ふるさと」講座Ⅱ－海の京都－	10月 25日 (金)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	132
511	京都文化博物館で学ぶ歴史、伝統・文化講座	7月 31日 (水)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	—	132
512	図書館教育講座－調べ学習を支援する学習センターとしての図書館の在り方－	8月 23日 (金)	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	132
513	教育相談<初級>講座－児童生徒理解と関わり－(センター)【領域①②③】	8月 23日 (金)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	133
514	教育相談<初級>講座－児童生徒理解と関わり－(北部)【領域①②③】	8月 20日 (火)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	133
515	教育相談<中級>講座Ⅰ－事例を通して深める子どもの理解－【領域①】	10月 18日 (金)	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	133
516	教育相談<中級>講座Ⅲ－教師・子ども関係からみる事例の理解～プロセスレコードを用いて－【領域③】	10月 28日 (月)	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	134
517	教育相談<上級>講座Ⅱ－心と身体のつながりの理解と関わり－【領域②】	11月 28日 (木)	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	134
518	教育相談<上級>講座Ⅲ－ストレスマネジメント教育－【領域③】	10月 8日 (火)	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	134
519	「今を生きる子どものこころ」講座－アニメや物語にみる子どものこころ－	8月 2日 (金)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	135
520	教職員のメンタルヘルス講座	8月 1日 (木)	◎	◎	○	◎	◎	◎	指定	○	○	135
521	特別支援教育「インクルーシブ教育システム」講座－コーディネーターの役割－【養成講座Ⅰ】	5月 31日 (金)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	135
522	特別支援教育「校内支援体制の充実」講座－個別の指導計画の作成と活用－【養成講座Ⅱ】	6月 11日 (火)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	136
523	特別支援教育「児童生徒の気になる行動、その理解と対応」講座	7月 26日 (金)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	136
524	特別支援教育「学習障害(LD)のある児童生徒への指導・支援」講座	8月 22日 (木)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	136
525	特別支援教育「心理検査を支援に生かす」講座－基礎から学ぶ新版K式発達検査2001－	9月 20日 (金)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	137
526	特別支援教育「これからの高等学校の特別支援教育を考える」講座	10月 28日 (月)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	137
527	特別支援教育「ICTを活用した指導・支援」講座－読み書きの困難に焦点をあてて－	1月 27日 (月)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	137
528	特別支援教育「知的障害のある児童生徒の授業づくり」講座－特別支援学級・特別支援学校の授業づくり－	10月 3日 (木)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	138
529	特別支援教育・サテライト「肢体不自由のある児童生徒の授業づくり」講座	7月 31日 (水)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	138
530	特別支援教育・京都府スーパーサポートセンター連携「基礎から学ぶ特別支援学級・通級による指導」講座(センター)	5月 13日 (月)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	138
531	特別支援教育・京都府スーパーサポートセンター連携「基礎から学ぶ特別支援学級・通級による指導」講座(北部)	5月 20日 (月)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	139
532	特別支援教育・京都教育大学サテライト「コーディネータースキルアップⅠ」講座－ソーシャルスキル－	9月 10日 (火)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	139
533	特別支援教育・京都教育大学サテライト「コーディネータースキルアップⅡ」講座－医療・福祉との連携－	11月 12日 (火)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	139
534	特別支援教育・佛教大学サテライト「病弱教育」講座	8月 20日 (火)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	140
535	特別支援教育・佛教大学サテライト「重複・発達障害教育」講座シリーズⅠ	8月 6日 (火)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	140
536	特別支援教育・佛教大学サテライト「重複・発達障害教育」講座シリーズⅡ	8月 7日 (水)	◎	◎	○	◎	◎	◎	◎	○	○	140

◎ ……選択講座  
 — ……受講不可

○ ……選択講座外(総単位数へ加算)  
 指定…「単位制履修制度の概要」ページを参照

専門研修 コミュニケーション能力												
番号	講座名	実施日 (曜日)	研修年定期別			事務職員職位別					講師 対象	頁
			2 5 6 年 目	7 5 15 年 目	16 年 目 以 降	主事		主任		事務 主任 ・ 専門 科		
						1 級	2 級	主任	係 長			
601	コミュニケーション基礎講座－ビジネスマナーから考える－(企業連携)	7月26日(金)	◎	○	○	◎	指定	◎	指定	○	—	143
602	コミュニケーション講座Ⅰ－職場実践に生かす－(企業連携)	8月23日(金)	○	◎	○	◎	◎	指定	指定	○	—	143
603	コミュニケーション講座Ⅱ－職場実践に生かす－(企業連携)	10月29日(火)	○	◎	○	◎	◎	指定	指定	○	○	143
604	コミュニケーション発展講座－人材育成に生かす－(企業連携)	11月8日(金)	—	◎	○	—	○	◎	指定	○	—	144
605	子どもの力を引き出す教育コーチング講座(企業連携)	8月8日(木)	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	144
606	学校運営に生かすコーチング講座(企業連携)	7月29日(月)	—	◎	○	—	○	◎	指定	○	—	144
専門研修 チームマネジメント能力												
番号	講座名	実施日 (曜日)	研修年定期別			事務職員職位別					講師 対象	頁
			2 5 6 年 目	7 5 15 年 目	16 年 目 以 降	主事		主任		事務 主任 ・ 専門 科		
						1 級	2 級	主任	係 長			
701	危機管理講座	11月15日(金)	—	○	○	—	—	—	—	○	—	147
702	学校内外環境分析講座－学校の強みを生かした特色づくり－	8月19日(月)	—	◎	○	—	◎	◎	◎	○	—	147
703	教職員の資質向上を図るメンターシップ講座	9月17日(火)	—	◎	○	—	◎	◎	◎	○	—	147
704	教育法規演習講座－判例に学ぶ信頼ある学校づくり－	6月3日(月)	○	◎	○	○	○	◎	◎	○	—	148
705	企業から学ぶマネジメント講座－経営哲学から学ぶ－(企業連携)	11月29日(金)	○	◎	○	○	○	◎	◎	○	—	148
706	多忙化への対応とセルフマネジメント講座(企業連携)	10月4日(金)	◎	◎	○	○	◎	◎	◎	○	—	148
707	ワーク・ライフ・マネジメント講座(企業連携)	10月17日(木)	○	◎	○	○	◎	◎	◎	○	—	149
708	カリキュラム・マネジメント入門講座	6月21日(金)	◎	○	○	◎	◎	○	○	○	—	149
709	カリキュラム・マネジメント推進講座	12月2日(月)	○	◎	○	—	◎	◎	◎	○	—	149
710	学校組織力パワーアップ講座Ⅰ	5月31日(金)	○	◎	○	—	—	—	—	—	—	150
711	学校組織力パワーアップ講座Ⅱ	12月13日(金)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	150

◎ ……選択講座  
 — ……受講不可

○ ……選択講座外(総単位数へ加算)  
 指定…「単位制履修制度の概要」ページを参照

専門研修 職能別等												
番号	講座名	実施日 (曜日)	研修年定期別			事務職員職位別					講師対象	頁
			2 5 6 年 目	7 5 15 年 目	16 年 目 以 降	主事		主任		事務 主任 ・ 専門 幹		
						1 級	2 級	主任	係 長			
801	校長講座	6月28日(金)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	153
802	副校長・教頭・事務長講座	12月6日(金)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	153
803	管理職「特別支援教育・メンタルヘルス」講座	6月21日(金)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	153
804	養護教諭講座	8月8日(木)	◎	◎	○	—	—	—	—	—	○	154
805	栄養教諭・学校栄養職員講座	8月1日(木)	◎	◎	○	—	—	—	—	—	○	154
806	校務講座	7月31日(水)	—	—	—	—	—	—	—	—	○	154
807	CS発想から考えるビジネスマナー講座(企業連携)	6月27日(木)	◎	○	○	◎	指定	◎	指定	○	○	155
808	学校事務職員講座	10月17日(木)	—	—	—	◎	指定	◎	指定	○	○	155
809	学校事務職員(実務初任者向け)講座	7月11日(木)	—	—	—	◎	◎	◎	◎	○	○	155
810	学校事務職員パワーアップ講座	11月11日(月)	—	—	—	◎	○	○	○	○	○	156
811	府立学校副校長講座シリーズⅠ	6月10日(月)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	156
812	府立学校副校長講座シリーズⅡ	8月6日(火)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	156
813	府立学校副校長講座シリーズⅢ	10月15日(火)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	156
814	新任教務主任(部長)講座	6月21日(金)	◎	◎	○	—	—	—	—	—	—	156

特別研修

番号	講座名	実施日 (曜日)	研修年定期別			事務職員職位別					講師対象	頁
			2 5 6 年 目	7 5 15 年 目	16 年 目 以 降	主事		主任		事務 主任 ・ 専門 幹		
						1 級	2 級	主任	係 長			
851	これが聴きタイム(算数・数学)研修講座(奈良県連携)	7月26日(金)	◎	◎	○	—	—	—	—	—	—	159
852	新任府立学校長特別講座	6月28日(金)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	159
853	新任府立学校副校長特別講座	7月1日(月)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	159
854	子どもの貧困と学習支援講座	7月5日(金)	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○	160
855	スクールソーシャルワーク講座—SSWの役割の理解とその実践—	6月24日(月)	○	◎	○	○	○	○	○	○	○	160

981	講師対象講座Ⅰ(センター)—子どものこころの理解のために—	5月14日(火)	—	—	—	—	—	—	—	—	別 途 連 絡
982	講師対象講座Ⅰ(北部)—子どものこころの理解のために—	5月10日(金)	—	—	—	—	—	—	—	—	
983	講師対象講座Ⅱ(センター)—実践に生かす基礎を築く—	5月27日(月)	—	—	—	—	—	—	—	—	
984	講師対象講座Ⅱ(北部)—実践に生かす基礎を築く—	5月21日(火)	—	—	—	—	—	—	—	—	



## 研修講座日程・会場表

4月

必修講座（初任期育成研修）								選択・推薦講座（中堅教諭等資質向上研修必修講座を含む。）											
日	曜	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場	頁	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場	頁
1	月	101	共通・開講式等	63															
18	木	102	共通・スタートa	63															
23	火	204	学校事務職員1	96															
		209	学校施設管理職員1	98															
25	木	103	共通・スタートb	63															

5月

日	曜	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場	頁	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場	頁	
9	木	119	初・生徒指導・教育相談A	69																
10	金												982	講師対象Ⅰ(北)						
13	月									530			138	特支・基礎から学ぶ特別支援学級・通級による指導(セ)						
14	火									981				講師対象Ⅰ(セ)						
16	木	120	初・生徒指導・教育相談B	69																
		184	養護教諭1	89																
		191	栄養教諭1	92																
		198	実習助手1	94																
		201	寄宿舎指導員1	95																
20	月												531	特支・基礎から学ぶ特別支援学級・通級による指導(北)	139					
21	火												984	講師対象Ⅱ(北)						
23	木	123	小・教科1A(セ)	70	124	小・教科1A(北)	70					439	高校教育・高大接続と探究活動	125						
		140	中・教科1(セ)	76	141	中・教科1(北)	76													
		169	特支1	85																
		202	寄宿舎指導員2	95																
24	金											251	中堅・共通Ⅰa	103	414	小・外国語教育Ⅰ	117			
27	月												983	講師対象Ⅱ(セ)						
28	火												252	中堅・共通Ⅰb	103					
30	木	154	高・教科1(セ)	80	155	高・教科1(北)	81													
		199	実習助手2	94	181	幼稚園1	88													
					199	実習助手2【理科】	94													
31	金											436	道徳授業づくり(セ)	124	521	特支・インクルーシブ教育システム・養成Ⅰ	135	710	組織力パワーアップⅠ	150

必修講座（初任期育成研修）								選択・推薦講座（中堅教諭等資質向上研修必修講座を含む。）											
日	曜	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場	頁	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場	頁
3	月										704	教育法規	148						
4	火				192	栄養教諭2	92												
6	木	125	小・教科1B(セ)	71	126	小・教科1B(北)	71	143	中・教科2(北) 【保体】	77									
		142	中・教科2(セ)	76	143	中・教科2(北)	77												
7	金										440	アクティブ・ラーニング実践	126	437	道徳授業づくり(北)	125			
10	月										811	府立・副校長シリーズ I	156						
11	火										522	特支・校内支援体制の充実・養成 II	136						
13	木	108	共通・健康安全・地域連携a	65							302	プログラミング指導者シリーズ I	107						
14	金										301	組織運営特別シリーズ I	107						
											415	小・外国語教育 II	117						
18	火										420	算数科・数学科シリーズ	119						
20	木	109	共通・健康安全・地域連携b	65	157	高・教科2(北)	81	175	特支・授業参観	87									
		156	高・教科2(セ)	81															
21	金										426	育成すべき資質・能力・社会科・地理歴史科・公民科	121	708	カリキュラム・マネジメント入門	149			
											803	管理職講座	153						
											814	新任教務主任(部長)	156						
24	月										855	スクールソーシャルワーク	160						
27	木	127	小・教科2A(セ)	71	128	小・教科2A(北)	72							807	CS発想ビジネスマナー	155			
					205	学校事務職員2	96												
					207	学校図書館司書1	97												
					210	学校施設管理職員2	98												
28	金										419	小中・数学的な見方・考え方	119	304	組織マネジメント特別シリーズ I				
											801	校長講座	153						
											852	新任府立校長特別	159						

必修講座（初任期育成研修）									選択・推薦講座（中堅教諭等資質向上研修必修講座を含む。）										
日	曜	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場	頁	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場	頁
1	月											853	新任府立副校長特別	159					
2	火			185		養護教諭2	90												
4	木	129	小・教科2B(セ)	72	130	小・教科2B(北)	72												
		170	特支2	86															
5	金											854	貧困と学習支援	160					
9	火											401	学力診断テスト国語(セ)	113					
												402	学力診断テスト算数・数学(セ)	113					
11	木	206	学校事務職員3	97								809	学校事務職員(実務初任者)	155	403	学力診断テスト国語(北)	113		
		211	学校施設管理職員3	98										404	学力診断テスト算数・数学(北)	114			
12	金																428	最先端科学	122
22	月	186	養護教諭3	90															
		193	栄養教諭3	92															
23	火	182	幼稚園2	89								321	チーム学校シリーズⅠ	109					
												407	幼児教育・生活科Ⅰ	115					
24	水	158	高・教科3(セ)	82	159	高・教科3(北)	82					322	チーム学校シリーズⅡ	109					
												409	小・国語科	115					
												438	道徳教育の推進	125					
25	木	138	小・外国語、総合、情報A	75			104	共通・伝統文化a	64										
		176	特支・外国語、総合、情報A	88															
26	金						105	共通・伝統文化b	64	523	特支・児童生徒の気になる行動、その理解と対応	136	413	小・家庭科	117	851	算数・数学(奈良)	159	
										601	コミュニケーション基礎	143							
29	月	139	小・外国語、総合、情報B	75			106	共通・伝統文化c	64	253	中堅・共通Ⅱ	103				606	学校運営コーチング	144	
		177	特支・外国語、総合、情報B	88															
30	火	221	2年目・ステップ1(セ)	99	131	小・教科3	73	107	共通・伝統文化d	65									
				171		特支3	86												
31	水			132		小・教科4	73	212	学校施設管理職員4	99	416	明日の授業・外国語教育	118			511	博物館	132	
																529	特支・肢体不自由のある児童生徒の授業づくり	138	
																806	校務講座	154	

必修講座（初任期育成研修）								選択・推薦講座（中堅教諭等資質向上研修必修講座を含む。）											
日	曜	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場	頁	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場	頁
1	木	194	栄養教諭4	93	222	2年目・ステップ1(北)	99				520	メンタルヘルス	135						
											805	栄養教諭・学校栄養職員	154						
2	金				183	幼稚園3	89				305	組織マネジメント特別シリーズII	408	408	幼児教育・生活科II	115			
											425	中高・国語科	121	424	基礎力パワーアップ	120			
											519	今を生きる子どものこころ	135	432	中・家庭科	123			
5	月										441	6年目・指導力向上	126	417	小・音楽科・図画工作科	118			
													418	小・理科・家庭科	118				
6	火				122	初・道徳・特別支援(北)	70				812	府立・副校長シリーズII	156			535	特支・重複・発達障害教育シリーズI		140
7	水				116	共通・人権教育(北局別)	68				412	小・図画工作科	116	411	小・理科	116	536	特支・重複・発達障害教育シリーズII	140
					118	初・生徒指導(北)	68				435	中高・外国語科指導と評価	124						
8	木	144	中・教科3(セ)	77	145	中・教科3(北)	77				431	中・技術分野基礎	123	605	教育コーチング	144			
		145	中・教科3(北)【技術】	77	159	高・教科3(北)【音楽・美術・家庭】	82				804	養護教諭	154						
		187	養護教諭4	90															
9	金	223	2年目・ステップ2a(セ)	100	224	2年目・ステップ2a(北)	100				506	情報活用能力育成	130						
19	月	225	2年目・ステップ2b(セ)	100							702	学校内外環境分析	147	442	認知発達と授業づくり	126			
20	火	115	共通・人権教育(セ局別)	67									323	チーム学校シリーズIII	109	534	特支・病弱教育	140	
		117	初・生徒指導(セ)	68									514	教育相談<初級>(北)	133				
21	水	133	小・教科5	73							254	中堅・共通III	104						
22	木	121	初・道徳・特別支援(セ)	69							429	中高・伝統音楽指導法	122	524	特支・学習障害(LD)のある児童生徒への指導・支援	136			
23	金						208	学校図書館司書2	97	502	人権教育I	129	410	小・社会科	116	512	図書館教育	132	
										513	教育相談<初級>(セ)	133	602	コミュニケーションI	143				
27	火										420	算教科・数学科シリーズ	119						

9月

必修講座（初任期育成研修）								選択・推薦講座（中堅教諭等資質向上研修必修講座を含む。）											
日	曜	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場	頁	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場	頁
3	火	188	養護教諭5	91								507	プログラミング教育基礎	131					
5	木	111	共通・コミュニケーションa	66															
10	火																532	特支・コーディネータースキルアップⅠ	139
12	木	153	中・総合、キャリア	80	172	特支4	86												
		168	高・総合、キャリア	85															
17	火							195	栄養教諭5	93							703	メンターシップ	147
19	木	112	共通・コミュニケーションb	66															
20	金													525	特支・心理検査を支援に生かす		137		
26	木	113	共通・コミュニケーションc	67	147	中・教科4(北)	78												
		146	中・教科4(七)	78															
		160	高・教科4(七) 【地歴・公民】	82															
27	金											324	チーム学校シリーズⅣ	110					

10月

日	曜	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場	頁	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場	頁
3	木	146	中・教科4(七) 【外国語】	78	161	高・教科4(北)	83	161	高・教科4(北) 【保体】	83	434	中高・外国語科・ディベート	124	528	特支・知的障害のある児童生徒の授業づくり	138			
		160	高・教科4(七)	82															
4	金											706	セルフマネジメント	148					
8	火											518	教育相談<上級>Ⅲ	134	505	特別活動	130		
10	木											427	中高・理科	121			509	京の教育「ふるさと」Ⅰ	131
												433	中高・家庭科・消費者教育	123					
11	金													422	小中・音楽科・筆の音色	120			
15	火											813	府立・副校長シリーズⅢ	156					
17	木				189	養護教諭6	91	136	小・授業参観A	74	808	学校事務職員	155				707	ワークライフマネジメント	149
18	金											515	教育相談<中級>Ⅰ	133					
24	木							152	中・授業参観	80									
25	金											423	小中高・音楽科の指導と評価	120			510	京の教育「ふるさと」Ⅱ	132
28	月											526	特支・これからの高等学校の特別支援教育を考える	137	503	人権教育Ⅱ	129		
														516	教育相談<中級>Ⅲ	134			
29	火											603	コミュニケーションⅡ	143					
31	木	114	共通・コミュニケーションd	67	163	高・教科5(北)	83												
		162	高・教科5(七)	83															



11月

必修講座（初任期育成研修）								選択・推薦講座（中堅教諭等資質向上研修必修講座を含む。）												
日	曜	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場	頁	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場	頁	
1	金											508	京の教育「みやび」	131						
5	火	203	寄宿舎指導員・ステップ	96	200	実習助手・ステップ	95					504	生徒指導	130						
7	木							137	小・授業参観B	75										
8	金																604	コミュニケーション発展	144	
11	月													810	学校事務職員パワーアップ	156				
12	火							196	栄養教諭6	93							533	特支・コーディネータースキルアップⅡ	139	
14	木	148	中・教科5(セ)	78	149	中・教科5(北)	79													
					163	高・教科5(北)	83													
						【音楽・美術・家庭】														
15	金											701	危機管理	147						
19	火													421	小中・理科(Web+)	119				
21	木				173	特支5	87													
22	金											306	組織マネジメント特別シリーズⅢ							
28	木	164	高・教科6、ホームルーム経営(セ)	84	165	高・教科6、ホームルーム経営(北)	84					517	教育相談<上級>Ⅱ	134						
29	金													420	算数科・数学科シリーズ	119	705	企業から学ぶマネジメント	148	

12月

日	曜	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場	頁	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場	頁	
2	月											709	カリキュラム・マネジメント推進	149						
6	金											303	プログラミング指導者シリーズⅡ	107						
												430	中高・美術	122						
												802	副校長・教頭・事務長	153						
10	火	190	養護教諭7	91	197	栄養教諭7	94													
13	金													711	組織力パワーアップⅡ	150				
25	水	226	2年目・ステップ3a(セ)	101	227	2年目・ステップ3a(北)	101													
26	木	228	2年目・ステップ3b(セ)	101								255	中堅・共通Ⅳ	104						

1月

必修講座（初任期育成研修）								選択・推薦講座（中堅教諭等資質向上研修必修講座を含む。）											
日	曜	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場	頁	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場	頁
9	木	134	小・教科6A	74															
		174	特支6	87															
16	木	135	小・教科6B	74	151	中・教科6(北)	79												
		150	中・教科6(七)	79	167	高・教科7(北) 【音楽・美術・家庭】	85												
17	金											405	学力診断テスト中2(七)	114					
20	月													406	学力診断テスト中2(北)	114			
23	木	166	高・教科7(七)	84	167	高・教科7(北)	85												
24	金											256	中堅・共通Va	104					
27	月											527	特支・ICTを活用した指導・支援	137					
28	火											257	中堅・共通Vb	105					
30	木	110	共通・教育実践	66															

2月

日	曜	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場	頁	No	センター	頁	No	北部研修所	頁	No	外部会場	頁
6	木											501	総合的な学習(探究)の時間	129					

# 「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」との対応一覧

本表は基本研修を除く各研修講座が「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」における観点、ステージにそれぞれどのように対応しているかを示しています。

- ・それぞれの講座において主とする観点により整理しています。
- ・主として対応するステージを示していますので、経験が浅い、早いステージにおいては、各観点の資質能力をバランスよく身に付けるために、一定の経験を積んだ段階においては、興味・関心や勤務校で求められる内容などに対応するために受講することも可能です。
- ・各講座の受講対象の詳細については「研修講座一覧」ページ、「研修講座の実施概要」ページを御覧ください。

- ◎ ……主として対応するステージ  
○ ……受講することが可能なステージ

観点	講座番号・講座名	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4	備考
基本的 資質能力	601 コミュニケーション基礎講座－ビジネスマナーから考える－（企業連携）	◎	○	○	○	
	807 CS発想から考えるビジネスマナー講座（企業連携）	◎	○	○	○	
	602 コミュニケーション講座Ⅰ－職場実践に生かす－（企業連携）	○	◎	○	○	
	603 コミュニケーション講座Ⅱ－職場実践に生かす－（企業連携）	○	◎	○	○	
	703 教職員の資質向上を図るメンターシップ講座		○	◎	○	
	801 校長講座				◎	
	802 副校長・教頭・事務長講座				◎	
	811 府立学校副校長講座シリーズⅠ				◎	
	812 府立学校副校長講座シリーズⅡ				◎	
	813 府立学校副校長講座シリーズⅢ				◎	
	852 新任府立学校長特別講座				◎	
	853 新任府立学校副校長特別講座				◎	
人権	521 特別支援教育「インクルーシブ教育システム」講座－コーディネーターの役割－【養成講座Ⅰ】	◎	○	○	○	
	525 特別支援教育「心理検査を支援に生かす」講座－基礎から学ぶ新版K式発達検査2001－	◎	○	○	○	
	528 特別支援教育「知的障害のある児童生徒の授業づくり」講座－特別支援学級・特別支援学校の授業づくり－	◎	○	○	○	
	529 特別支援教育・サテライト「肢体不自由のある児童生徒の授業づくり」講座	◎	○	○	○	
	530 特別支援教育・京都府スーパーサポートセンター連携「基礎から学ぶ特別支援学級・通級による指導」講座（センター）	◎	○	○	○	
	531 特別支援教育・京都府スーパーサポートセンター連携「基礎から学ぶ特別支援学級・通級による指導」講座（北部）	◎	○	○	○	
	534 特別支援教育・佛敎大学サテライト「病弱教育」講座	◎	○	○	○	
	535 特別支援教育・佛敎大学サテライト「重複・発達障害教育」講座シリーズⅠ	◎	○	○	○	
	536 特別支援教育・佛敎大学サテライト「重複・発達障害教育」講座シリーズⅡ	◎	○	○	○	
	502 人権教育講座Ⅰ－多様な性に対する理解－	○	◎	○	○	
	503 人権教育講座Ⅱ－同和問題を考える－	○	◎	○	○	
	522 特別支援教育「校内支援体制の充実」講座－個別の指導計画の作成と活用－【養成講座Ⅱ】	○	◎	○	○	
	523 特別支援教育「児童生徒の気になる行動、その理解と対応」講座	○	◎	○	○	
	526 特別支援教育「これからの高等学校の特別支援教育を考える」講座	○	◎	○	○	
	524 特別支援教育「学習障害（LD）のある児童生徒への指導・支援」講座	○	○	◎	○	
	527 特別支援教育「ICTを活用した指導・支援」講座－読み書きの困難に焦点をあてて－	○	○	◎	○	
	532 特別支援教育・京都教育大学サテライト「コーディネータースキルアップⅠ」講座－ソーシャルスキル－	○	○	◎	○	
	533 特別支援教育・京都教育大学サテライト「コーディネータースキルアップⅡ」講座－医療・福祉との連携－	○	○	◎	○	
	854 子どもの貧困と学習支援講座	○	○	◎	○	
	855 スクールソーシャルワーク講座－SSWの役割の理解とその実践－	○	○	◎	○	

- ◎ ……主として対応するステージ  
○ ……受講することが可能なステージ

観点	講座番号・講座名	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4	備考
学習指導	413 小学校家庭科 快適な住まいと環境講座	◎	○	○	○	
	417 小学校実技どんとこい！音楽科&図画工作科講座－鑑賞編－	◎	○	○	○	
	418 小学校実技どんとこい！理科&家庭科講座	◎	○	○	○	
	420 算数科・数学科授業づくりシリーズ講座	◎	○			
	422 小中音楽科「箏の音色で音楽づくり」講座	◎	○	○	○	
	423 小中高をつなぐ「新学習指導要領音楽科の指導と評価」講座	◎	○	○	○	
	431 中学校技術・家庭科（技術分野）基礎がため講座（内容C・D）	◎	○	○	○	
	432 《新指対応！》中学校家庭科講座	◎	○	○	○	
	436 道徳の授業づくり実践講座（センター）	◎	○	○	○	専門領域と重複
	437 道徳の授業づくり実践講座（北部）	◎	○	○	○	専門領域と重複
	441 6年目教員指導力向上講座	◎				
	302 小学校プログラミング教育指導者養成講座シリーズⅠ	○	◎	○	○	
	303 小学校プログラミング教育指導者養成講座シリーズⅡ	○	◎	○	○	
	401 京都府学力診断テスト（小学校4年国語・中学校1年国語）活用講座（センター）	○	◎	○	○	
	402 京都府学力診断テスト（小学校4年算数・中学校1年数学）活用講座（センター）	○	◎	○	○	
	403 京都府学力診断テスト（小学校4年国語・中学校1年国語）活用講座（北部）	○	◎	○	○	
	404 京都府学力診断テスト（小学校4年算数・中学校1年数学）活用講座（北部）	○	◎	○	○	
	405 京都府学力診断テスト（中学校2年）活用講座（センター）	○	◎	○	○	
	406 京都府学力診断テスト（中学校2年）活用講座（北部）	○	◎	○	○	
	407 学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅰ	○	◎	○	○	
	408 学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅱ	○	◎	○	○	
	409 小学校国語科教育講座－「読むこと」を構想する－	○	◎	○	○	
	410 小学校社会科教育講座－問題解決的な学習を構想する－	○	◎	○	○	
	411 小学校理科教育講座－興味を引き出す授業づくり－	○	◎	○	○	
	412 《新指対応！》図画工作科講座～指導と評価を考える～	○	◎	○	○	
	414 小学校外国語教育実践講座Ⅰ	○	◎	○	○	
	415 小学校外国語教育実践講座Ⅱ	○	◎	○	○	
	416 明日の授業を考える外国語教育講座－新学習指導要領に対応して－	○	◎	○	○	
	419 小中9年間で数学的な見方・考え方を育てる授業づくり講座	○	◎	○	○	
	421 小中をつなぐ理科教育講座（We b＋）	○	◎	○	○	
	425 中学校・高等学校国語科教育講座－「文学」の授業を考える－	○	◎	○	○	
	426 育成すべき資質・能力をつなぐ社会科・地理歴史科・公民科教育講座	○	◎	○	○	
	427 中高をつなぐ理科教育講座	○	◎	○	○	
	429 中高音楽科「伝統音楽指導法～能楽&雅楽～」講座	○	◎	○	○	
	430 中高美術講座－墨の美－	○	◎	○	○	
	433 中高家庭科 消費者教育講座	○	◎	○	○	
	434 中学校・高等学校外国語科教育講座－即興型英語ディベートを授業に－	○	◎	○	○	
	435 中学校・高等学校外国語科教育講座－「指導と評価の一体化」を考える－	○	◎	○	○	
	438 道徳教育の推進講座	○	◎	○	○	専門領域と重複
	439 明日の授業を考える高校教育講座－高大接続と探究活動を視点にして－	○	◎	○	○	専門領域と重複
	440 アクティブ・ラーニング実践講座－演習から学ぶ授業づくり－	○	◎	○	○	専門領域と重複
	442 認知発達と授業づくり講座～理科教育実践を通して～	○	◎	○	○	専門領域と重複
501 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間講座－深い学びを構想する－	○	◎	○	○	専門領域と重複	
506 情報活用能力育成講座～ICT・情報モラル・メディアリテラシーを学ぶ～	○	◎	○	○	専門領域と重複	
507 プログラミング教育基礎講座	○	◎	○	○		
512 図書館教育講座－調べ学習を支援する学習センターとしての図書館の在り方－	○	◎	○	○	専門領域と重複	
851 これが読きたい（算数・数学）研修講座（奈良県連携）	○	◎	○	○		
428 最先端科学から学ぶ講座	○	○	◎	○		

- ◎ ……主として対応するステージ
- ……受講することが可能なステージ

観点	講座番号・講座名	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4	備考
生徒指導	513 教育相談<初級>講座-児童生徒理解と関わり-(センター)【領域①②③】	◎	○	○	○	専門領域と重複
	514 教育相談<初級>講座-児童生徒理解と関わり-(北部)【領域①②③】	◎	○	○	○	専門領域と重複
	504 生徒指導講座-生徒指導の機能を生かした学級づくり-	○	◎	○	○	専門領域と重複
	505 特別活動講座-よりよい学級・学校生活をつくるために-	○	◎	○	○	専門領域と重複
	515 教育相談<中級>講座I-事例を通して深める子どもの理解-【領域①】	○	◎	○	○	専門領域と重複
	516 教育相談<中級>講座III-教師・子ども関係からみる事例の理解~プロセスレコードを用いて-【領域③】	○	◎	○	○	専門領域と重複
	519 「今を生きる子どものこころ」講座-アニメや物語にみる子どものこころ-	○	◎	○	○	専門領域と重複
	520 教職員のメンタルヘルス講座	○	◎	○	○	専門領域と重複
	605 子どもの力を引き出す教育コーチング講座(企業連携)	○	◎	○	○	専門領域と重複
	517 教育相談<上級>講座II-心と体のつながりの理解と関わり-【領域②】	○	○	◎	○	専門領域と重複
	518 教育相談<上級>講座III-ストレスマネジメント教育-【領域③】	○	○	◎	○	専門領域と重複
専門領域 養護教諭としての専門領域 栄養教諭としての専門領域	436 道徳の授業づくり実践講座(センター)	◎	○	○	○	
	437 道徳の授業づくり実践講座(北部)	◎	○	○	○	
	513 教育相談<初級>講座-児童生徒理解と関わり-(センター)【領域①②③】	◎	○	○	○	
	514 教育相談<初級>講座-児童生徒理解と関わり-(北部)【領域①②③】	◎	○	○	○	
	438 道徳教育の推進講座	○	◎	○	○	
	439 明日の授業を考える高校教育講座-高大接続と探究活動を視点にして-	○	◎	○	○	
	440 アクティブ・ラーニング実践講座-演習から学ぶ授業づくり-	○	◎	○	○	
	442 認知発達と授業づくり講座~理科教育実践を通して~	○	◎	○	○	
	501 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間講座-深い学びを構想する-	○	◎	○	○	
	506 情報活用能力育成講座~ICT・情報モラル・メディアリテラシーを学ぶ~	○	◎	○	○	
	504 生徒指導講座-生徒指導の機能を生かした学級づくり-	○	◎	○	○	
	505 特別活動講座-よりよい学級・学校生活をつくるために-	○	◎	○	○	
	512 図書館教育講座-調べ学習を支援する学習センターとしての図書館の在り方-	○	◎	○	○	
	515 教育相談<中級>講座I-事例を通して深める子どもの理解-【領域①】	○	◎	○	○	
	516 教育相談<中級>講座III-教師・子ども関係からみる事例の理解~プロセスレコードを用いて-【領域③】	○	◎	○	○	
	519 「今を生きる子どものこころ」講座-アニメや物語にみる子どものこころ-	○	◎	○	○	
	520 教職員のメンタルヘルス講座	○	◎	○	○	
	605 子どもの力を引き出す教育コーチング講座(企業連携)	○	◎	○	○	
	804 養護教諭講座	○	◎	○	○	養護教諭のみ
	805 栄養教諭・学校栄養職員講座	○	◎	○	○	栄養教諭のみ
517 教育相談<上級>講座II-心と体のつながりの理解と関わり-【領域②】	○	○	◎	○		
518 教育相談<上級>講座III-ストレスマネジメント教育-【領域③】	○	○	◎	○		



- ◎・・・主として対応するステージ  
○・・・受講することが可能なステージ

観点	講座番号・講座名	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4	備考
マネジメント	708 カリキュラム・マネジメント入門講座	◎	○	○	○	
	705 企業から学ぶマネジメント講座－経営哲学から学ぶ－（企業連携）	○	◎	○	○	
	706 多忙化への対応とセルフマネジメント講座（企業連携）	○	◎	○	○	
	707 ワーク・ライフ・マネジメント講座（企業連携）	○	◎	○	○	
	709 カリキュラム・マネジメント推進講座	○	◎	○	○	
	814 新任教務主任（部長）講座	○	◎	○	○	
	704 教育法規演習講座－判例に学ぶ信頼ある学校づくり－	○	○	◎	○	
	301 学校組織運営特別講座シリーズⅠ		○	◎	○	
	701 危機管理講座		○	○	◎	
803 管理職「特別支援教育・メンタルヘルス」講座				◎		
チーム学校	424 基礎力パワーアップ講座～小中学校編～	◎	○	○	○	
	321 チーム学校講座シリーズⅠ－教員と事務職員の協働－		◎	○	○	
	322 チーム学校講座シリーズⅡ－教員と事務職員の協働－		◎	○	○	
	323 チーム学校講座シリーズⅢ－教員と事務職員の協働－		◎	○	○	
	324 チーム学校講座シリーズⅣ－教員と事務職員の協働－		◎	○	○	
	604 コミュニケーション発展講座－人材育成に生かす－（企業連携）		○	◎	○	
	606 学校運営に生かすコーチング講座（企業連携）		○	◎	○	
	702 学校内外環境分析講座－学校の強みを生かした特色づくり－		○	◎	○	
	710 学校組織力パワーアップ講座Ⅰ	○	○	◎	○	
711 学校組織力パワーアップ講座Ⅱ				◎		
京都ならではの教育	508 京の教育「みやび」講座	○	◎	○	○	
	509 京の教育「ふるさと」講座Ⅰ－お茶の京都－	○	◎	○	○	
	510 京の教育「ふるさと」講座Ⅱ－海の京都－	○	◎	○	○	
	511 京都文化博物館で学ぶ歴史、伝統・文化講座	○	◎	○	○	

## 研修講座の実施概要

# 研修講座の実施概要の見方

## 1 記載内容・アイコン・タブについて

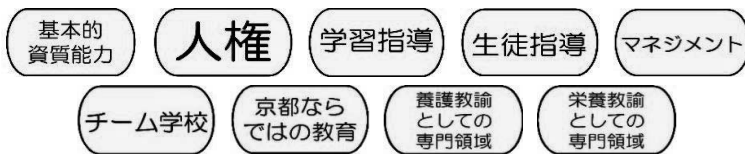
### (1) 記載内容

講座番号	講座名 (2)		
開催日時	平成 年 月 日 ( ) : ~ :	講座のねらい	※講座を受講して、身に付けてほしい力量、また、自らの行動変容とともに、組織へ波及してほしい内容を記載しています。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	教諭、養、栄、寄、実 (幼・小・中・義・高・特支) ※詳細は内容参照	定員	100名
内容	※予定の講師、研修講座の内容を記載しています。 受講対象の注意事項を記載している場合があります。		※講座の様子や講師の写真等を掲載しています。 開催時間についての注意を記載している場合があります。
連絡先	※問い合わせ・連絡先を記載しています。		(3) 主な指標の観点 (基本的資質能力)

### (2) 受講制限を表すアイコン

**推薦** … 教育局長、府立学校長の推薦を受けた者が受講可能な講座

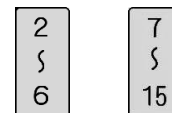
### (3) 主な指標の観点を表すアイコン



### (4) グレードを表すタブ



### (5) 各年期(ステージ)の選択講座として該当する年期を表すタブ



## 2 受講対象の略記について

### (1) 表記の順序

**【対象限定※1】 職種※2 (校種※3) <地域等の指定※4>**

### (2) 略記の対応表

※1 基本研修について	略記
初任者研修(小学校・中学校・義務教育学校・高等学校・特別支援学校で初任者研修対象教諭)	【初任者】
新規採用者研修(平成31年度に採用された幼稚園教諭・養護教諭・栄養教諭 等)	【新採】
上記の初任者研修と新規採用者研修を合同実施	【初・新】
2年目教員ステップアップ研修(平成31年度該当者)	【2年目】
中堅教諭等資質向上研修(平成31年度該当者)	【中堅教諭等】

※2 職種について	略記
全ての職種を対象	全教職員
副校長・教頭	副・頭
総括主事	総
養護教諭	養
栄養教諭・学校栄養職員	栄
学校図書館司書	司
事務職員	事
府立学校技術職員	技
学校施設管理職員	施
寄宿舎指導員	寄
技術職員(船舶乗組員)	船
実習教諭・実習助手	実

※副校長は首席副校長、副園長を含みます。  
※教諭(〇〇担当教諭)と表記している場合は、主幹教諭、指導教諭、教諭を全て含みます。

※3 校種について	略記
幼稚園	幼
小学校	小
中学校	中
義務教育学校	義
義務教育学校前期課程	義前
義務教育学校後期課程	義後
高等学校	高
特別支援学校	特支

※校種の前に複数の職種を表記している場合は、全ての職種が( )内の校種に該当します。


※4 地域等の指定について	略記
南部地域の学校	南
北部地域の学校	北

※乙訓・山城・南丹教育局管内の小・中・義務教育学校は南部地域の学校、中丹・丹後教育局管内の小・中学校は北部地域の学校です。府立学校の詳細については、事前の講座で連絡します。

各頁に記載している研修講座の内容等は予定です。  
確定した内容等は「実施要項」として、講座実施日の前月15日に京都府総合教育センターホームページに掲載しますので、必ず確認してください。

基 本 研 修  
(初任期育成研修)

基礎・基本


No. 101	初任者・新規採用者研修共通「開講式等」講座		
開催日時	平成31年 4月 1日(月) 13:00~17:00	講座のねらい	教職員としての自覚と心構えをもち、セルフマネジメントの必要性を理解するとともに、初任期育成研修について概要を理解する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初・新】教諭(小・中・義・高・特支)、養、栄、司、事、施、寄、実	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>オフィスSACRA 代表 櫻井 直子</p> <p>教職員としての自覚と心構えをもち、セルフマネジメントの必要性について学ぶ。 求められる京都府の教員像と、各研修講座の概要について理解する。</p>		 <p>午後1時から開講</p>
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		


基礎・基本


No. 102	初任者・新規採用者研修共通「初任期スタート」講座 a		
開催日時	平成31年 4月18日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	京都府の教育の基本的な視点を理解し、自らの教育活動への展望や教職員としての自覚と心構えをもち。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初・新】教諭(小A・中A・義A・特支)、養、栄、司、事、施、寄	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>京都府の人権教育及び特別支援教育の基本的な視点について学ぶ。 情報活用能力の育成と情報手段の適切な活用について学ぶ。 学級経営における担任の実務や今日的諸課題について学ぶ。 特別活動の意義やよりよい集団活動の在り方について学ぶ。 教職員としての役割や基本的な職務の内容について学ぶ。</p>		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

基礎・基本

No. 103	初任者・新規採用者研修共通「初任期スタート」講座 b		
開催日時	平成31年 4月25日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	京都府の教育の基本的な視点を理解し、自らの教育活動への展望や教職員としての自覚と心構えをもち。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初・新】教諭(幼・小B・中B・義B・高)、実	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>京都府の人権教育及び特別支援教育の基本的な視点について学ぶ。 情報活用能力の育成と情報手段の適切な活用について学ぶ。 学級経営における担任の実務や今日的諸課題について学ぶ。 特別活動の意義やよりよい集団活動の在り方について学ぶ。 高等学校における教育課程や教科教育の在り方について学ぶ。 教職員としての役割や基本的な職務の内容について学ぶ。</p>		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		


No.104 初任者・新規採用者研修共通「京の伝統文化体験」講座 a			
開催日時	平成31年 7月25日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	京都の伝統にふれる体験を通して、「ふるさと京都」について学び、伝統と文化に関する学習等につなぐ視点をもつ。
会場	京都伝統工芸大学校 南丹市園部町二本松1-1		
受講対象	【初・新】教諭(小B・義前B・中A・義後A)	定員	※該当者は全員受講
内容	京都伝統工芸大学校 教職員等  京都の伝統や文化に関する講義、陶芸・竹工芸等の工芸作品の制作体験及び研究協議を通して、伝統や文化を尊重する心や態度を育む教育活動及び教材の開発や活用について学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

No.105 初任者・新規採用者研修共通「京の伝統文化体験」講座 b			
開催日時	平成31年 7月26日(金) 10:30~17:00	講座のねらい	京都の伝統にふれる体験を通して、「ふるさと京都」について学び、伝統と文化に関する学習等につなぐ視点をもつ。
会場	京都伝統工芸大学校 南丹市園部町二本松1-1		
受講対象	【初・新】教諭(幼・特支)、養、栄、寄、実	定員	※該当者は全員受講
内容	京都伝統工芸大学校 教職員等  京都の伝統や文化に関する講義、陶芸・竹工芸等の工芸作品の制作体験及び研究協議を通して、伝統や文化を尊重する心や態度を育む教育活動及び教材の開発や活用について学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

No.106 初任者・新規採用者研修共通「京の伝統文化体験」講座 c			
開催日時	平成31年 7月29日(月) 10:30~17:00	講座のねらい	京都の伝統にふれる体験を通して、「ふるさと京都」について学び、伝統と文化に関する学習等につなぐ視点をもつ。
会場	京都伝統工芸大学校 南丹市園部町二本松1-1		
受講対象	【初・新】教諭(小A・義前A・中B・義後B)	定員	※該当者は全員受講
内容	京都伝統工芸大学校 教職員等  京都の伝統や文化に関する講義、陶芸・竹工芸等の工芸作品の制作体験及び研究協議を通して、伝統や文化を尊重する心や態度を育む教育活動及び教材の開発や活用について学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		



基礎・基本

No. 107	初任者・新規採用者研修共通「京の伝統文化体験」講座 d		
開催日時	平成31年 7月30日(火) 10:30~17:00	講座のねらい	京都の伝統にふれる体験を通して、「ふるさと京都」について学び、伝統と文化に関する学習等につなぐ視点をもつ。
会場	京都伝統工芸大学校 南丹市園部町二本松1-1		
受講対象	【初・新】教諭(高)	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>京都伝統工芸大学校 教職員等</p> <p>京都の伝統や文化に関する講義、陶芸・竹工芸等の工芸作品の制作体験及び研究協議を通して、伝統や文化を尊重する心や態度を育む教育活動及び教材の開発や活用について学ぶ。</p> 		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		


基礎・基本


No. 108	初任者・新規採用者研修共通「健康安全教育・地域連携」講座 a		
開催日時	平成31年 6月13日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	健康安全教育、防災教育の意義と役割について理解する。 社会教育を推進するための重点課題について理解する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初・新】教諭(小A・義前A・高・特支)、事、施、寄	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>大阪教育大学附属池田小学校 教員 行政関係者</p> <p>健康安全教育や防災教育の意義と役割について理解し、非常災害時の初期対応や日常の事故等の未然防止のための取組について学ぶ。 京都府の社会教育について理解し、地域社会と連携した教育実践の方法を学ぶ。</p>		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

基礎・基本


No. 109	初任者・新規採用者研修共通「健康安全教育・地域連携」講座 b		
開催日時	平成31年 6月20日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	健康安全教育、防災教育の意義と役割について理解する。 社会教育を推進するための重点課題について理解する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初・新】教諭(幼・小B・義前B・中・義後)、養、栄、司、実	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>大阪教育大学附属池田小学校 教員 行政関係者</p> <p>健康安全教育や防災教育の意義と役割について理解し、非常災害時の初期対応や日常の事故等の未然防止のための取組について学ぶ。 京都府の社会教育について理解し、地域社会と連携した教育実践の方法を学ぶ。</p>		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

No.110	初任者・新規採用者研修等共通「教育実践」講座		
開催日時	平成32年 1月30日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	他の校種・職種の実践から学び、次年度からの教育実践に向けた展望をもつ。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初・新】教諭(幼・小・中・義・高・特支)、養、栄、寄、実	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>初任者は1年間のまとめを、新規採用者は「テーマ研修」のまとめを行う。</p> <p>各校種・職種の代表者の実践発表を聞き、自身の実践と比較検討して学ぶ。</p>		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		


No.111	初任者・新規採用者研修共通「コミュニケーション」講座 a		
開催日時	平成31年 9月 5日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	児童生徒及び保護者等と信頼関係を築くための望ましいコミュニケーションの在り方を学び、教職員としての資質向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初・新】教諭(中A・義後A・高A)、司、施	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>オフィスSACRA 代表 櫻井 直子</p> <p>児童生徒及び保護者と信頼関係を築くための望ましいコミュニケーションの在り方を学ぶとともに、コミュニケーション能力の向上に向けての方策を見いだす。</p>		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

No.112	初任者・新規採用者研修共通「コミュニケーション」講座 b		
開催日時	平成31年 9月19日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	幼児児童生徒及び保護者等と信頼関係を築くための望ましいコミュニケーションの在り方を学び、教職員としての資質向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初・新】教諭(幼・中B・義後B・高B)、実	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>オフィスSACRA 代表 櫻井 直子</p> <p>幼児児童生徒及び保護者と信頼関係を築くための望ましいコミュニケーションの在り方を学ぶとともに、コミュニケーション能力の向上に向けての方策を見いだす。</p>		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

基礎・基本

No. 113	初任者・新規採用者研修共通「コミュニケーション」講座c		
開催日時	平成31年 9月26日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	児童生徒及び保護者等と信頼関係を築くための望ましいコミュニケーションの在り方を学び、教職員としての資質向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初・新】教諭(小A・義前A・特支A)、事、寄	定員	※該当者は全員受講
内容	オフィスSACRA 代表 櫻井 直子  児童生徒及び保護者と信頼関係を築くための望ましいコミュニケーションの在り方を学ぶとともに、コミュニケーション能力の向上に向けての方策を見いだす。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

基礎・基本

No. 114	初任者・新規採用者研修共通「コミュニケーション」講座d		
開催日時	平成31年 10月31日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	児童生徒及び保護者等と信頼関係を築くための望ましいコミュニケーションの在り方を学び、教職員としての資質向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初・新】教諭(小B・義前B・特支B)、養、栄	定員	※該当者は全員受講
内容	オフィスSACRA 代表 櫻井 直子  児童生徒及び保護者と信頼関係を築くための望ましいコミュニケーションの在り方を学ぶとともに、コミュニケーション能力の向上に向けての方策を見いだす。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

基礎・基本

No. 115	初任者・新規採用者研修共通「人権教育」講座(センター教育局別)		
開催日時	平成31年 8月20日(火) 9:00~12:30	講座のねらい	府内全体及び各地域における人権教育の基本的取組事項と重点的取組事項を理解し、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初・新】教諭(幼・小・中・義・特支)<南>・(高A)、養<南>、栄<南>、司<南>、事<南>、施<南>、寄<南>、実<南>	定員	※該当者は全員受講
内容	京都府の人権教育の基本的な考え方について学ぶとともに、各地域の取組や学校段階等間の接続の重要性について学ぶ。 「人権学習資料集」や「教職員人権研修ハンドブック」等の活用を通して、人権学習の進め方を具体的に学び、指導力の向上を図る。		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>午前9時から開講</b> </div>
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

No.116	初任者・新規採用者研修共通「人権教育」講座 (北部教育局別)		
開催日時	平成31年 8月 7日(水) 9:00~12:30	講座の ねらい	府内全体及び各地域における人権教育の 基本的取組事項と重点的取組事項を理解 し、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初・新】教諭(幼・小・中・特支)〈北〉・ (高B)、養〈北〉、栄〈北〉、司〈北〉、事〈北〉、 施〈北〉、寄〈北〉、実〈北〉	定員	※該当者は全員受講
内容	京都府の人権教育の基本的な考え方について学ぶとともに、各地域の 取組や学校段階等間の接続の重要性について学ぶ。 「人権学習資料集」や「教職員人権研修ハンドブック」等の活用を通 じて、人権学習の進め方を具体的に学び、指導力の向上を図る。		<b>午前9時 から開講</b>
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

No.117	初任者研修「生徒指導」講座(センター)		
開催日時	平成31年 8月20日(火) 13:30~17:00	講座の ねらい	生徒指導上の今日的な課題を理解すると ともに、児童生徒理解を深め、よりよい人 間関係を育成し、豊かな心を育む生徒指導 の在り方について理解を深める。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭(小・中・義・特支)〈南〉・ (高A)	定員	※該当者は全員受講
内容	児童生徒の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導の在り方を 学ぶ。 生徒指導上の今日的な課題とその対応を学ぶ。		<b>午後1時 30分から 開講</b>
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

No.118	初任者研修「生徒指導」講座(北部)		
開催日時	平成31年 8月 7日(水) 13:30~17:00	講座の ねらい	生徒指導上の今日的な課題を理解すると ともに、児童生徒理解を深め、よりよい人 間関係を育成し、豊かな心を育む生徒指導 の在り方について理解を深める。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】教諭(小・中・特支)〈北〉・ (高B)	定員	※該当者は全員受講
内容	児童生徒の個性や人間関係を踏まえた個別指導と集団指導の在り方を 学ぶ。 生徒指導上の今日的な課題とその対応を学ぶ。		<b>午後1時 30分から 開講</b>
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

基礎・基本

No. 119	初任者研修「生徒指導・教育相談」講座A		
開催日時	平成31年 5月 9日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	児童生徒の変化に気付き、生徒指導上の問題の未然防止、早期発見及び早期対応ができるよう、基本的な考え方や具体的な対応について学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭(小A・中A・義A・高A・特支A)	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>生徒指導についての認識を深め、生徒指導上の問題の現状と基本的な対応の在り方、生徒指導の機能を生かした教育活動を理解する。</p> <p>児童生徒理解を基に、受容的・共感的に児童生徒と関わることができるよう、教育相談に関する基本的な考え方を理解する。</p>		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

基礎・基本

No. 120	初任者研修「生徒指導・教育相談」講座B		
開催日時	平成31年 5月 16日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	児童生徒の変化に気付き、生徒指導上の問題の未然防止、早期発見及び早期対応ができるよう、基本的な考え方や具体的な対応について学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭(小B・中B・義B・高B・特支B)	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>生徒指導についての認識を深め、生徒指導上の問題の現状と基本的な対応の在り方、生徒指導の機能を生かした教育活動を理解する。</p> <p>児童生徒理解を基に、受容的・共感的に児童生徒と関わることができるよう、教育相談に関する基本的な考え方を理解する。</p>		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

基礎・基本

No. 121	初任者研修「道徳教育・特別支援教育」講座(センター)		
開催日時	平成31年 8月 22日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	道徳教育及び特別支援教育の基本的な在り方を学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭(小・中・義・特支)〈南〉・(高A)	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>目標や内容、基本的な指導の在り方等、道徳教育の進め方について理解する。</p> <p>「特別の教科 道徳」の特質を踏まえた授業の在り方について、教材分析と発問づくりの演習を通して学ぶ。</p> <p>発達障害について理解するとともに、特別な配慮を必要とする児童生徒への指導・支援の在り方について学ぶ。</p>		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		



No.122	初任者研修「道徳教育・特別支援教育」講座（北部）		
開催日時	平成31年 8月 6日（火）10:30～17:00	講座のねらい	道徳教育及び特別支援教育の基本的な在り方を学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】教諭（小・中・特支）〈北〉・（高B）	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>目標や内容、基本的な指導の在り方等、道徳教育の進め方について理解する。</p> <p>「特別の教科 道徳」の特質を踏まえた授業の在り方について、教材分析と発問づくりの演習を通して学ぶ。</p> <p>発達障害について理解するとともに、特別な配慮を必要とする児童生徒への指導・支援の在り方について学ぶ。</p>		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

No.123	初任者研修「小学校教科教育1」講座A（センター）		
開催日時	平成31年 5月23日（木）10:30～17:00	講座のねらい	<p>「小学校教科教育」講座の見通しをもち、自身の課題を設定する。</p> <p>国語科と算数科における現行及び新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の基本的事項について理解する。</p>
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭（小A・義A）〈南〉	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>「小学校教科教育」講座の概要について理解する。</p> <p>国語科及び算数科における現行及び新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の基本的事項について学ぶ。</p> <p>教科教育における自身の課題を、協議により明確にする。</p>		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

No.124	初任者研修「小学校教科教育1」講座A（北部）		
開催日時	平成31年 5月23日（木）10:30～17:00	講座のねらい	<p>「小学校教科教育」講座の見通しをもち、自身の課題を設定する。</p> <p>国語科と算数科における現行及び新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の基本的事項について理解する。</p>
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】教諭（小A）〈北〉	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>「小学校教科教育」講座の概要について理解する。</p> <p>国語科及び算数科における現行及び新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の基本的事項について学ぶ。</p> <p>教科教育における自身の課題を、協議により明確にする。</p>		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		



基礎・基本

No. 125	初任者研修「小学校教科教育1」講座B（センター）		
開催日時	平成31年 6月 6日（木）10:30～17:00	講座のねらい	「小学校教科教育」講座の見直しをもち、自身の課題を設定する。 国語科と算数科における現行及び新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の基本的事項について理解する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭（小B・義B）〈南〉	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>「小学校教科教育」講座の概要について理解する。 国語科及び算数科における現行及び新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の基本的事項について学ぶ。 教科教育における自身の課題を、協議により明確にする。</p>		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

基礎・基本

No. 126	初任者研修「小学校教科教育1」講座B（北部）		
開催日時	平成31年 6月 6日（木）10:30～17:00	講座のねらい	「小学校教科教育」講座の見直しをもち、自身の課題を設定する。 国語科と算数科における現行及び新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の基本的事項について理解する。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】教諭（小B）〈北〉	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>「小学校教科教育」講座の概要について理解する。 国語科及び算数科における現行及び新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導の基本的事項について学ぶ。 教科教育における自身の課題を、協議により明確にする。</p>		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

基礎・基本

No. 127	初任者研修「小学校教科教育2」講座A（センター）		
開催日時	平成31年 6月27日（木）10:30～17:00	講座のねらい	社会科における現行及び新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導について理解する。 国語科・算数科の授業を構想するための具体的な方策を理解する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭（小A・義A）〈南〉	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>社会科における現行及び新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導について学ぶ。 国語科・算数科において授業を構想するための具体的な方策を学ぶ。</p>		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

No. 128	初任者研修「小学校教科教育2」講座A（北部）		
開催日時	平成31年 6月27日（木）10:30～17:00	講座のねらい	社会科における現行及び新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導について理解する。 国語科・算数科の授業を構想するための具体的な方策を理解する。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】教諭（小A）〈北〉	定員	※該当者は全員受講
内容	社会科における現行及び新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導について学ぶ。 国語科・算数科において授業を構想するための具体的な方策を学ぶ。		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

No. 129	初任者研修「小学校教科教育2」講座B（センター）		
開催日時	平成31年 7月 4日（木）10:30～17:00	講座のねらい	社会科における現行及び新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導について理解する。 国語科・算数科の授業を構想するための具体的な方策を理解する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭（小B・義B）〈南〉	定員	※該当者は全員受講
内容	社会科における現行及び新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導について学ぶ。 国語科・算数科において授業を構想するための具体的な方策を学ぶ。		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

No. 130	初任者研修「小学校教科教育2」講座B（北部）		
開催日時	平成31年 7月 4日（木）10:30～17:00	講座のねらい	社会科における現行及び新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導について理解する。 国語科・算数科の授業を構想するための具体的な方策を理解する。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】教諭（小B）〈北〉	定員	※該当者は全員受講
内容	社会科における現行及び新学習指導要領の趣旨を踏まえた学習指導について学ぶ。 国語科・算数科において授業を構想するための具体的な方策を学ぶ。		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

基礎・基本

No. 131	初任者研修「小学校教科教育3」講座		
開催日時	平成31年 7月30日(火) 10:00~16:30	講座のねらい	実技等の指導を伴う教科について、現行及び新学習指導要領、各教科等の重点等を踏まえて、授業を進める上での基本的事項と留意点を学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】教諭(小・義)	定員	※該当者は全員受講
内容	次の6教科から3教科の研修を行う。 理科：科学的に問題解決する力を育てる授業づくりの在り方 生活科：気付きの質を高める授業づくりの在り方 音楽科：豊かな情操を培う授業づくりの在り方 図画工作科：自分の感覚や行為を通して学ぶ授業づくりの在り方 家庭科：実践的、体験的な活動を通して学ぶ授業づくりの在り方 体育科：身体能力や知識の獲得を目指す授業づくりの在り方		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p><b>午前10時から開講</b></p> </div>
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)		

基礎・基本

No. 132	初任者研修「小学校教科教育4」講座		
開催日時	平成31年 7月31日(水) 10:00~16:30	講座のねらい	実技等の指導を伴う教科について、現行及び新学習指導要領、各教科等の重点等を踏まえて、授業を進める上での基本的事項と留意点を学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】教諭(小・義)	定員	※該当者は全員受講
内容	次の6教科から3教科の研修を行う。 理科：科学的に問題解決する力を育てる授業づくりの在り方 生活科：気付きの質を高める授業づくりの在り方 音楽科：豊かな情操を培う授業づくりの在り方 図画工作科：自分の感覚や行為を通して学ぶ授業づくりの在り方 家庭科：実践的、体験的な活動を通して学ぶ授業づくりの在り方 体育科：身体能力や知識の獲得を目指す授業づくりの在り方		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p><b>午前10時から開講</b></p> </div>
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)		

基礎・基本

No. 133	初任者研修「小学校教科教育5」講座		
開催日時	平成31年 8月21日(水) 10:30~17:00	講座のねらい	国語科・算数科における授業を構想することを通して、現行及び新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の在り方について理解する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭(小・義)	定員	※該当者は全員受講
内容	国語科・算数科において現行及び新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業を構想する。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

No.134 初任者研修「小学校教科教育6」講座A			
開催日時	平成32年 1月 9日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	国語科・算数科における授業実践について振り返ることを通して、現行及び新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の在り方について理解を深め、今後の実践の展望をもつ。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭(小A・義A)	定員	※該当者は全員受講
内容	国語科・算数科における実践のまとめをする。 実践発表、研究協議を通して成果と課題を明確にし、教科指導力の向上への見通しをもつ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

No.135 初任者研修「小学校教科教育6」講座B			
開催日時	平成32年 1月16日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	国語科・算数科における授業実践について振り返ることを通して、現行及び新学習指導要領の趣旨を踏まえた授業の在り方について理解を深め、今後の実践の展望をもつ。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭(小B・義B)	定員	※該当者は全員受講
内容	国語科・算数科における実践のまとめをする。 実践発表、研究協議を通して成果と課題を明確にし、教科指導力の向上への見通しをもつ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

No.136 初任者研修「小学校授業参観」講座A			
開催日時	平成31年 10月17日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	公開授業の参観を通して授業改善の方策について学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府公立小学校 ※詳細は別途通知		
受講対象	【初任者】教諭(小A・義A)	定員	※該当者は全員受講
内容	公開授業の参観を通して、具体的な授業展開の在り方や指導と評価の工夫について学ぶ。 授業改善の方策について協議し、指導力の向上に生かす。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

基礎・基本

No. 137	初任者研修「小学校授業参観」講座B		
開催日時	平成31年 11月 7日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	公開授業の参観を通して授業改善の方策について学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府公立小学校 ※詳細は別途通知		
受講対象	【初任者】教諭(小B・義B)	定員	※該当者は全員受講
内容	公開授業の参観を通して、具体的な授業展開の在り方や指導と評価の工夫について学ぶ。 授業改善の方策について協議し、指導力の向上に生かす。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

基礎・基本

No. 138	初任者研修「小学校外国語活動、総合的な学習の時間、情報教育」講座A		
開催日時	平成31年 7月25日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	外国語活動、総合的な学習の時間における新学習指導要領の趣旨を理解するとともに、情報活用能力の育成やプログラミング教育の基本を学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭(小A・義A)	定員	※該当者は全員受講
内容	外国語活動、総合的な学習の時間における新学習指導要領の趣旨を理解する。 情報活用能力の育成を図るための情報手段の活用やプログラミング教育の基本を学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

基礎・基本

No. 139	初任者研修「小学校外国語活動、総合的な学習の時間、情報教育」講座B		
開催日時	平成31年 7月29日(月) 10:30~17:00	講座のねらい	外国語活動、総合的な学習の時間における新学習指導要領の趣旨を理解するとともに、情報活用能力の育成やプログラミング教育の基本を学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭(小B・義B)	定員	※該当者は全員受講
内容	外国語活動、総合的な学習の時間における新学習指導要領の趣旨を理解する。 情報活用能力の育成を図るための情報手段の活用やプログラミング教育の基本を学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

No. 140	初任者研修「中学校教科教育1」講座（センター）		
開催日時	平成31年 5月23日（木）10:30～17:00	講座のねらい	現行及び新学習指導要領等を踏まえた学習指導の在り方や教科の指導における基本的な考え方について理解を深める。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、社会科、数学科、外国語科担当教諭（中・義）	定員	※該当者は全員受講
内容	現行及び新学習指導要領等について学び、教科の指導の在り方や「質の高い学力」の育成について学ぶ。		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

No. 141	初任者研修「中学校教科教育1」講座（北部）		
開催日時	平成31年 5月23日（木）10:30～17:00	講座のねらい	現行及び新学習指導要領等を踏まえた学習指導の在り方や教科の指導における基本的な考え方について理解を深める。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、音楽科、美術科、保健体育科、技術・家庭科担当教諭（中・義）	定員	※該当者は全員受講
内容	現行及び新学習指導要領等について学び、教科の指導の在り方や「質の高い学力」の育成について学ぶ。		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 142	初任者研修「中学校教科教育2」講座（センター）		
開催日時	平成31年 6月 6日（木）10:30～17:00	講座のねらい	現行及び新学習指導要領の趣旨を生かした指導の在り方と指導計画について学び、教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、社会科、数学科、外国語科担当教諭（中・義）	定員	※該当者は全員受講
内容	講義、演習等を通して授業設計の基本的な考え方、学習指導案の作成手順について学ぶ。		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		



基礎・基本

No. 143	初任者研修「中学校教科教育2」講座（北部）		
開催日時	平成31年 6月 6日（木）10:30～17:00	講座のねらい	現行及び新学習指導要領の趣旨を生かした指導の在り方と指導計画について学び、教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所 ※保健体育科は内容参照		
受講対象	【初任者】理科、音楽科、美術科、保健体育科、技術・家庭科担当教諭（中・義）	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>講義、演習等を通して授業設計の基本的な考え方、学習指導案の作成手順について学ぶ。</p> <p>※保健体育科は9:50～16:20、福知山市武道館で行います。 福知山市武道館 福知山市字猪崎377-24</p>		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		

基礎・基本

No. 144	初任者研修「中学校教科教育3」講座（センター）		
開催日時	平成31年 8月 8日（木）10:30～17:00	講座のねらい	学習内容の特質を生かした単元構想と指導と評価の工夫等について学び、教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、社会科、数学科、外国語科担当教諭（中・義）	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>講義、演習等を通して授業設計の在り方を学ぶ。 指導と評価の在り方について学び、効果的な指導方法について理解する。</p>		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

基礎・基本

No. 145	初任者研修「中学校教科教育3」講座（北部）		
開催日時	平成31年 8月 8日（木）10:30～17:00	講座のねらい	学習内容の特質を生かした単元構想と指導と評価の工夫等について学び、教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所 ※技術・家庭科（技術分野）は内容参照		
受講対象	【初任者】理科、音楽科、美術科、保健体育科、技術・家庭科担当教諭（中・義）	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>講義、演習等を通して授業設計の在り方を学ぶ。 指導と評価の在り方について学び、効果的な指導方法について理解する。</p> <p>※技術・家庭科（技術分野）は京都府総合教育センターで行います。</p>		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 146	初任者研修「中学校教科教育4」講座（センター）		
開催日時	平成31年 9月26日（木）10:30～17:00	講座のねらい	言語活動の充実や主体的な学習を促す指導の工夫等について学び、教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、社会科、数学科担当教諭（中・義） ※外国語科担当教諭は10月3日（木）	定員	※該当者は全員受講
内容	教科における学習指導の工夫について学び、模擬授業や研究協議を通して、自己の授業実践を振り返る。		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

No. 147	初任者研修「中学校教科教育4」講座（北部）		
開催日時	平成31年 9月26日（木）10:30～17:00	講座のねらい	言語活動の充実や主体的な学習を促す指導の工夫等について学び、教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、音楽科、美術科、保健体育科、技術・家庭科担当教諭（中・義）	定員	※該当者は全員受講
内容	教科における学習指導の工夫について学び、模擬授業や研究協議を通して、自己の授業実践を振り返る。		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 148	初任者研修「中学校教科教育5」講座（センター）		
開催日時	平成31年 11月14日（木）10:30～17:00	講座のねらい	効果的な指導と評価の工夫等、授業改善の具体的な方策を学び、教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、社会科、数学科、外国語科担当教諭（中・義）	定員	※該当者は全員受講
内容	学習指導における課題を整理し、模擬授業や研究協議を通して、効果的な教科の指導の在り方について学ぶ。		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

基礎・基本

No. 149	初任者研修「中学校教科教育5」講座（北部）		
開催日時	平成31年 11月14日（木）10:30～17:00	講座のねらい	効果的な指導と評価の工夫等、授業改善の具体的な方策を学び、教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、音楽科、美術科、保健体育科、技術・家庭科担当教諭（中・義）	定員	※該当者は全員受講
内容	学習指導における課題を整理し、模擬授業や研究協議を通して、効果的な教科の指導の在り方について学ぶ。		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		

基礎・基本

No. 150	初任者研修「中学校教科教育6」講座（センター）		
開催日時	平成32年 1月16日（木）10:30～17:00	講座のねらい	1年間の授業実践を振り返ることや、2年目に向けての研修計画を設定することを通して、教科指導力の向上への展望をもつ。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、社会科、数学科、外国語科担当教諭（中・義）	定員	※該当者は全員受講
内容	実践発表や研究協議等を通して成果と課題を明確にし、教科指導力の向上への見通しをもつ。		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

基礎・基本

No. 151	初任者研修「中学校教科教育6」講座（北部）		
開催日時	平成32年 1月16日（木）10:30～17:00	講座のねらい	1年間の授業実践を振り返ることや、2年目に向けての研修計画を設定することを通して、教科指導力の向上への展望をもつ。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、音楽科、美術科、保健体育科、技術・家庭科担当教諭（中・義）	定員	※該当者は全員受講
内容	実践発表や研究協議等を通して成果と課題を明確にし、教科指導力の向上への見通しをもつ。		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 152	初任者研修「中学校授業参観」講座		
開催日時	平成31年 10月24日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	公開授業の参観を通して授業改善の方策について学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府公立中学校 ※詳細は別途通知		
受講対象	【初任者】教諭(中・義)	定員	※該当者は全員受講
内容	授業参観の視点及び授業分析の基礎について学ぶとともに、公開授業の参観を通して、自己の授業実践を振り返り、効果的な授業展開や指導と評価の工夫等、授業力向上の方策について学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

No. 153	初任者研修「中学校総合的な学習の時間、キャリア教育」講座		
開催日時	平成31年 9月12日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	総合的な学習の時間、キャリア教育の基本的な事項について学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭(中・義)	定員	※該当者は全員受講
内容	総合的な学習の時間の目標、指導と評価等について理解する。 キャリア教育の意義やその実践の在り方等について理解する。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

No. 154	初任者研修「高等学校教科教育1」講座(センター)		
開催日時	平成31年 5月30日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	現行及び新学習指導要領等を踏まえた教科の指導の在り方や基本的な考え方について理解を深める。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、地理歴史科、公民科、数学科、外国語科、農業科、工業科担当教諭(高)	定員	※該当者は全員受講
内容	現行及び新学習指導要領の趣旨を理解し、各教科の目標及び指導の在り方について学ぶ。 授業を構想することを通して、教科の指導の基本的な考え方について学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

基礎・基本

No. 155	初任者研修「高等学校教科教育1」講座（北部）		
開催日時	平成31年 5月30日（木）10:30～17:00	講座のねらい	現行及び新学習指導要領等を踏まえた教科の指導の在り方や基本的な考え方について理解を深める。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、保健体育科、芸術科音楽、芸術科美術、家庭科担当教諭（高）	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>現行及び新学習指導要領の趣旨を理解し、各教科の目標及び指導の在り方について学ぶ。</p> <p>授業を構想することを通して、教科の指導の基本的な考え方について学ぶ。</p>		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		

基礎・基本

No. 156	初任者研修「高等学校教科教育2」講座（センター）		
開催日時	平成31年 6月20日（木）10:30～17:00	講座のねらい	現行及び新学習指導要領の趣旨を生かした指導の在り方と指導計画について学び、教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、地理歴史科、公民科、数学科、外国語科、農業科、工業科担当教諭（高）	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>授業構成の基本について理解し、本時のねらいを達成するための授業設計や授業を展開する上での基本的事項について学ぶ。</p>		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

基礎・基本

No. 157	初任者研修「高等学校教科教育2」講座（北部）		
開催日時	平成31年 6月20日（木）10:30～17:00	講座のねらい	現行及び新学習指導要領の趣旨を生かした指導の在り方と指導計画について学び、教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、保健体育科、芸術科音楽、芸術科美術、家庭科担当教諭（高）	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>授業構成の基本について理解し、本時のねらいを達成するための授業設計や授業を展開する上での基本的事項について学ぶ。</p>		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 158	初任者研修「高等学校教科教育3」講座（センター）		
開催日時	平成31年 7月24日（水）10:30～17:00	講座のねらい	学習内容の特質を生かした単元構想と指導と評価の工夫等について学び、教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、地理歴史科、公民科、数学科、外国語科、農業科、工業科担当教諭（高）	定員	※該当者は全員受講
内容	講義、演習等を通して授業設計の在り方を学ぶ。 指導と評価の在り方について学び、効果的な指導方法について理解する。		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

No. 159	初任者研修「高等学校教科教育3」講座（北部）		
開催日時	平成31年 7月24日（水）10:30～17:00	講座のねらい	学習内容の特質を生かした単元構想と指導と評価の工夫等について学び、教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、保健体育科担当教諭（高） ※芸術科音楽、芸術科美術、家庭科担当教諭は8月8日（木）	定員	※該当者は全員受講
内容	講義、演習等を通して授業設計の在り方を学ぶ。 指導と評価の在り方について学び、効果的な指導方法について理解する。		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		

No. 160	初任者研修「高等学校教科教育4」講座（センター）		
開催日時	平成31年 10月 3日（木）10:30～17:00	講座のねらい	言語活動の充実や主体的な学習を促す指導の工夫等について学び、教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、数学科、外国語科、農業科、工業科担当教諭（高） ※地歴公民科担当教諭は9月26日（木）	定員	※該当者は全員受講
内容	言語活動の充実や主体的な学習を促す指導の工夫等、効果的な教科の指導について学ぶ。		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		



基礎・基本

No. 161	初任者研修「高等学校教科教育4」講座（北部）		
開催日時	平成31年 10月 3日（木） 10:30～17:00	講座のねらい	言語活動の充実や主体的な学習を促す指導の工夫等について学び、教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所 ※保健体育科は内容参照		
受講対象	【初任者】理科、保健体育科、芸術科音楽、芸術科美術、家庭科担当教諭（高）	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>言語活動の充実や主体的な学習を促す指導の工夫等、効果的な教科の指導について学ぶ。</p> <p>※保健体育科は京都トレーニングセンターで行います。 京都トレーニングセンター 船井郡京丹波町曾根崩下代110-7</p>		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		

基礎・基本

No. 162	初任者研修「高等学校教科教育5」講座（センター）		
開催日時	平成31年 10月31日（木） 10:30～17:00	講座のねらい	個に応じた指導と評価の工夫等、授業改善の具体的な方策を学び、教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、地理歴史科、公民科、数学科、外国語科、農業科、工業科担当教諭（高）	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>模擬授業や研究協議等を通して、個に応じた指導と評価の工夫、指導と評価の一体化による授業改善の方策を学ぶ。</p>		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

基礎・基本

No. 163	初任者研修「高等学校教科教育5」講座（北部）		
開催日時	平成31年 10月31日（木） 10:30～17:00	講座のねらい	個に応じた指導と評価の工夫等、授業改善の具体的な方策を学び、教科指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、保健体育科担当教諭（高） ※芸術科音楽、芸術科美術、家庭科担当教諭は11月14日（木）	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>模擬授業や研究協議等を通して、個に応じた指導と評価の工夫、指導と評価の一体化による授業改善の方策を学ぶ。</p>		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		

No.164	初任者研修「高等学校教科教育6、ホームルーム経営」講座 (センター)		
開催日時	平成31年11月28日(木) 10:30~17:00	講座の ねらい	主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業の構想と展開について学び、教科指導力の向上を図る。 ホームルーム経営の基本的な事項について理解する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、地理歴史科、公民科、数学科、外国語科、農業科、工業科担当教諭(高)	定員	※該当者は全員受講
内容	実践発表や研究協議等を通して、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業の構想と展開について学ぶ。 ホームルーム経営における担任としての基本的な実務やホームルーム経営上の諸課題について学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

No.165	初任者研修「高等学校教科教育6、ホームルーム経営」講座 (北部)		
開催日時	平成31年11月28日(木) 10:30~17:00	講座の ねらい	主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業の構想と展開について学び、教科指導力の向上を図る。 ホームルーム経営の基本的な事項について理解する。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、保健体育科、芸術科音楽、芸術科美術、家庭科担当教諭(高)	定員	※該当者は全員受講
内容	実践発表や研究協議等を通して、主体的・対話的で深い学びの実現を目指した授業の構想と展開について学ぶ。 ホームルーム経営における担任としての基本的な実務やホームルーム経営上の諸課題について学ぶ。		
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)		

No.166	初任者研修「高等学校教科教育7」講座(センター)		
開催日時	平成32年1月23日(木) 10:30~17:00	講座の ねらい	1年間の授業実践を振り返ることや、2年目に向けての研修計画を設定することを通して、教科指導力の向上への展望をもつ。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】国語科、地理歴史科、公民科、数学科、外国語科、農業科、工業科担当教諭(高)	定員	※該当者は全員受講
内容	実践発表や研究協議等を通して成果と課題を明確にし、教科指導力の向上への見通しをもつ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

基礎・基本


No. 167	初任者研修「高等学校教科教育7」講座（北部）		
開催日時	平成32年 1月23日（木）10:30～17:00	講座のねらい	1年間の授業実践を振り返ることや、2年目に向けての研修計画を設定することを通して、教科指導力の向上への展望をもつ。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】理科、保健体育科担当教諭（高） ※芸術科音楽、芸術科美術、家庭科担当教諭は1月16日（木）	定員	※該当者は全員受講
内容	実践発表や研究協議等を通して成果と課題を明確にし、教科指導力の向上への見通しをもつ。		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		

基礎・基本

No. 168	初任者研修「高等学校総合的な探究の時間、キャリア教育」講座		
開催日時	平成31年 9月12日（木）10:30～17:00	講座のねらい	総合的な探究の時間、キャリア教育の基本的な事項について学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭（高）	定員	※該当者は全員受講
内容	総合的な探究の時間の目標、指導と評価等について理解する。 キャリア教育の意義やその実践の在り方等について理解する。		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

基礎・基本

No. 169	初任者研修「特別支援学校1」講座		
開催日時	平成31年 5月23日（木）10:30～17:00	講座のねらい	特別支援学校の教育課程編成の基本について知り、勤務校の教育課程について理解する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭（特支）	定員	※該当者は全員受講
内容	京都府が目指す特別支援教育の目標について学ぶ。 特別支援学校の教育課程の編成と自立活動の基本を理解する。		
連絡先	特別支援教育部（075-612-2953）		

No.170 初任者研修「特別支援学校2」講座			
開催日時	平成31年 7月 4日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	個別の指導計画及び学習指導案の役割や作成の留意点について理解する。 アセスメントの基本的事項について知り、アセスメントに基づく指導の在り方について理解を深める。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭(特支)	定員	※該当者は全員受講
内容	平安女学院大学短期大学部 教授 清水 里美		
	個別の指導計画や学習指導案の役割を知り、その具体的な作成の仕方について学ぶ。 アセスメントの在り方や、具体的な指導・支援への生かし方について学ぶ。		
連絡先	特別支援教育部(075-612-2953)		

No.171 初任者研修「特別支援学校3」講座			
開催日時	平成31年 7月30日(火) 10:00~16:30	講座のねらい	実技等の指導を伴う教科について、授業を進める上での基本的事項と留意点を学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】教諭(特支)	定員	※該当者は全員受講
内容	体育科、音楽科等の実技等を伴う教科の指導の基本的な留意点について学ぶ。		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>午前10時から開講</b></p> </div>
連絡先	特別支援教育部(075-612-2953)		

No.172 初任者研修「特別支援学校4」講座			
開催日時	平成31年 9月12日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	知的障害の学習上の特性を踏まえた授業づくりの基本について理解を深める。 具体的な事例から、特別支援学校におけるキャリア教育の在り方について理解する。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】教諭(特支)	定員	※該当者は全員受講
内容	知的障害の学習上の特性を踏まえた授業づくりの基本について理解する。 具体的な事例から、特別支援学校におけるキャリア教育の在り方について学ぶ。		
連絡先	特別支援教育部(075-612-2953)		


基礎・基本

No. 173	初任者研修「特別支援学校5」講座		
開催日時	平成31年 11月21日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	視覚障害、聴覚障害、肢体不自由教育の基本について理解する。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【初任者】教諭(特支)	定員	※該当者は全員受講
内容	視覚障害、聴覚障害、肢体不自由の障害種に対応した教育の在り方について理解し、効果的な指導内容や方法について学ぶ。 授業研究を通して、効果的な指導内容や方法について理解を深める。		
連絡先	特別支援教育部(075-612-2953)		

基礎・基本

No. 174	初任者研修「特別支援学校6」講座		
開催日時	平成32年 1月 9日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	医療や福祉等との連携の重要性について理解する。 特別支援学校が果たす役割について自覚する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭(特支)	定員	※該当者は全員受講
内容	医療や福祉等との連携の必要性とその実際について知るとともに、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の在り方について学ぶ。 特別支援学校が果たす役割について理解を深める。		
連絡先	特別支援教育部(075-612-2953)		

基礎・基本

No. 175	初任者研修「特別支援学校授業参観」講座		
開催日時	平成31年 6月20日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	授業参観を通して、特別支援学校の授業の在り方について理解する。
会場	京都府立八幡支援学校 八幡市内里柿谷16-1		
受講対象	【初任者】教諭(特支)	定員	※該当者は全員受講
内容	京都教育大学 教授 相澤 雅文 授業参観を通して、特別支援学校の授業の在り方について学ぶ。 知的障害のある児童生徒への指導の在り方や、授業づくりについて学ぶ。		
連絡先	特別支援教育部(075-612-2953)		


No. 176	初任者研修「特別支援学校外国語活動、総合的な学習の時間・総合的な探究の時間、情報教育」講座A		
開催日時	平成31年 7月25日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	外国語活動、総合的な学習の時間・総合的な探究の時間における新学習指導要領の趣旨を理解するとともに、情報教育の基本的事項やICTを活用した指導方法を学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭(特支A)	定員	※該当者は全員受講
内容	外国語活動、総合的な学習の時間・総合的な探究の時間における新学習指導要領の趣旨を理解する。 情報活用能力の育成を図るための情報手段の活用について理解する。 また、ICTを活用した指導方法を学ぶ。		
連絡先	特別支援教育部(075-612-2953)		

No. 177	初任者研修「特別支援学校外国語活動、総合的な学習の時間・総合的な探究の時間、情報教育」講座B		
開催日時	平成31年 7月29日(月) 10:30~17:00	講座のねらい	外国語活動、総合的な学習の時間・総合的な探究の時間における新学習指導要領の趣旨を理解するとともに、情報教育の基本的事項やICTを活用した指導方法を学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【初任者】教諭(特支B)	定員	※該当者は全員受講
内容	外国語活動、総合的な学習の時間・総合的な探究の時間における新学習指導要領の趣旨を理解する。 情報活用能力の育成を図るための情報手段の活用について理解する。 また、ICTを活用した指導方法を学ぶ。		
連絡先	特別支援教育部(075-612-2953)		


No. 181	新規採用者研修「幼稚園教諭1」講座		
開催日時	平成31年 5月30日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	幼稚園教育の基本的な考え方と具体的な指導・支援の在り方について理解する。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【新採】教諭(幼)	定員	※該当者は全員受講
内容	幼稚園教育の基本的な考え方や幼児期の心身の発達において基礎となる活動や遊びについて理解し、幼児が主体的に活動するための環境の構成や支援の在り方を学ぶ。 幼児期の発達を理解し、一人一人の教育的ニーズに応じた指導・支援の在り方を学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		



基礎・基本

No. 182	新規採用者研修「幼稚園教諭2」講座		
開催日時	平成31年 7月23日(火) 10:30~17:00	講座のねらい	教育要領の趣旨に基づいて「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」から、効果的な幼小の接続を考え、スタートカリキュラムについて理解を深める。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】教諭(幼)	定員	※該当者は全員受講
内容	京都教育大学 准教授 古賀 松香  「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を基に、幼児児童への効果的な指導ができるようにする。 幼児期の教育を踏まえた「スタートカリキュラム」の作成について学び、実践に生かす。 ※講座番号407と合同実施		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		

基礎・基本

No. 183	新規採用者研修「幼稚園教諭3」講座		
開催日時	平成31年 8月 2日(金) 10:30~17:00	講座のねらい	保育の質の評価を学び、指導力の向上を図る。また、質の高い保育から生活科への接続について理解を深める。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【新採】教諭(幼)	定員	※該当者は全員受講
内容	同志社女子大学 教授 埋橋 玲子  質の高い保育を目指した評価について学ぶ。 幼児教育の手法を生活科に生かす。  ※講座番号408と合同実施		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		

基礎・基本

No. 184	新規採用者研修「養護教諭1」講座		
開催日時	平成31年 5月16日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	児童生徒の変化に気付き、生徒指導上の問題の未然防止、早期発見及び早期対応ができるよう、基本的な考え方や具体的な対応について学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】養護教諭	定員	※該当者は全員受講
内容	生徒指導についての認識を深め、生徒指導上の問題の現状と基本的な対応の在り方、生徒指導の機能を生かした教育活動を理解する。 児童生徒理解を基に、受容的・共感的に児童生徒と関わることができるよう、教育相談に関する基本的な考え方を理解する。		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		

No. 185	新規採用者研修「養護教諭2」講座		
開催日時	平成31年 7月 2日(火) 10:30~17:00	講座のねらい	学校環境衛生活動の意義と救急処置について学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【新採】養護教諭	定員	※該当者は全員受講
内容	綾部市立病院 院長 高升 正彦 学校薬剤師 学校環境の衛生管理に関わる基本となる内容と実践的な指導方法について理解する。 実習を通して、心肺蘇生法やAEDの使用及び学校で発生しやすい傷病への対応について理解する。		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		

No. 186	新規採用者研修「養護教諭3」講座		
開催日時	平成31年 7月22日(月) 10:30~17:00	講座のねらい	食物アレルギーに対する理解を深める。また、保健室経営の実際を学ぶとともに、学校保健計画及び学校安全計画の在り方について理解を深め、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】養護教諭	定員	※該当者は全員受講
内容	京都府立医科大学 小児科 土屋 邦彦 児童生徒が学校で安心・安全に過ごせるようにアレルギー疾患の知識や養護教諭として求められる対応について学ぶ。 児童生徒の健康づくりを効果的に推進するため、学校保健活動のセンター的役割を果たしている保健室の機能について理解を深める。		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		

No. 187	新規採用者研修「養護教諭4」講座		
開催日時	平成31年 8月 8日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	特別な配慮を必要とする児童生徒への支援の在り方を学び、養護教諭としての役割を理解し、指導力の向上を図る。 自身の研修テーマにおける課題を明確にし、解決のための方策を考える。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】養護教諭	定員	※該当者は全員受講
内容	文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官 田中 裕一 発達障害のある児童生徒に対して、保健室等において適切な対応ができるように、発達障害の特性を理解するとともに、明日からできる指導方法や支援方法について学び、養護教諭の役割について考える。 自身の研修テーマにおける課題を明確にし、解決に向けた方策を考える。※講座番号804と一部合同実施		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		

基礎・基本

No. 188	新規採用者研修「養護教諭5」講座		
開催日時	平成31年 9月 3日(火) 10:30~17:00	講座のねらい	児童生徒の現代的な健康課題への対応、専門家や関係機関との連携について考え、指導力の向上を図る。 特別な配慮を必要とする児童生徒への支援の在り方を考える。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】養護教諭	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>学校医</p> <p>児童生徒の現代的な健康課題への対応や心身に関わる保健管理や保健教育について学ぶ。 学校医及び医療機関・保健所（保健福祉センター）との連携の在り方について学ぶ。 特別な配慮を必要とする児童生徒への支援の在り方について考える。</p>		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

基礎・基本

No. 189	新規採用者研修「養護教諭6」講座		
開催日時	平成31年 10月 17日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	歯・口の健康や感染症予防に関する基礎的な知識を学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【新採】養護教諭	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>国立病院機構舞鶴医療センター 感染管理認定看護師 井上 かおり 学校歯科医</p> <p>感染症拡大を防ぐ工夫の仕方等を具体的に学ぶ。 児童生徒の歯・口の健康に関する基礎知識を学び、歯・口の健康づくりについて理解する。</p>		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

基礎・基本

No. 190	新規採用者研修「養護教諭7」講座		
開催日時	平成31年 12月 10日(火) 10:30~17:00	講座のねらい	児童虐待の実際を知り、養護教諭の役割について考え、指導力の向上を図る。 実践発表や研究協議を通して、チーム学校における養護教諭としての職務と役割について理解を深め、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】養護教諭	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>京都府まなび・生活アドバイザー スーパーバイザー 山本 千世子</p> <p>児童虐待の実際を知り、適切な対応や養護教諭としての役割について学ぶ。実践発表や研究協議を通して、チーム学校における養護教諭の職務や役割について具体的に学ぶ。</p>		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

No.191	新規採用者研修「栄養教諭1」講座		
開催日時	平成31年 5月16日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	児童生徒の変化に気づき、生徒指導上の問題の未然防止、早期発見及び早期対応ができるよう、基本的な考え方や具体的な対応について学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】栄養教諭	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>生徒指導についての認識を深め、生徒指導上の問題の現状と基本的な対応の在り方、生徒指導の機能を生かした教育活動を理解する。</p> <p>児童生徒理解を基に、受容的・共感的に児童生徒と関わることができるよう、教育相談に関する基本的な考え方を理解する。</p>		
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)		

No.192	新規採用者研修「栄養教諭2」講座		
開催日時	平成31年 6月 4日(火) 10:30~17:00	講座のねらい	栄養教諭としての任務と役割について理解し、学校給食の管理と食に関する指導について理解を深める。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【新採】栄養教諭	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>綾部ルネス病院 薬剤師 守谷 まさ子</p> <p>栄養教諭の専門性を生かした、食に関する具体的な指導について学ぶとともに、課題解決に向けての方策について理解を深める。</p> <p>学校給食を生きた教材として活用するため、家庭、地域社会との連携の在り方について学ぶ。また、栄養管理や危機管理等について、理論と実践の両面から理解する。さらに、学校給食を充実させ、安全に提供するための方策について理解を深める。</p>		
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)		

No.193	新規採用者研修「栄養教諭3」講座		
開催日時	平成31年 7月22日(月) 10:30~17:00	講座のねらい	食物アレルギーに対する理解を深める。また、献立作成や食に関する指導に係る全体計画の作成の留意点等について理解を深め、栄養教諭としての指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】栄養教諭	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>京都府立医科大学 小児科 土屋 邦彦</p> <p>児童生徒が学校で安心・安全に過ごせるようにアレルギー疾患の知識や栄養教諭として求められる対応について学ぶ。</p> <p>「児童又は生徒1人1回当たりの学校給食摂取基準」を基に、コンピュータソフト等を駆使した献立作成の手法を学び、食に関する指導や食事内容の充実を図る方法を学ぶ。</p>		
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)		

基礎・基本

No. 194	新規採用者研修「栄養教諭4」講座		
開催日時	平成31年 8月 1日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	学校給食の業務や食に関する指導の実際について学び、衛生管理や個別的な相談指導についての演習を通して専門性と実践的指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】栄養教諭	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>和洋女子大学 准教授 杉浦 令子</p> <p>栄養教諭としての専門性を生かした食と健康安全に関わる相談指導についての実践的指導力の向上を図る。 学校給食衛生管理基準の概要を理解し、業務の実際から学校給食管理についての実践的指導力の向上を図る。 ※講座番号805と合同実施</p>		
連絡先	地域教育支援部 (0773-43-2934)		

基礎・基本

No. 195	新規採用者研修「栄養教諭5」講座		
開催日時	平成31年 9月 17日(火) 9:00~16:00	講座のねらい	学校給食共同調理方式の調理場における作業工程の実際と学校給食管理及び食に関する指導の具体的な進め方について学び、衛生管理者としての基礎的知識を習得する。
会場	京都府公立学校又は学校給食センター (共同調理方式の調理場) ※詳細は別途通知		
受講対象	【新採】栄養教諭	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>共同調理方式の調理場の実地研修を通して、学校給食における危機管理の実際について学び、理解を深める。 学校給食の充実と危機管理の徹底及び学校給食を活用した実践的な食に関する指導について学ぶ。</p>		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>午前9時から開講</b></p> </div>
連絡先	地域教育支援部 (0773-43-2934)		

基礎・基本

No. 196	新規採用者研修「栄養教諭6」講座		
開催日時	平成31年 11月 12日(火) 9:00~16:00	講座のねらい	学校給食単独調理方式の調理場における調理の実際と学校給食管理及び食に関する指導の在り方について学び、栄養教諭としての基礎的知識を習得する。
会場	京都府公立学校 ※詳細は別途通知		
受講対象	【新採】栄養教諭	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>単独調理方式の調理場における実地研修を通して、危機管理に配慮した作業工程、作業動線について理解するとともに、日々の実践を振り返り、改善する視点を明確にし、給食管理及び食に関する指導について理解を深める。 栄養教諭としての専門性を生かし、栄養管理や学校における食に関する指導の進め方について、講義や実践発表を通して理解を深める。</p>		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <p><b>午前9時から開講</b></p> </div>
連絡先	地域教育支援部 (0773-43-2934)		



No.197 新規採用者研修「栄養教諭7」講座			
開催日時	平成31年 12月10日(火) 10:30~17:00	講座のねらい	発達障害の基本的な内容と支援の在り方について理解する。 自らの実践を振り返り、効果的な学校給食管理及び食に関する指導について検討し、次年度への方策を学ぶ。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【新採】栄養教諭	定員	※該当者は全員受講
内容	発達障害についての理解と、その基本的な支援の在り方について理解する。 実践発表を通して、給食管理や食に関する具体的な指導について学びとともに、課題解決に向けての方策について理解を深める。		
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)		

No.198 新規採用者研修「実習助手1」講座			
開催日時	平成31年 5月16日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	児童生徒の変化に気付き、生徒指導上の問題の未然防止、早期発見及び早期対応ができるよう、基本的な考え方や具体的な対応について学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】実習助手	定員	※該当者は全員受講
内容	生徒指導についての認識を深め、生徒指導上の問題の現状と基本的な対応の在り方、生徒指導の機能を生かした教育活動を理解する。 児童生徒理解を基に、受容的・共感的に児童生徒と関わることができるよう、教育相談に関する基本的な考え方を理解する。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

No.199 新規採用者研修「実習助手2」講座			
開催日時	平成31年 5月30日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	現行及び新学習指導要領等を踏まえた教科教育の在り方や基本的な考え方について理解を深める。
会場	京都府総合教育センター ※理科は内容参照		
受講対象	【新採】実習助手	定員	※該当者は全員受講
内容	現行及び新学習指導要領の趣旨を理解し、各教科の目標及び指導の在り方について学ぶ。 授業を構想することを通して、教科教育の基本的な考え方について学ぶ。  ※理科は京都府総合教育センター北部研修所で行います。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		



基礎・基本

No. 200	実習助手「ステップアップ」講座		
開催日時	平成31年 11月 5日(火) 13:00~17:00	講座のねらい	教科の指導における実践研究の成果と課題について協議し、実践力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【新採】実習助手	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>実験・実習を行う上での実務及び安全管理に対する知識を習得する。 実践研究の成果と課題を明らかにし、今後の目標を明確にする。</p>		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p><b>午後1時から開講</b></p> </div>
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		

基礎・基本


No. 201	新規採用者研修「寄宿舍指導員1」講座		
開催日時	平成31年 5月 16日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	児童生徒の変化に気づき、生徒指導上の問題の未然防止、早期発見及び早期対応ができるよう、基本的な考え方や具体的な対応について学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】寄宿舍指導員	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>生徒指導についての認識を深め、生徒指導上の問題の現状と基本的な対応の在り方、生徒指導の機能を生かした教育活動を理解する。 児童生徒理解を基に、受容的・共感的に児童生徒と関わることができるよう教育相談に関する基本的な考え方を理解する。</p>		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		

基礎・基本

No. 202	新規採用者研修「寄宿舍指導員2」講座		
開催日時	平成31年 5月 23日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	特別支援学校の教育課程編成の基本について知り、勤務校の教育課程について理解する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】寄宿舍指導員	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>京都府が目指す特別支援教育の目標について学ぶ。 特別支援学校の教育課程の編成と自立活動の基本を理解する。</p>		
連絡先	特別支援教育部 (075-612-2953)		

No.203 寄宿舍指導員「ステップアップ」講座			
開催日時	平成31年 11月 5日(火) 13:00~17:00	講座のねらい	福祉や医療等との連携の在り方について理解する。 自らの寄宿舍指導を振り返り、課題を明らかにするとともに、今後の職務の在り方を考える。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】寄宿舍指導員	定員	※該当者は全員受講
内容	講義や研究協議を通して、京都府の教職員としての自覚を深めるとともに、福祉や医療との連携の在り方について考える。 合理的配慮の基本的な考え方について学ぶ。		<b>午後1時から開講</b>
連絡先	特別支援教育部 (075-612-2953)		


No.204 新規採用者研修「学校事務職員1」講座			
開催日時	平成31年 4月23日(火) 10:30~17:00	講座のねらい	事務職員として職務に必要な実務の基本を習得する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】事務職員	定員	※該当者は全員受講
内容	京都府の教育及び給与事務、旅費事務、就・修学支援制度等の基本を学ぶ。		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		

No.205 新規採用者研修「学校事務職員2」講座			
開催日時	平成31年 6月27日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	学校内外においてよりよい人間関係を築き、仕事を円滑に進めるための基本的なビジネスマナーを習得する。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【新採】事務職員	定員	※該当者は全員受講
内容	株式会社キャリア総研 講師 緒方 幹代  求められるCS意識と好ましい対応を知り、言葉遣いや面談時の基本マナー、電話の取り次ぎ方などビジネスマナーの基本を学ぶ。  ※講座番号807と合同実施		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		


基礎・基本

No. 206	新規採用者研修「学校事務職員3」講座		
開催日時	平成31年 7月11日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	日々の業務に対応できる実務能力を養い、正確な事務処理を行う力を習得する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】事務職員	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>給与事務、共済事務等に係る事務能力を養う。</p> <p>※講座番号809と合同実施</p>		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		


基礎・基本

No. 207	新規採用者研修「学校図書館司書1」講座		
開催日時	平成31年 6月27日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	学校内外においてよりよい人間関係を築き、仕事を円滑に進めるための基本的なビジネスマナーを習得する。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【新採】学校図書館司書	定員	
内容	<p>株式会社キャリア総研 講師 緒方 幹代</p> <p>求められるCS意識と好ましい対応を知り、言葉遣いや面談時の基本マナー、電話の取り次ぎ方などビジネスマナーの基本を学ぶ。</p> <p>※講座番号807と合同実施</p>		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		

基礎・基本

No. 208	新規採用者研修「学校図書館司書2」講座		
開催日時	平成31年 8月23日(金) 10:30~17:00	講座のねらい	図書館の学習・情報センターとしての機能を活用した、児童生徒が主体的に学ぶ「調べ学習」について、構想力の向上を図る。
会場	京都府立図書館 左京区岡崎成勝寺町		
受講対象	【新採】学校図書館司書	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>京都府立図書館 職員</p> <p>京都府立図書館の取組から、図書館の学習・情報センターとしての役割について学ぶ。</p> <p>演習を通して具体的に「調べ学習」を構想することにより、自校の図書館教育で今後進めたい取組について、実践への意欲と展望をもつ。</p> <p>※講座番号512と合同実施</p>		 <p>京都府立図書館</p>
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		

No.209	新規採用者研修「学校施設管理職員1」講座		
開催日時	平成31年 4月23日(火) 10:30~17:00	講座のねらい	学校施設管理職員として職務に必要な実務の基本を習得する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】学校施設管理職員	定員	※該当者は全員受講
内容	京都府の教育及び給与事務、旅費事務、就・修学支援制度等の基本を学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

No.210	新規採用者研修「学校施設管理職員2」講座		
開催日時	平成31年 6月27日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	学校内外においてよりよい人間関係を築き、仕事を円滑に進めるための基本的なビジネスマナーを習得する。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【新採】学校施設管理職員	定員	※該当者は全員受講
内容	株式会社キャリア総研 講師 緒方 幹代 求められるCS意識と好ましい対応を知り、言葉遣いや面談時の基本マナー、電話の取り次ぎ方などビジネスマナーの基本を学ぶ。 ※講座番号807と合同実施		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

No.211	新規採用者研修「学校施設管理職員3」講座		
開催日時	平成31年 7月11日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	日々の業務に対応できる実務能力を養い、正確な事務処理を行う力を習得する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【新採】学校施設管理職員	定員	※該当者は全員受講
内容	給与事務、共済事務等に係る事務能力を養う。 ※講座番号809と合同実施		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)		

基礎・基本

No. 212	新規採用者研修「学校施設管理職員4」講座		
開催日時	平成31年 7月31日(水) 10:30~17:00	講座のねらい	府立学校に係る教育行政課題を認識し、日々の業務に生かす。 学びの環境充実のため、自校に必要なとされる対応を学び、日々の業務での実践力の向上を図る。
会場	京都府立南丹高等学校 亀岡市馬路町中島1		
受講対象	【新採】学校施設管理職員	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>行政関係者 京都府立南丹高等学校 教職員 進展する高校教育改革について、その成果と課題を学び、これからの業務に生かす。 講義、演習を通して金属加工や溶接に係る基本的な知識・技術を身に付ける。 ※講座番号806と合同実施</p>		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		

基礎・基本

No. 221	2年目教員「ステップアップ1」講座(センター)		
開催日時	平成31年 7月30日(火) 10:30~17:00	講座のねらい	2年目教員ステップアップ研修のねらいを理解し、今後の見通しをもつ。 新学習指導要領の趣旨や現代的教育課題等を学び、自身の教育活動に生かす。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【2年目】教諭(小・中・義・高・特支)	定員	※該当者は全員受講
	※詳細は内容参照		
内容	<p>京都府まなび・生活アドバイザー スーパーバイザー 山本 千世子 2年目教員ステップアップ研修の見通しをもつとともに、新学習指導要領の内容や現代的教育課題等について講義や演習を通して学ぶ。</p> <p>※受講対象 小・中学校・義務教育学校&lt;南&gt; 高等学校&lt;京都市・乙訓・山城・口丹通学圏&gt; 特別支援学校&lt;南丹地域以南&gt;</p>		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		

基礎・基本

No. 222	2年目教員「ステップアップ1」講座(北部)		
開催日時	平成31年 8月 1日(木) 10:30~17:00	講座のねらい	2年目教員ステップアップ研修のねらいを理解し、今後の見通しをもつ。 新学習指導要領の趣旨や現代的教育課題等を学び、自身の教育活動に生かす。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【2年目】教諭(小・中・高・特支)	定員	※該当者は全員受講
	※詳細は内容参照		
内容	<p>京都府まなび・生活アドバイザー スーパーバイザー 山本 千世子 2年目教員ステップアップ研修の見通しをもつとともに、新学習指導要領の内容や現代的教育課題等について講義や演習を通して学ぶ。</p> <p>※受講対象 小・中学校&lt;北&gt; 高等学校&lt;中丹・丹後通学圏&gt; 特別支援学校&lt;中丹・丹後地域&gt;</p>		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)		

No.223	2年目教員「ステップアップ2」講座a（センター）		
開催日時	平成31年 8月 9日（金）10:30～17:00	講座のねらい	自身のテーマにおける課題を明確にする とともに、授業改善に向けての具体的方策 を見いだす。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【2年目】教諭（小A・義前A・中・義後・ 高・特支A） ※詳細は内容参照	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>中間発表に基づく研究協議を通して、自身のテーマにおける課題を明確にし、今後の実践に向けての方策を見いだす。</p> <p>※中学校、義務教育学校後期課程は国語科、社会科、数学科、外国語科、技術・家庭科（技術分野）担当教諭が受講してください。 ※高等学校は国語科、地理歴史科、公民科、数学科、外国語科、工業科、商業科、水産科、情報科担当教諭が受講してください。</p>		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

No.224	2年目教員「ステップアップ2」講座a（北部）		
開催日時	平成31年 8月 9日（金）10:30～17:00	講座のねらい	自身のテーマにおける課題を明確にする とともに、授業改善に向けての具体的方策 を見いだす。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【2年目】教諭（中・義後・高） ※詳細は内容参照	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>中間発表に基づく研究協議を通して、自身のテーマにおける課題を明確にし、今後の実践に向けての方策を見いだす。</p> <p>※中学校、義務教育学校後期課程は理科、音楽科、美術科、保健体育科、技術・家庭科（家庭分野）担当教諭が受講してください。 ※高等学校は理科、保健体育科、芸術科美術、家庭科担当教諭が受講してください。</p>		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		

No.225	2年目教員「ステップアップ2」講座b（センター）		
開催日時	平成31年 8月19日（月）10:30～17:00	講座のねらい	自身のテーマにおける課題を明確にする とともに、授業改善に向けての具体的方策 を見いだす。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【2年目】教諭（小B・義前B・特支B）	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>中間発表に基づく研究協議を通して、自身のテーマにおける課題を明確にし、今後の実践に向けての方策を見いだす。</p>		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		



基礎・基本

No. 226	2年目教員「ステップアップ3」講座a（センター）		
開催日時	平成31年 12月25日（水）10:30～17:00	講座のねらい	自身の実践を振り返り、成果と課題を明確にするとともに、今後の授業力向上に向けての方策を見いだす。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【2年目】教諭（小A・義前A・中・義後・高・特支A） ※詳細は内容参照	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>テーマ研修で取り組んだ授業実践についての報告に基づき、自身の課題を見いだすとともに、研究協議を通して深化を図り、今後の実践への展望をもつ。</p> <p>※中学校、義務教育学校後期課程は国語科、社会科、数学科、外国語科、技術・家庭科（技術分野）担当教諭が受講してください。</p> <p>※高等学校は国語科、地理歴史科、公民科、数学科、外国語科、工業科、商業科、水産科、情報科担当教諭が受講してください。</p>		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

基礎・基本

No. 227	2年目教員「ステップアップ3」講座a（北部）		
開催日時	平成31年 12月25日（水）10:30～17:00	講座のねらい	自身の実践を振り返り、成果と課題を明確にするとともに、今後の授業力向上に向けての方策を見いだす。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	【2年目】教諭（中・義後・高） ※詳細は内容参照	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>テーマ研修で取り組んだ授業実践についての報告に基づき、自身の課題を見いだすとともに、研究協議を通して深化を図り、今後の実践への展望をもつ。</p> <p>※中学校、義務教育学校後期課程は理科、音楽科、美術科、保健体育科、技術・家庭科（家庭分野）担当教諭が受講してください。</p> <p>※高等学校は理科、保健体育科、芸術科美術、家庭科担当教諭が受講してください。</p>		
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）		

基礎・基本

No. 228	2年目教員「ステップアップ3」講座b（センター）		
開催日時	平成31年 12月26日（木）10:30～17:00	講座のねらい	自身の実践を振り返り、成果と課題を明確にするとともに、今後の授業力向上に向けての方策を見いだす。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【2年目】教諭（小B・義前B・特支B）	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>テーマ研修で取り組んだ授業実践についての報告に基づき、自身の課題を見いだすとともに、研究協議を通して深化を図り、今後の実践への展望をもつ。</p>		
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）		

# 基 本 研 修

(中堅教諭等資質向上研修)

推  
進

No. 251	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅰ a		
開催日時	平成31年 5月24日(金) 13:00~17:00	講座の ねらい	中堅教諭等資質向上研修の意義と内容について理解し、中堅教諭等としての自覚と使命感を高めるとともに、人権意識の高揚を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【中堅教諭等】 ※講座番号251・252から選択	定員	※該当者は全員受講
内 容	京都府教育振興プラン(平成28年度改定版)を踏まえ、公教育を担う中堅教諭等としての在り方や期待される京都府の教員像、コンプライアンスについて学び、自己を振り返る。 京都府の人権教育についての理解を深め、あらゆる教育活動を通して人権教育を推進していくための認識の深化と指導力の向上を図る。 ※講座番号251・252から選択して受講すること(申込不要)。		
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)		

午後1時  
から開講

推  
進

No. 252	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅰ b		
開催日時	平成31年 5月28日(火) 13:00~17:00	講座の ねらい	中堅教諭等資質向上研修の意義と内容について理解し、中堅教諭等としての自覚と使命感を高めるとともに、人権意識の高揚を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【中堅教諭等】 ※講座番号251・252から選択	定員	※該当者は全員受講
内 容	京都府教育振興プラン(平成28年度改定版)を踏まえ、公教育を担う中堅教諭等としての在り方や期待される京都府の教員像、コンプライアンスについて学び、自己を振り返る。 京都府の人権教育についての理解を深め、あらゆる教育活動を通して人権教育を推進していくための認識の深化と指導力の向上を図る。 ※講座番号251・252から選択して受講すること(申込不要)。		
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)		


午後1時  
から開講

推  
進


No. 253	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅱ		
開催日時	平成31年 7月29日(月) 13:00~17:00	講座の ねらい	学習指導要領改訂の趣旨の理解を通して、子どもたちに求められる資質・能力を育成するための理論と実践を学ぶ。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【中堅教諭等】	定員	※該当者は全員受講
内 容	京都大学大学院教育学研究科 教授 西岡 加名恵 京都府公立学校 教職員 「資質・能力」の育成とカリキュラム・マネジメントについて学び、中堅教諭等として今後果たすべき役割を自覚する。また、学習方法の実際を学び、パフォーマンス評価を活かした授業づくりを考える。 自らの資質能力の向上に向けた取組が学校全体の充実につながっている実践事例を学ぶ。		
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)		



午後1時から開講

No.254	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅲ		
開催日時	平成31年 8月21日(水) 13:00~17:00	講座の ねらい	学校組織マネジメントについて理解するとともに、学校組織改善へのミドルリーダーとしてのアプローチ方法を学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【中堅教諭等】	定員	※該当者は全員受講
内容	兵庫教育大学大学院 教授 浅野 良一		 午後1時から開講
	学校における組織マネジメントの全体像について理解するとともに、ミドルリーダーに期待される役割や考え方について学ぶ。 スクールマネジメントプランに貢献するために、目指すミドルリーダー像を明確にした実践への展望をもつ。		
連絡先	地域教育支援部 (0773-43-2934)		

推進

No.255	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅳ		
開催日時	平成31年 12月26日(木) 13:00~17:00	講座の ねらい	児童生徒理解の視点から、教育相談や生徒指導を充実させるために必要な知識・技能を学び、中堅教諭等としての実践力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【中堅教諭等】	定員	※該当者は全員受講
内容	花園大学 教授 橋本 和明		 午後1時から開講
	児童生徒の問題行動や内的葛藤に対する理解を深め、生徒指導の多様な方法で対応できる実践的指導力の向上を図る。また、法制度を含め「児童虐待」を正しく認識し、機能的な校内体制について学ぶ。 代表的な事例を取り上げ、学校が果たすべき役割、教師の役割分担、関係機関との連携の在り方等について学ぶ。		
連絡先	地域教育支援部 (0773-43-2934)		

推進

No.256	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Ⅴ a		
開催日時	平成32年 1月24日(金) 13:00~17:00	講座の ねらい	すべての子どもを大切にしたい授業づくりと学校における危機管理を学び、学び続ける教師として今後のキャリアステージにおける職能成長への使命感を高める。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【中堅教諭等】 ※講座番号256・257から選択	定員	※該当者は全員受講
内容	児童生徒が十分な学びを実現できるよう、学びの過程における困難さへの指導・支援の工夫や手立てを学ぶ。 学校の危機管理の在り方、京都府学校危機支援チーム(CCST)の活動内容を知り、実際の危機管理の場面からその対応方法を学ぶ。  ※講座番号256・257から選択して受講すること(申込不要)。		<div style="border: 2px solid black; padding: 10px; text-align: center;"> <b>午後1時 から開講</b> </div>
連絡先	地域教育支援部 (0773-43-2934)		

推進


推  
進

No. 257	中堅教諭等資質向上研修「共通」講座Vb		
開催日時	平成32年 1月28日(火) 13:00~17:00	講座の ねらい	すべての子どもを大切にした授業づくりと学校における危機管理を学び、学び続ける教師として今後のキャリアステージにおける職能成長への使命感を高める。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	【中堅教諭等】 ※講座番号256・257から選択	定員	※該当者は全員受講
内容	児童生徒が十分な学びを実現できるよう、学びの過程における困難さへの指導・支援の工夫や手立てを学ぶ。 学校の危機管理の在り方、京都府学校危機支援チーム(CCST)の活動内容を知り、実際の危機管理の場面からその対応方法を学ぶ。 ※講座番号256・257から選択して受講すること(申込不要)。		<b>午後1時 から開講</b>
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)		

## 指導者養成研修



推  
進

No. 301	学校組織運営特別講座シリーズⅠ		<b>推薦</b>
開催日時	平成31年 6月14日(金) 10:30~17:00	講座の ねらい	学校の組織と運営に関する理解を深めるとともに、ミドルリーダーに期待される学校運営の力量を高める。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	教諭(小・中・義・高・特支)、事務職員(高・特支の主任、事務主任、専門幹) ※教育局長、府立学校長の推薦を受けた者	定員	50名
内 容	同志社女子大学 特任教授 京都教育大学大学院連合教職実践研究科 教授 水本 徳明 学校の組織と運営に関する基本的な理論、概念、方法論の活用について理解を深め、ミドルリーダーが果たすべき役割について捉え直す。 ※シリーズⅡとして講座番号702及びシリーズⅢとして講座番号703を受講すること。シリーズⅡ・Ⅲの申込は不要 ※京都教育大学教職キャリア高度化センター連携講座		
連絡先	企画研究部(075-612-2950)	主な指標の観点 (マネジメント)	

推  
進


No. 302	小学校プログラミング教育指導者養成講座シリーズⅠ・Ⅱ (講座番号302・303)		<b>推薦</b>
開催日時	※内容参照 10:30~17:00	講座の ねらい	小学校プログラミング教育の重要性を理解し、児童への指導方法や体系的な小学校プログラミング教育の推進について学ぶ。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	教諭(小・義・特支) ※教育局長、府立学校長の推薦を受けた者	定員	30名
内 容	特定非営利活動法人みんなのコード 主任講師 シリーズⅠ 平成31年 6月13日(木) シリーズⅡ 平成31年12月 6日(金) プログラミング教育の考え方を学び、問題解決の目的や状況に応じて、情報と情報技術を効果的に活用するための考え方を理解し、指導力向上を図る。 ※シリーズⅠ・Ⅱ(講座番号302・303)を通して受講すること。		
連絡先	企画研究部(075-612-2950)	主な指標の観点 (学習指導)	

中核職員養成研修


発展


No. 321	チーム学校講座シリーズⅠー教員と事務職員の協働ー		講座のねらい	学校経営に参画する一員としての自覚を高めるとともに、校務運営に必要な「教員と事務職員の協働」を学び、実践する能力を養う。	推薦
	開催日時	平成31年 7月23日(火) 10:30~17:00			
	会場	京都府総合教育センター			
	受講対象	教諭、事務職員(主任、事務主任、専門幹) (小・中・義・高・特支) ※教育局長、府立学校長の推薦を受けた者			
	定員	40名			
内容	兵庫教育大学大学院 教授 日渡 円				
	自校における教員と事務職員の協働が学校をどのように変えていくかを学び、学校のリーダーとして地域とともにある学校経営への理解を深める。				
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)		主な指標の観点 (チーム学校)		

発展

No. 322	チーム学校講座シリーズⅡー教員と事務職員の協働ー		講座のねらい	学校経営に参画する一員としての自覚を高めるとともに、校務運営に必要な「教員と事務職員の協働」を学び、実践する能力を養う。	推薦
	開催日時	平成31年 7月24日(水) 10:30~17:00			
	会場	京都府総合教育センター			
	受講対象	教諭、事務職員(主任、事務主任、専門幹) (小・中・義・高・特支) ※教育局長、府立学校長の推薦を受けた者			
	定員	40名			
内容	兵庫教育大学大学院 教授 日渡 円				
	学校経営スタッフとしての教員と事務職員が、具体的な学校のケースに即して、どのような観点から情報を捉えて、分析していくのかを学ぶ。				
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)		主な指標の観点 (チーム学校)		

発展

No. 323	チーム学校講座シリーズⅢー教員と事務職員の協働ー		講座のねらい	学校経営に参画する一員としての自覚を高めるとともに、校務運営に必要な「教員と事務職員の協働」を学び、実践する能力を養う。	推薦
	開催日時	平成31年 8月20日(火) 10:30~17:00			
	会場	京都府総合教育センター北部研修所			
	受講対象	教諭、事務職員(主任、事務主任、専門幹) (小・中・義・高・特支) ※教育局長、府立学校長の推薦を受けた者			
	定員	40名			
内容	京都教育大学大学院連合教職実践研究科 教授 笠沙 知章				
	教育改革が進展する中で、教員と事務職員の協働が学校経営課題への取組に果たす役割について理解を深める。  ※京都教育大学教職キャリア高度化センター連携講座				
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)		主な指標の観点 (チーム学校)		

No. 324	チーム学校講座シリーズⅣ－教員と事務職員の協働－		<b>推薦</b>
開催日時	平成31年 9月27日(金) 10:30～17:00	講座の ねらい	学校経営に参画する一員としての自覚を高めるとともに、校務運営に必要な「教員と事務職員の協働」を学び、実践する能力を養う。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	教諭、事務職員（主任、事務主任、専門幹） （小・中・義・高・特支） ※教育局長、府立学校長の推薦を受けた者	定員	40名
内容	<p>京都教育大学大学院連合教職実践研究科 教授 竺沙 知章</p> <p>カリキュラム・マネジメントと財務マネジメントに係る実務を学び、学校目標達成のための予算書づくりのスキルを身に付ける。</p> <p>※京都教育大学教職キャリア高度化センター連携講座</p>		
連絡先	企画研究部（075-612-2950）	主な指標の観点	（チーム学校）

発展



專 門 研 修  
(教 科)



**推  
進**

No. 401	京都府学力診断テスト（小学校4年国語・中学校1年国語） 活用講座（センター）		
開催日時	平成31年 7月 9日（火）9:00～12:30	講座の ねらい	京都府学力診断テスト等から児童生徒の 学力状況を明らかにするとともに、授業改 善や学力向上の方策等について理解を深め る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	学力向上担当教諭（小・義・特支）、国語科 担当教諭（中・義・特支） ※各校1名	定員	200名
内 容	<p>京都府学力診断テストの結果に見られる本府児童生徒の学力状況及び 成果と課題について学ぶ。</p> <p>現行及び新学習指導要領に基づき、小・中学校9年間を見通した国語 科の系統性を踏まえた効果的な授業の在り方を構想する。</p>		<b>午前9時 から開講</b>
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">学習指導</span>	

**推  
進**

No. 402	京都府学力診断テスト（小学校4年算数・中学校1年数学） 活用講座（センター）		
開催日時	平成31年 7月 9日（火）13:00～16:30	講座の ねらい	京都府学力診断テスト等から児童生徒の 学力状況を明らかにするとともに、授業改 善や学力向上の方策等について理解を深め る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	学力向上担当教諭（小・義・特支）、数学科 担当教諭（中・義・特支） ※各校1名	定員	200名
内 容	<p>京都府学力診断テストの結果に見られる本府児童生徒の学力状況及び 成果と課題について学ぶ。</p> <p>現行及び新学習指導要領に基づき、小・中学校9年間を見通した算数 科及び数学科の系統性を踏まえた効果的な授業の在り方を構想する。</p>		<b>午後1時 から開講</b>
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">学習指導</span>	

**推  
進**

No. 403	京都府学力診断テスト（小学校4年国語・中学校1年国語） 活用講座（北部）		
開催日時	平成31年 7月11日（木）9:00～12:30	講座の ねらい	京都府学力診断テスト等から児童生徒の 学力状況を明らかにするとともに、授業改 善や学力向上の方策等について理解を深め る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	学力向上担当教諭（小・義・特支）、国語科 担当教諭（中・義・特支） ※各校1名	定員	150名
内 容	<p>京都府学力診断テストの結果に見られる本府児童生徒の学力状況及び 成果と課題について学ぶ。</p> <p>現行及び新学習指導要領に基づき、小・中学校9年間を見通した国語 科の系統性を踏まえた効果的な授業の在り方を構想する。</p>		<b>午前9時 から開講</b>
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">学習指導</span>	

No. 404	京都府学力診断テスト（小学校4年算数・中学校1年数学）活用講座（北部）		
開催日時	平成31年 7月11日（木）13:00～16:30	講座のねらい	京都府学力診断テスト等から児童生徒の学力状況を明らかにするとともに、授業改善や学力向上の方策等について理解を深める。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	学力向上担当教諭（小・義・特支）、数学科担当教諭（中・義・特支） ※各校1名	定員	150名
内容	<p>京都府学力診断テストの結果に見られる本府児童生徒の学力状況及び成果と課題について学ぶ。</p> <p>現行及び新学習指導要領に基づき、小・中学校9年間を見通した算数科及び数学科の系統性を踏まえた効果的な授業の在り方を構想する。</p>		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>午後1時から開講</b> </div>
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">学習指導</span>	

推  
進

No. 405	京都府学力診断テスト（中学校2年）活用講座（センター）		
開催日時	平成32年 1月17日（金）13:00～17:00	講座のねらい	京都府学力診断テスト等から生徒の学力状況を明らかにするとともに、分析・検証方法や授業改善の方策等について理解を深める。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	国語科、数学科、外国語科担当教諭（中・義・特支）	定員	180名
内容	<p>京都府学力診断テストの結果に見られる本府生徒の学力状況及び成果と課題について学ぶ。</p> <p>現行及び新学習指導要領に基づき、内容の系統性を踏まえた効果的な授業の在り方を構想し、自校の実践に生かす。</p>		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>午後1時から開講</b> </div>
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">学習指導</span>	

推  
進


No. 406	京都府学力診断テスト（中学校2年）活用講座（北部）		
開催日時	平成32年 1月20日（月）13:00～17:00	講座のねらい	京都府学力診断テスト等から生徒の学力状況を明らかにするとともに、分析・検証方法や授業改善の方策等について理解を深める。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	国語科、数学科、外国語科担当教諭（中・義・特支）	定員	120名
内容	<p>京都府学力診断テストの結果に見られる本府生徒の学力状況及び成果と課題について学ぶ。</p> <p>現行及び新学習指導要領に基づき、内容の系統性を踏まえた効果的な授業の在り方を構想し、自校の実践に生かす。</p>		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>午後1時から開講</b> </div>
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">学習指導</span>	

推  
進

推進

2  
5  
6


7  
5  
15

No. 407	学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅰ		
開催日時	平成31年 7月23日(火) 10:30~17:00	講座の ねらい	教育要領の趣旨に基づいて「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」から、効果的な幼小の接続を考え、スタートカリキュラムについて理解を深める。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	教諭(幼・小・義・特支)	定員	50名
内容	京都教育大学 准教授 古賀 松香  「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を基に、幼児児童への効果的な指導ができるようにする。 幼児期の教育を踏まえた「スタートカリキュラム」の作成について学び、実践に生かす。 ※講座番号182と合同実施		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点 (学習指導)	

推進

2  
5  
6


7  
5  
15

No. 408	学びをつなぐ幼児教育&生活科講座Ⅱ		
開催日時	平成31年 8月2日(金) 10:30~17:00	講座の ねらい	保育の質の評価を学び、指導力の向上を図る。また、質の高い保育から生活科への接続について理解を深める。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	教諭(幼・小・義・特支)	定員	50名
内容	同志社女子大学 教授 埋橋 玲子  質の高い保育を目指した評価について学ぶ。 幼児教育の手法を生活科に生かす。  ※講座番号183と合同実施		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点 (学習指導)	

推進

2  
5  
6

7  
5  
15

No. 409	小学校国語科教育講座ー「読むこと」を構想するー		
開催日時	平成31年 7月24日(水) 10:30~17:00	講座の ねらい	今、求められている国語科の学習指導について、演習を通して教材の生かし方や読む力を育てる指導の在り方について学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	教諭(小・義・特支)	定員	80名
内容	大阪成蹊大学 准教授 辻村 敬三  今、求められている国語科の学習指導について理解する。 演習を通して、読む力を育てる指導の在り方について学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点 (学習指導)	

No.410	小学校社会科教育講座－問題解決的な学習を構想する－		
開催日時	平成31年 8月23日(金) 13:00～17:00	講座の ねらい	新学習指導要領の趣旨を踏まえた問題解決的な単元を構想し、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	教諭(小・義・特支)	定員	50名
内容	主体的・対話的で深い学びの充実に向けて、実践例を通して学ぶとともに、問題解決的な学習を構想する。		<b>午後1時から開講</b>
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点 (学習指導)	

**推進**

2  
5  
6


7  
5  
15

No.411	小学校理科教育講座－興味を引き出す授業づくり－		
開催日時	平成31年 8月 7日(水) 10:30～17:00	講座の ねらい	児童の主体的な学びを進めるため、理科の見方・考え方を意識した実習を通して、興味を引き出す理科授業づくりについて学ぶ。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	教諭(小・義・特支)	定員	60名
内容	<p>京都府立高等学校 教諭</p> <p>学習指導要領における理科の見方・考え方と児童が主体的に学ぶための実践上の課題等について理解する。</p> <p>「エネルギー」「粒子」「生命」「地球」の各領域の実習を通して、興味を引き出す教材や理科の見方・考え方を意識した指導方法の工夫について学び、観察・実験の指導力の向上を図る。</p>		
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点 (学習指導)	

**推進**

2  
5  
6

7  
5  
15

No.412	《新指対応!》 図画工作科講座～指導と評価を考える～		
開催日時	平成31年 8月 7日(水) 13:00～17:00	講座の ねらい	新学習指導要領に基づいた授業の在り方について学び、図画工作科の指導と評価を考え、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	教諭(幼・小・義・特支)、 美術科担当教諭(中・義・特支)	定員	30名
内容	<p>文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 文化庁参事官(芸術文化担当)付 教科調査官 国立教育政策研究所 教育課程調査官 岡田 京子</p> <p>新学習指導要領の趣旨を踏まえ、小学校図画工作科のねらいにせまる授業の在り方について学ぶ。 演習を通して、今後の図画工作科の指導と評価を考える。</p>		 <b>午後1時から開講</b>
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点 (学習指導)	

**推進**

2  
5  
6

7  
5  
15



基礎・基本


2  
5  
6

No. 413	小学校家庭科 快適な住まいと環境講座		
開催日時	平成31年 7月26日(金) 13:00~17:00	講座のねらい	観察や体験、製作実習を通して基礎的・基本的な知識と技能を指導する力を身に付ける。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	教諭(小・義・特支)、技術・家庭科(家庭分野)担当教諭(中・義・特支)	定員	16名
内容	現行及び新学習指導要領の趣旨を生かした住まいと環境に関する効果的な指導方法について体験的に学ぶ。		<b>午後1時から開講</b>
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点 (学習指導)	

推進

2  
5  
6


7  
5  
15

No. 414	小学校外国語教育実践講座Ⅰ		
開催日時	平成31年 5月24日(金) 13:00~17:00	講座のねらい	新学習指導要領の趣旨を踏まえた外国語科や外国語活動の授業を構想する。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	教諭(小・義・特支)、外国語科担当教諭(中・義・高・特支) ※詳細は内容参照	定員	200名
内容	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 国立教育政策研究所 教育課程調査官 直山木綿子		 午後1時から開講
内容	新学習指導要領における言語活動の在り方について学ぶ。 移行期間における新教材を用いた授業を構想する。 ※小学校及び義務教育学校(前期課程)の各校1名は、講座番号414又は415のいずれかを必ず受講すること。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点 (学習指導)	

推進

2  
5  
6

7  
5  
15


No. 415	小学校外国語教育実践講座Ⅱ		
開催日時	平成31年 6月14日(金) 13:00~17:00	講座のねらい	新学習指導要領の趣旨を踏まえた外国語科や外国語活動の授業を構想する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	教諭(小・義・特支)、外国語科担当教諭(中・義・高・特支) ※詳細は内容参照	定員	200名
内容	信州大学 教授 酒井 英樹		 午後1時から開講
内容	新学習指導要領における言語活動の在り方について学ぶ。 移行期間における新教材を用いた授業を構想する。 ※小学校及び義務教育学校(前期課程)の各校1名は、講座番号414又は415のいずれかを必ず受講すること。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点 (学習指導)	

No.416	明日の授業を考える外国語教育講座－新学習指導要領に対応して－		
開催日時	平成31年 7月31日(水) 10:30～17:00	講座のねらい	小中高の接続の観点から、新学習指導要領の趣旨を踏まえた外国語教育の在り方について理解を深め、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	教諭(小・義・特支)、外国語科担当教諭(中・義・高・特支) ※各校1名の受講が望ましい。	定員	300名
内容	関西大学 教授 竹内 理 朝日大学 准教授 亀谷 みゆき 大阪教育大学 准教授 箱崎 雄子  新学習指導要領の趣旨を踏まえた外国語教育の在り方について、具体的な演習を通して学ぶ。 小中高の接続を意識した、外国語科や外国語活動の授業を構想する。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点	学習指導

推進

2  
5  
6

7  
5  
15

No.417	小学校実技どんとこい！音楽科&図画工作科講座－鑑賞編－		
開催日時	平成31年 8月 5日(月) 10:30～17:00	講座のねらい	音楽科と図画工作科における鑑賞の効果的な指導方法について、講義と演習を通して学ぶ。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	教諭(小・義・特支) ※6年目までの教諭の受講が望ましい。	定員	32名
内容	図画工作科：〔共通事項〕を基にして、作品などに対する自分の見方や感じ方を広げる鑑賞の授業を考える。演習を通して、実践的な指導方法を学ぶ。		
内容	音楽科：〔共通事項〕を基にして、音楽作品に対するイメージや気付いたことを伝えて深める鑑賞の授業を考える。鑑賞教材を用いた演習を通して、実践的な指導方法を学ぶ。		
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点	学習指導

基礎・基本

2  
5  
6

7  
5  
15

No.418	小学校実技どんとこい！理科&家庭科講座		
開催日時	平成31年 8月 5日(月) 10:30～17:00	講座のねらい	児童が主体的に学ぶための授業づくりについて学ぶとともに、実技・実習の指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	教諭(小・義・特支) ※6年目までの教諭の受講が望ましい。	定員	32名
内容	理科：エネルギー領域におけるものづくり及び粒子領域における薬品やガラス器具の安全な扱い方等を習得する。  家庭科：裁縫用具とミシンの扱い方について、知識と技能を習得する。		
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点	学習指導

基礎・基本

2  
5  
6

7  
5  
15



推進

2  
5  
6

7  
5  
15

No. 419	小中9年間で数学的な見方・考え方を育てる授業づくり講座		
開催日時	平成31年 6月28日(金) 13:00~17:00	講座のねらい	小中9年間を見通して数学的な見方・考え方を育てるための、算数科・数学科の授業の在り方について理解を深め、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	教諭(小・義・特支)、数学科担当教諭(中・義・特支)	定員	80名
内容	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 国立教育政策研究所 教育課程調査官 笠井 健一 文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 国立教育政策研究所 教育課程調査官 水谷 尚人		 <b>午後1時から開講</b>
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点 (学習指導)	

基礎  
基本


推薦


No. 420	算数科・数学科授業づくりシリーズ講座		
開催日時	※内容参照 14:30~17:00	講座のねらい	算数科・数学科の教材研究の在り方について理解し、考える楽しさを味わうことができる授業づくりについて考え、指導力の向上を図る。
会場	※内容参照		
受講対象	教諭(小・義)、数学科担当教諭(中・義) ※教育局長の推薦を受けた者	定員	30名
内容	1:平成31年 6月18日(火) 京都府総合教育センター 2:平成31年 8月27日(火) 京都府総合教育センター 3:平成31年11月29日(金) 京都府総合教育センター北部研修所 算数科・数学科の教材研究の在り方について理解し、考える楽しさを味わうことができる授業づくりについて考える。 ※3回全て受講すること。 ※3回の受講及びレポートの提出をもって2単位認定		<b>午後2時 30分から 開講</b>
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点 (学習指導)	

推進

2  
5  
6


7  
5  
15

No. 421	小中をつなぐ理科教育講座(Web+)		
開催日時	平成31年11月19日(火) 14:30~17:00	講座のねらい	小・中学校の学びの接続を意識し、より豊かで確かな「理科の見方・考え方」を育て、科学的思考力を育む理科授業を創造する指導力を高める。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	教諭(小・義・特支)、理科担当教諭(中・義・特支)	定員	32名
内容	京都教育大学 教授 谷口 和成 Webコンテンツの内容を踏まえ、より豊かで確かな「理科の見方・考え方」を育てる実践例を基に、小・中学校をつないだ科学的思考力を育む理科授業づくりについて考える。 ※Web講義を事前に視聴すること(視聴するWebコンテンツについては実施要項参照)。		 <b>午後2時 30分から 開講</b>
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点 (学習指導)	

No.422	小中音楽科「箏の音色で音楽づくり」講座		
開催日時	平成31年 10月11日(金) 13:00~17:00	講座の ねらい	和楽器による表現と鑑賞の関連を図った 題材構成を考えるとともに、箏の基礎技能 を身に付け、箏を用いた創作分野の効果的 な指導方法を考える。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	教諭(小・義・特支)、音楽科担当教諭 (中・義・特支)	定員	16名
内容	和楽器の指導における表現と鑑賞の関連を図った題材構成を考える。 箏の実技を通して箏の音色に親しみ、基礎的な技能を身に付けるとと もに、箏の音色と特徴的な奏法を生かした音楽創作を通して、創作分野 の効果的な指導方法を考える。		 午後1時から開講
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点 (学習指導)	

基礎  
・  
基本

2  
5  
6

No.423	小中高をつなぐ「新学習指導要領音楽科の指導と評価」講座		
開催日時	平成31年 10月25日(金) 13:00~17:00	講座の ねらい	新学習指導要領音楽科の趣旨を踏まえた 指導と評価を学び、題材指導計画を構想す る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	教諭(小・義・特支)、音楽科担当教諭 (中・義・特支)、芸術科音楽担当教諭 (高・特支)	定員	50名
内容	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 文化庁参事官(芸術文化担当)付 教科調査官 国立教育政策研究所 教育課程調査官 臼井 学		 午後1時から開講
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点 (学習指導)	

基礎  
・  
基本

2  
5  
6

7  
5  
15

No.424	基礎力パワーアップ講座～小中学校編～		
開催日時	平成31年 8月 2日(金) 13:00~17:00	講座の ねらい	児童生徒、保護者とよりよい関係を築く ために必要となる知識や技能について理解 する。新学習指導要領に示された「特別の 教科 道徳」に関わって、授業づくりの基 礎的・基本的なポイントについて学ぶ。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	教諭(小・中・義・特支) ※6年目までの教諭の受講が望ましい。	定員	50名
内容	人間の行動原理を理解し、教育現場で活用できる指導の在り方につ いて学ぶ。 児童生徒や保護者とのよりよい関係づくりのために、必要となる受容 と共感に基づく傾聴的態度について学ぶ。 「特別の教科 道徳」の授業づくりに関する指導方法について学ぶ。		<b>午後1時 から開講</b>
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点 (チーム学校)	

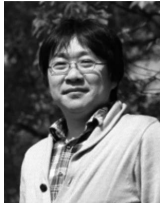
基礎  
・  
基本

2  
5  
6

推進

2  
5  
6


7  
5  
15

No. 425	中学校・高等学校国語科教育講座－「文学」の授業を考える－		
開催日時	平成31年 8月 2日(金) 13:00~17:00	講座のねらい	今、求められている国語科の学習指導について、演習を通して教材の生かし方や読む力を育てる指導の在り方について学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	国語科担当教諭(中・義・高・特支)	定員	40名
内容	京都教育大学 准教授 寺田 守  中学校、高等学校で取り上げられている文学の教材を使って、主体的・対話的で深い学びを具現化した授業構想について考え、授業改善の視点を学ぶ。		 午後1時から開講
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点 (学習指導)	

推進

2  
5  
6


7  
5  
15

No. 426	育成すべき資質・能力をつなぐ 社会科・地理歴史科・公民科教育講座		
開催日時	平成31年 6月21日(金) 13:00~17:00	講座のねらい	新学習指導要領を踏まえ、新科目「公共」を中心に系統的に資質・能力を伸ばす視点を持ち、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	社会科担当教諭(中・義・特支)、地理歴史科、公民科担当教諭(高・特支)	定員	50名
内容	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 国立教育政策研究所 教育課程調査官 小栗 英樹  新学習指導要領の内容についての理解を深め、系統的に社会科、地理歴史科、公民科における資質・能力を伸ばす視点を学ぶ。 主権者教育の基本的な考え方及び教育課程づくりの在り方を学ぶ。 ※講座番号814と一部合同実施(814の申込は不要)		 午後1時から開講
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点 (学習指導)	

推進

2  
5  
6


7  
5  
15

No. 427	中高をつなぐ理科教育講座		
開催日時	平成31年 10月10日(木) 13:00~17:00	講座のねらい	科学的に探究するために必要な資質・能力を育む理科授業の在り方を考え、中学校・高等学校の学びの接続を踏まえた指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	理科担当教諭(中・義・高・特支)、理科担当実習教諭・実習助手	定員	40名
内容	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 国立教育政策研究所 教育課程調査官 学力調査官 藤枝 秀樹  「教師が教える」理科授業から「生徒が学ぶ」理科授業へ。 自然現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を育成する中学校・高等学校の学びの接続を踏まえた理科授業について、事例を交えて考える。		 午後1時から開講
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点 (学習指導)	

No. 428	最先端科学から学ぶ講座		
開催日時	平成31年 7月12日(金) 10:00~16:30	講座のねらい	先進的な研究施設において、第一線の研究者から講義や施設見学を通して学び、最先端技術と実生活との関連や探究の方法等をどのように授業に生かすかを考える。
会場	京都大学 i P S細胞研究所 左京区聖護院川原町53		
受講対象	教諭(小・義・特支)、理科担当教諭(中・義・高・特支)、農業科担当教諭(高)、理科、農業科担当実習教諭・実習助手	定員	30名
内容	京都大学 i P S細胞研究所 教授 井上 治久 講師 堀田 秋津 特定研究員 佐々木 あやか 特定研究員 鈴木 美香		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <b>午前10時から開講</b> </div>
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点	学習指導


発展

7  
5  
15

No. 429	中高音楽科「伝統音楽指導法～能楽&雅楽～」講座		
開催日時	平成31年 8月22日(木) 13:00~17:00	講座のねらい	能楽及び雅楽を教材とした我が国の伝統音楽の指導方法を学び、音楽科授業の指導力向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	音楽科担当教諭(中・義・特支)、芸術科音楽担当教諭(高・特支)	定員	30名
内容	新潟大学 教授 伊野 義博  我が国や郷土の伝統音楽の学習が豊かな人間性の育成に寄与することを講義を通して学び、伝統文化を次世代につなぐ音楽科授業の役割を考えると、能楽と雅楽を教材として、口唱歌を効果的に活用した我が国の伝統音楽の授業実践プランを学び、指導力向上を図る。		 午後1時から開講
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点	学習指導

推進

7  
5  
15

No. 430	中高美術講座—墨の美—		
開催日時	平成31年 12月 6日(金) 13:00~17:00	講座のねらい	墨を中心に材料の特性や日本及び諸外国の文化、美意識などを学ぶ。 演習を通して材料用具の扱いを習得し、表現の技能を身に付け、授業構想や授業実践の方策を見いだす。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	教諭(小・義・特支)、美術科、国語科担当教諭(中・義・特支)、芸術科美術、芸術科工芸、芸術科書道担当教諭(高・特支)	定員	30名
内容	敦煌研究院美術研究所 客席研究員 創画会 会友 東京芸術大学大学院保存修復日本画研究室 非常勤講師 大竹 卓民  材料用具(墨・紙・筆)の特性や文化、美意識などを学ぶ。 材料用具の扱いを習得し、墨を使った表現の技能を身に付け、指導力の向上を図る。		 午後1時から開講
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点	学習指導

推進

2  
5  
6


7  
5  
15



基礎・基本


2  
5  
6

7  
5  
15

No. 431	中学校技術・家庭科（技術分野）基礎がため講座（内容C・D）		
開催日時	平成31年 8月 8日（木）13:00~17:00	講座のねらい	新学習指導要領と指導のポイントについて学ぶとともに、中学校技術分野の基礎的・基本的な知識及び技能と評価について学ぶ。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	技術・家庭科（技術分野）担当教諭（中・義・特支）	定員	10名
内容	信州大学 教授 村松 浩幸 新学習指導要領の内容C・Dと指導のポイントについて学ぶ。		
			午後1時から開講
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">学習指導</span>	

基礎・基本


2  
5  
6

No. 432	《新指対応！》中学校家庭科講座		
開催日時	平成31年 8月 2日（金）13:00~17:00	講座のねらい	新学習指導要領と指導のポイントについて学ぶとともに、技術・家庭科（家庭分野）及び家庭科の基礎的・基本的な知識及び技能について学ぶ。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	技術・家庭科（家庭分野）担当教諭（中・義・特支）、家庭科担当教諭（高・特支）	定員	16名
内容	新学習指導要領の趣旨と新設の内容（和服の着装、蒸す調理）について学ぶとともに、効果的な指導について実習を通して理解する。 ※和服の着装実習には、一重長着（浴衣）、腰ひも（3本）、半幅帯、補正用タオル（1枚以上）が必要です。 ※受講に当たって必要な準備等があるため、必ず事前に実施要項を確認すること。		
			午後1時から開講
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">学習指導</span>	

推進

7  
5  
15

No. 433	中高家庭科 消費者教育講座		
開催日時	平成31年 10月 10日（木）13:00~17:00	講座のねらい	成年年齢引き下げや消費者被害の低年齢化に対応するために、中学校・高等学校の家庭科教育に求められる役割について学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	技術・家庭科（家庭分野）担当教諭（中・義・特支）、家庭科担当教諭（高・特支）	定員	30名
内容	茨城大学 准教授 石島 恵美子 現行及び新学習指導要領の趣旨を生かした消費者教育に関する効果的な指導方法と家庭科教育に求められる役割について学ぶ。		
			午後1時から開講
連絡先	地域教育支援部（0773-43-2934）	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">学習指導</span>	

No. 434 中学校・高等学校外国語科教育講座 －即興型英語ディベートを授業に－			
開催日時	平成31年 10月 3日(木) 13:00~17:00	講座の ねらい	英語4技能を結び付けた統合的な言語活動を通して、論理的思考力、表現力、プレゼンテーション力を身に付けることができる授業を構想する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	外国語科担当教諭(中・義・高・特支)	定員	30名
内容	大阪府立大学 准教授 PDA 代表理事 中川 智皓		 午後1時から開講
	即興型英語ディベートのルール、フォーマット、50分の授業内でできるゲームからフィードバックまでの流れ及び評価方法を学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点 (学習指導)	

推進

2  
5  
6


7  
5  
15

No. 435 中学校・高等学校外国語科教育講座 －「指導と評価の一体化」を考える－			
開催日時	平成31年 8月 7日(水) 13:00~17:00	講座の ねらい	CAN-DOリスト、CEFR、ルーブリック等について知識を深め、新学習指導要領を踏まえた「指導と評価」について、具体的な事例を通してその活用の在り方を理解し、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	外国語科担当教諭(中・義・高・特支)	定員	80名
内容	東京外国語大学大学院 教授 投野 由紀夫		 午後1時から開講
	CAN-DOリスト、CEFR、ルーブリック等について学ぶ。新学習指導要領の趣旨を踏まえた「指導と評価」について、CAN-DOリストやルーブリックの作成とその活用の在り方を学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点 (学習指導)	

推進

2  
5  
6

7  
5  
15

No. 436 道徳の授業づくり実践講座(センター)			
開催日時	平成31年 5月31日(金) 13:00~17:00	講座の ねらい	「特別の教科 道徳」の特質を踏まえた授業づくりの基礎・基本を学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定員	100名
内容	四天王寺大学 准教授 杉中 康平		 午後1時から開講
	「特別の教科 道徳」の特質を踏まえた授業の在り方について理解し、授業づくりの基礎・基本を身に付ける。具体的な教材を用いて、教材研究の方法と発問構成について学ぶ。		
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点 (学習指導)	

基礎・  
基本

2  
5  
6

7  
5  
15



基礎・基本

2  
5  
6

7  
5  
15

No. 437	道徳の授業づくり実践講座（北部）		
開催日時	平成31年 6月 7日（金）13:00～17:00	講座のねらい	「特別の教科 道徳」の特質を踏まえた授業づくりの基礎・基本を学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	全教職員	定員	100名
内容	四天王寺大学 准教授 杉中 康平  「特別の教科 道徳」の特質を踏まえた授業の在り方について理解し、授業づくりの基礎・基本を身に付ける。 具体的な教材を用いて、教材研究の方法と発問構成について学ぶ。		 午後1時から開講
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">学習指導</span>	

推進


7  
5  
15


No. 438	道徳教育の推進講座		
開催日時	平成31年 7月24日（水）13:00～17:00	講座のねらい	新学習指導要領の趣旨を理解し、「特別の教科 道徳」を要とした道徳教育の推進のための方策について考える。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員 ※各校1名は必ず受講すること。	定員	400名
内容	畿央大学 教授 島 恒生  新学習指導要領の趣旨と「特別の教科 道徳」の特質及び指導と評価の在り方について理解し、各校における道徳教育の推進に向けた具体的方策を学ぶ。		 午後1時から開講
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">学習指導</span>	

推進

2  
5  
6

7  
5  
15


No. 439	明日の授業を考える高校教育講座 — 高大接続と探究活動を視点にして —		
開催日時	平成31年 5月23日（木）13:00～17:00	講座のねらい	新学習指導要領に基づいて、高大接続改革、大学入学者選抜改革の最新動向、探究活動等、これからの高等学校教育の在り方について考える。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員 ※高等学校の教務部長、進路指導部長は積極的に受講すること。	定員	200名
内容	独立行政法人大学入試センター 審議役 大杉 住子  高大接続、大学入学者選抜改革等の最新動向について学ぶとともに、高等学校教育の在り方について学ぶ。 新学習指導要領において育成すべき資質・能力を育成するための探究活動の実際について学ぶ。		 午後1時から開講
連絡先	研修・支援部（075-612-2952）	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">学習指導</span>	

No. 440	アクティブ・ラーニング実践講座－演習から学ぶ授業づくり－		
開催日時	平成31年 6月 7日(金) 10:30～17:00	講座の ねらい	「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業改善に必要な考え方と具体的方策を学び、構想・実践するための指導力向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定員	100名
内容	産業能率大学 教授 小林 昭文  主体的・対話的で深い学びを生み出すアクティブ・ラーニングについて、事例や講義、演習を通して学ぶ。また、授業づくりと学級づくりの観点から学校で実践するための具体的方策を考える。		
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点 (学習指導)	

推進


2  
5  
6

7  
5  
15

No. 441	6年目教員指導力向上講座		
開催日時	平成31年 8月 5日(月) 10:30～17:00	講座の ねらい	ユニバーサルデザインの視点を踏まえた授業づくりや学習指導と関連付けた生徒指導について考えるとともに、ステージ2(中堅期)への展望をもつ。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	6年目(平成26年度採用)の教諭(小・中・義・高・特支)	定員	450名
内容	関西学院初等部 副校長 村田 辰明 愛知教育大学 准教授 磯部 征尊  児童生徒の主体的な学びにつながるユニバーサルデザインの視点を踏まえた教科指導の在り方や生徒指導の3つの機能を働かせ学習指導と関連付けた生徒指導の在り方について学び、ステージ2(中堅期)の目標を立てる。		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)	主な指標の観点 (学習指導)	

基礎・基本

2  
5  
6

No. 442	認知発達と授業づくり講座～理科教育実践を通して～		
開催日時	平成31年 8月 19日(月) 10:00～17:00	講座の ねらい	小学校、中学校、高等学校の学びの接続を意識し、より豊かで確かな各教科の「見方・考え方」を育て、思考力・判断力・表現力を育む授業づくりに生かすための指導力を高める。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	全教職員	定員	50名
内容	京都教育大学 教授 谷口 和成  認知発達の視点を踏まえた各教科における「見方・考え方」と授業づくり、学習スタイルの構築について学ぶ。 主体的・対話的で深い学びの実現を目指し、動機付けや認知発達の視点を踏まえた思考力・判断力・表現力を育む授業の在り方について学ぶ。		 午前10時から開講
連絡先	地域教育支援部 (0773-43-2934)	主な指標の観点 (学習指導)	

推進

7  
5  
15




專 門 研 修  
(領 域 等)

推進

2  
5  
6


7  
5  
15

No. 501	総合的な学習の時間・総合的な探究の時間講座 ー深い学びを構想するー		
開催日時	平成32年 2月 6日(木) 10:30~17:00	講座の ねらい	今、求められている総合的な学習の時間 及び総合的な探究の時間の在り方について 理解し、創意工夫あふれる授業の展開を構 想する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定員	80名
内容	國學院大學 教授 田村 学  総合的な学習の時間及び総合的な探究の時間の在り方についての理解 を深めるとともに、質の高い探究的、協働的な学習に向けての方策や創 意工夫あふれる授業の展開について具体的に学ぶ。		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)	主な指標の観点 (学習指導)	

推進


2  
5  
6


7  
5  
15

No. 502	人権教育講座Ⅰー多様な性に対する理解ー		
開催日時	平成31年 8月23日(金) 10:30~17:00	講座の ねらい	人権教育を推進するための基本的な考え 方や人権教育の指導方法の在り方等につい て理解を深め、的確に実践できる指導力の 向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定員	100名
内容	岡山大学大学院 教授 中塚 幹也  性同一性障害や性的指向・性自認に関する基礎知識を学び、「性別違 和」のある児童生徒への支援の在り方について考える。 人権教育指導者ハンドブックの活用について理解を深め、校内研修を 活性化するための方法を学ぶ。 ※事務職員指定講座は、講座番号951で申し込むこと。		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)	主な指標の観点 (人権)	

発展

7  
5  
15


No. 503	人権教育講座Ⅱー同和問題を考えるー		
開催日時	平成31年 10月28日(月) 10:30~17:00	講座の ねらい	人権教育の指導方法等の在り方について 理解を深め、主体的かつ積極的に人権教育 を推進し、校内研修を活性化するための実 践的指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	全教職員	定員	50名
内容	京都教育大学 教授 伊藤 悦子  同和問題の歴史的経過を振り返り、「部落差別の解消の推進に関する 法律」が施行された背景とその内容について理解を深め、これからの教 育が果たす役割等を考える。 人権学習資料集の活用について理解を深め、授業づくりの方法を学 ぶ。		
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)	主な指標の観点 (人権)	

No.504	生徒指導講座－生徒指導の機能を生かした学級づくり－		
開催日時	平成31年 11月 5日(火) 13:00～17:00	講座の ねらい	児童生徒一人一人の個性や人間関係を踏 まえた学級経営、ホームルーム経営の在り 方について理解を深める。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員 ※新任生徒指導主任(部長)は積極的に受講 すること。	定員	60名
内容	上越教育大学教職大学院 教授 赤坂 真二  教育活動の中に生徒指導の機能を生かすことの必要性和具体的な手法 を学ぶ。 学級経営の視点から、児童生徒とのよりよい人間関係づくりについて の手法を学ぶ。		 午後1時から開講
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点 (生徒指導)	

推進

2  
5  
6

7  
5  
15

No.505	特別活動講座－よりよい学級・学校生活をつくるために－		
開催日時	平成31年 10月 8日(火) 13:00～17:00	講座の ねらい	学級(ホームルーム)や学校における生 活づくりに自主的、実践的に取り組む特別 活動の在り方について学び、実践的な指導 力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	全教職員	定員	80名
内容	文部科学省初等中等教育局教育課程課 教科調査官 国立教育政策研究所 教育課程調査官 安部 恭子  特別活動において必要とされる資質・能力やよりよい集団活動の在り 方について理解を深める。 児童生徒の自主的・実践的な態度を育て、社会に参画する力やよりよ い人間関係の形成を図る力を育む話し合い活動について学ぶ。		 午後1時から開講
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点 (生徒指導)	

推進

2  
5  
6

7  
5  
15

No.506	情報活用能力育成講座 ～ICT・情報モラル・メディアリテラシーを学ぶ～		
開催日時	平成31年 8月 9日(金) 10:00～17:00	講座の ねらい	新学習指導要領にある情報活用能力のう ち、ICTの活用・情報モラル・メディア リテラシーについて学び、情報活用能力の 指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定員	80名
内容	常葉大学 講師 佐藤 和紀 鳥取県教育委員会 情報教育サポーター 情報モラル教育アドバイザー 今度 珠美  児童生徒の情報活用能力を育成するために、学校でのICT活用や、 メディアリテラシーを学び、情報モラル教育の推進について理解を深め る。		<b>午前10時 から開講</b>
連絡先	企画研究部(075-612-2950)	主な指標の観点 (学習指導)	

推進

2  
5  
6

7  
5  
15




基礎・基本


No. 507	プログラミング教育基礎講座		
開催日時	平成31年 9月 3日(火) 10:30~17:00	講座のねらい	コンピュータに意図した処理を行うように指示することができることを理解させ、児童・生徒に体験させる指導方法について学ぶ。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	教諭(小・中・義・特支)	定員	30名
7 5 15	内容	大阪電気通信大学 教授 兼宗 進 大阪電気通信大学 情報教育特任講師 大村 基将  プログラミング教育の基本的な考え方を学ぶ。 問題解決の目的や状況に応じて、情報と情報技術を効果的に活用するための基本的な考え方を理解する。	
連絡先	企画研究部(075-612-2950)	主な指標の観点	(学習指導)

発展

No. 508	京の教育「みやび」講座			
開催日時	平成31年 11月 1日(金) 13:00~17:00	講座のねらい	京都府教育振興プランの実現に向け、京都の歴史、伝統・文化について体験的に学び、教科横断的な視点で効果的な学習を着想し、実践につなげるための基盤を養う。	
会場	京都府総合教育センター			
2 5 6	受講対象	全教職員	定員	150名
7 5 15	内容	落語家 桂 米二 佛教大学 教授 斉藤 利彦  「落語」の鑑賞と講義から「ことばによる表現」について学び、「歌舞伎」に関する講義から文化がどのように生まれ、発達していくかの過程について学ぶ。また、二つの伝統芸能の学びを歴史、伝統・文化に関する学習につなげる視点について学ぶ。		
		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>午後1時から開講</b> </div>		
連絡先	企画研究部(075-612-2950)	主な指標の観点	(京都ならではの教育)	

推進


No. 509	京の教育「ふるさと」講座Ⅰーお茶の京都ー			
開催日時	平成31年 10月 10日(木) 13:00~17:00	講座のねらい	京都府立山城郷土資料館での見学・講義等を通し、山城地域の歴史、伝統・文化への認識を深め、地域人材を活用した講義を通して、「ふるさと京都」の地域教材の開発・活用についての指導力向上を図る。	
会場	京都府立山城郷土資料館 木津川市山城町上粕千両岩			
2 5 6	受講対象	全教職員	定員	30名
7 5 15	内容	京都府立山城郷土資料館 職員  山城地域の特色ある文化財の見学を通して歴史、伝統・文化を守り伝えることの重要性について学ぶ。京都府立山城郷土資料館の常設展「南山城の歴史と文化」及び巡回展「発掘された京都の歴史」の見学や講義、地域人材による講義を通して、山城地域の歴史と未来について考え、地域教材の開発及び活用についての方策を考える。		
		 午後1時から開講		
連絡先	企画研究部(075-612-2950)	主な指標の観点	(京都ならではの教育)	

No.510	京の教育「ふるさと」講座Ⅱ－海の京都－		
開催日時	平成31年 10月25日(金) 13:00~17:00	講座の ねらい	京都府立丹後郷土資料館での見学、講義等を通し、丹後地域の歴史、伝統・文化への認識を深め、地域人材を活用した講義を通して、「ふるさと京都」の地域教材の開発・活用についての指導力向上を図る。
会場	京都府立丹後郷土資料館 宮津市国分小学天王山611-1		
受講対象	全教職員	定員	30名
内容	京都府立丹後郷土資料館 職員  丹後地域の特色ある文化財の見学を通して歴史、伝統・文化を守り伝えることの重要性について学ぶ。京都府立丹後郷土資料館の常設展及び企画展の見学や講義、地域人材による講義を通して、丹後地域の歴史と未来について考え、地域教材の開発及び活用についての方策を考える。		 <b>午後1時から開講</b>
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">京都ならではの教育</span>	

推  
進

2  
5  
6


7  
5  
15

No.511	京都文化博物館で学ぶ歴史、伝統・文化講座		
開催日時	平成31年 7月31日(水) 10:30~17:00	講座の ねらい	京都文化博物館の見学及び鑑賞と体験を通して、京都の歴史、伝統・文化への認識を深め、伝統や文化に関する学習等につなぐ視点について学ぶ。
会場	京都府京都文化博物館 中京区三条高倉		
受講対象	全教職員	定員	80名
内容	京都文化博物館 学芸員  京都文化博物館の役割と活用及び特徴的な文化財についての講義、重要文化財である別館（旧日本銀行京都支店）、博物館の展示鑑賞、ワークショップ体験を通して、京都の歴史、伝統・文化への認識を深め、自校における「伝統や文化に関する教育」につながる視点を学び、その活用についての方策を考える。		 京都文化博物館
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">京都ならではの教育</span>	

推  
進

2  
5  
6

7  
5  
15

No.512	図書館教育講座 －調べ学習を支援する学習センターとしての図書館の在り方－		
開催日時	平成31年 8月23日(金) 10:30~17:00	講座の ねらい	図書館の学習・情報センターとしての機能を活用した、児童生徒が主体的に学ぶ「調べ学習」について、構想力の向上を図る。
会場	京都府立図書館 左京区岡崎成勝寺町		
受講対象	全教職員	定員	40名
内容	京都府立図書館 職員  京都府立図書館の取組から、図書館の学習・情報センターとしての役割について学ぶ。 演習を通して具体的に「調べ学習」を構想することにより、自校の図書館教育で今後進めたい取組について、実践への意欲と展望をもつ。 ※講座番号208と合同実施		 京都府立図書館
連絡先	研修・支援部 (075-612-2952)	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">学習指導</span>	

推  
進

2  
5  
6

7  
5  
15

基礎・基本

2  
5  
6

7  
5  
15

No. 513	教育相談<初級>講座—児童生徒理解と関わり—（センター） 【領域①②③】		
開催日時	平成31年 8月23日（金）10:00~17:00	講座のねらい	子どもを理解し、対応する力の基礎を学び、教育相談の基本的力量の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定員	100名
内容	京都光華女子大学 教授 徳田 仁子  教職員として身に付けたい教育相談の基礎を学ぶ。また、ロールプレイを通して、児童生徒のこころを感じ、共感的に理解することの大切さについて考える。 ※中・上級講座受講のためには、原則本講座を受講済であること（詳細はP.40「研修講座受講モデルプラン」を参照）。		※領域について 【領域①】事例の見立て 【領域②】心のしくみ 【領域③】相談技法  午前10時から開講
連絡先	教育相談部（075-612-2959）	主な指標の観点（生徒指導）	

基礎・基本

2  
5  
6

7  
5  
15

No. 514	教育相談<初級>講座—児童生徒理解と関わり—（北部） 【領域①②③】		
開催日時	平成31年 8月20日（火）10:00~17:00	講座のねらい	子どもを理解し、対応する力の基礎を学び、教育相談の基本的力量の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	全教職員	定員	80名
内容	京都光華女子大学 教授 徳田 仁子  教職員として身に付けたい教育相談の基礎を学ぶ。また、ロールプレイを通して、児童生徒のこころを感じ、共感的に理解することの大切さについて考える。 ※中・上級講座受講のためには、原則本講座を受講済であること（詳細はP.40「研修講座受講モデルプラン」を参照）。		※領域について 【領域①】事例の見立て 【領域②】心のしくみ 【領域③】相談技法  午前10時から開講
連絡先	教育相談部（075-612-2959）	主な指標の観点（生徒指導）	

推進

7  
5  
15

No. 515	教育相談<中級>講座Ⅰ —事例を通して深める子どもの理解—【領域①】		
開催日時	平成31年 10月18日（金）13:00~17:00	講座のねらい	いじめや不登校の防止と解決に必要な教育相談の知識・技能を習得し、子どもを理解し、対応する力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員 ※受講条件あり	定員	80名
内容	京都学園大学 教授 川畑 隆  家族との関係性から子どもを捉える視点について学び、見立てと関わりについて理解を深める。 ※受講条件の詳細はP.40「研修講座受講モデルプラン」を参照		※領域について 【領域①】事例の見立て 【領域②】心のしくみ 【領域③】相談技法  午後1時から開講
連絡先	教育相談部（075-612-2959）	主な指標の観点（生徒指導）	

推進

No.516	教育相談<中級>講座Ⅲー教師・子ども関係からみる事例の理解～プロセスレコードを用いてー【領域③】		
開催日時	平成31年 10月28日(月) 13:00～17:00	講座のねらい	いじめや不登校の防止と解決に必要な教育相談の知識・技能を習得し、子どもを理解し、対応する力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	全教職員 ※受講条件あり	定員	50名
内容	京都産業大学 教授 京都教育大学大学院連合教職実践研究科 教授 角田 豊  プロセスレコードを用いた教師・子ども関係の省察を通し、児童生徒理解を深める。 ※受講条件の詳細はP.40「研修講座受講モデルプラン」を参照		※領域について 【領域①】事例の見立て 【領域②】心のしくみ 【領域③】相談技法  午後1時から開講
連絡先	教育相談部 (075-612-2959)	主な指標の観点 (生徒指導)	

7  
5  
15

発展

No.517	教育相談<上級>講座Ⅱー心と身体をつなぐりの理解と関わりー【領域②】		
開催日時	平成31年 11月28日(木) 13:00～17:00	講座のねらい	教育相談に必要な専門的知識・技能の向上とともに、学校の教育相談機能を充実させる中心的な役割を果たすために、子どもの理解を深め、対応する力及びケースをコーディネートする力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員 ※受講条件あり	定員	50名
内容	京都府立医科大学 助教 小野 淳子  児童生徒の心と身体の深いつながりについて、心身医学・精神医学の視点から理解を深める。特に、思春期にみられる様々な困難な問題の理解と見立て、その対応について考える。 ※受講条件の詳細はP.40「研修講座受講モデルプラン」を参照		※領域について 【領域①】事例の見立て 【領域②】心のしくみ 【領域③】相談技法  午後1時から開講
連絡先	教育相談部 (075-612-2959)	主な指標の観点 (生徒指導)	

7  
5  
15

発展

No.518	教育相談<上級>講座Ⅲーストレスマネジメント教育ー【領域③】		
開催日時	平成31年 10月 8日(火) 13:00～17:00	講座のねらい	教育相談に必要な専門的知識・技能の向上とともに、学校の教育相談機能を充実させる中心的な役割を果たすために、子どもの理解を深め、対応する力及びケースをコーディネートする力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員 ※受講条件あり	定員	50名
内容	松木心理学研究所 所長 鹿児島大学 名誉教授 松木 繁  ストレスマネジメント教育を学校へ導入する意義を知り、方法と技法及び実施上の留意点について学ぶ。また、演習を通して、ストレス対処法を体験し、その活用方法について学ぶ。 ※受講条件の詳細はP.40「研修講座受講モデルプラン」を参照		※領域について 【領域①】事例の見立て 【領域②】心のしくみ 【領域③】相談技法  午後1時から開講
連絡先	教育相談部 (075-612-2959)	主な指標の観点 (生徒指導)	

7  
5  
15



推進

2  
5  
6

7  
5  
15

No. 519	「今を生きる子どものこころ」講座 ーアニメや物語にみる子どものこころー		
開催日時	平成31年 8月 2日(金) 13:00~17:00	講座の ねらい	いじめ、非行、不登校等の諸課題について、子どもたちのこころの視点から見つめ直し、より深い児童生徒理解を促進するとともに喫緊の教育課題に対する指導力向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定員	200名
内容	島根大学 教授 岩宮 恵子  子どもたちにとって“好きなもの”とはどういう意味があるのだろうか。児童生徒理解の一つの視点として、いつの時代も子どもたちが惹かれるアニメや物語を取り上げ、子どものこころの世界について理解を深める。		<b>午後1時から開講</b>
連絡先	教育相談部 (075-612-2959)	主な指標の観点 (生徒指導)	

推進

2  
5  
6

7  
5  
15

No. 520	教職員のメンタルヘルス講座		
開催日時	平成31年 8月 1日(木) 13:00~17:00	講座の ねらい	メンタルヘルスについての知識や心理学的理解を深め、ストレスへの実践的な対処法を体験的に学び、教職員のこころの健康づくりに生かす。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定員	100名
内容	京都橘大学 准教授 田中 芳幸  メンタルヘルスについて心理学的な知識・技能を学び、自らのストレス耐性を高める方法を習得するとともに、周りが気付く不調のサインや周囲からの関わり方など、職場で対応するためのポイントについて学ぶ。また、ストレスへの実践的な対処法や予防法を体験的に学ぶ。 ※事務職員指定講座は、講座番号952で申し込むこと。		<b>午後1時から開講</b>
連絡先	教育相談部 (075-612-2959)	主な指標の観点 (生徒指導)	

基礎・基本

2  
5  
6

7  
5  
15

No. 521	特別支援教育「インクルーシブ教育システム」講座 ーコーディネーターの役割ー【養成講座Ⅰ】		
開催日時	平成31年 5月31日(金) 10:30~17:00	講座の ねらい	インクルーシブ教育システムの構築に向け、特別支援教育の基本的理念や最新の動向、児童生徒の教育的ニーズに合わせた指導・支援の在り方について理解を深める。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	全教職員	定員	60名
内容	兵庫教育大学大学院 教授 岡村 章司  インクルーシブ教育システムの考え方や在り方、コーディネーターの役割について講義及び演習を通して学ぶ。  ※特別支援教育コーディネーター養成講座の必修講座 ※特別支援教育コーディネーター以外の受講も可能		
連絡先	特別支援教育部 (075-612-2953)	主な指標の観点 (人権)	

No.522	特別支援教育「校内支援体制の充実」講座 —個別の指導計画の作成と活用—【養成講座Ⅱ】		
開催日時	平成31年 6月11日(火) 10:30~17:00	講座の ねらい	個別の指導計画の作成のポイントや、それを効果的に活用していく校内支援体制の構築の仕方について理解を深め、具体的な実践力を身に付ける。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定員	60名
内容	兵庫教育大学大学院 准教授 石橋 由紀子  個別の指導計画の作成と活用について理解を深め、特別支援教育コーディネーターに求められる役割や校内支援体制の構築について学ぶ。  ※特別支援教育コーディネーター養成講座の必修講座 ※特別支援教育コーディネーター以外の受講も可能		
連絡先	特別支援教育部 (075-612-2953)	主な指標の観点 (人権)	

推進

2  
5  
6

7  
5  
15

No.523	特別支援教育「児童生徒の気になる行動、その理解と対応」講座		
開催日時	平成31年 7月26日(金) 13:00~17:00	講座の ねらい	発達障害のある児童生徒の気になる行動の背景や具体的な対応について理解を深め、指導・支援に生かす。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定員	100名
内容	奈良教育大学 特任准教授 式部 陽子  発達障害のある児童生徒の気になる行動の見方やその行動に対する具体的な対応について、講義・演習を通して学ぶ。  ※特別支援教育コーディネーター養成講座の選択講座		
連絡先	特別支援教育部 (075-612-2953)	主な指標の観点 (人権)	

推進

2  
5  
6

7  
5  
15



午後1時から開講

No.524	特別支援教育「学習障害(LD)のある児童生徒への指導・支援」講座		
開催日時	平成31年 8月22日(木) 10:00~17:00	講座の ねらい	読み書きや計算に困難のある児童生徒への効果的な指導・支援の在り方について理解を深める。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	全教職員	定員	60名
内容	星槎大学大学院 准教授 伊藤 一美 発達ルームそら 代表 河村 暁 読み書きや計算の困難が生じる仕組みや、読み書きや計算の困難への気付きから、アセスメントの方法と集団指導につながる個別支援の在り方について学ぶ。 ※学習障害について基礎的な知識があることを想定して実施 ※特別支援教育コーディネーター養成講座の選択講座		
連絡先	特別支援教育部 (075-612-2953)	主な指標の観点 (人権)	

発展

2  
5  
6

7  
5  
15


午前10時から開講



基礎・基本

2  
5  
6


7  
5  
15

No. 525	特別支援教育「心理検査を支援に生かす」講座 －基礎から学ぶ新版K式発達検査2001－		
開催日時	平成31年 9月20日(金) 10:30~17:00	講座の ねらい	新版K式発達検査2001を活用した指導・支援について考えるとともに、子どもの発達の捉え方について理解を深める。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	全教職員	定員	60名
内容	平安女学院大学短期大学部 教授 清水 里美  新版K式発達検査2001の基礎的・基本的な知識について学び、事例演習を通して子どもの発達の捉え方や心理検査を指導・支援に生かす方法を学ぶ。 ※新版K式発達検査2001の実施経験の少ない者を想定して実施 ※特別支援教育コーディネーター養成講座の選択講座		
連絡先	特別支援教育部 (075-612-2953)	主な指標の観点 (人権)	

推進

2  
5  
6


7  
5  
15

No. 526	特別支援教育「これからの高等学校の特別支援教育を考える」講座		
開催日時	平成31年 10月28日(月) 13:00~17:00	講座の ねらい	発達障害等のある児童生徒の自立と社会参加に向け、高等学校卒業までに付けておきたい力と必要な指導・支援について理解する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定員	60名
内容	大阪医科大学LDセンター 顧問 竹田 契一 行政関係者  成人期の自立と社会参加に向け、高等学校卒業までに付けておきたい力や、必要な指導・支援について学ぶ。 京都府の高等学校における特別支援教育の現状と課題等を捉える。 ※特別支援教育コーディネーター養成講座の選択講座		 午後1時から開講
連絡先	特別支援教育部 (075-612-2953)	主な指標の観点 (人権)	

発展

2  
5  
6

7  
5  
15

No. 527	特別支援教育「ICTを活用した指導・支援」講座 －読み書きの困難に焦点をあてて－		
開催日時	平成32年 1月27日(月) 10:30~17:00	講座の ねらい	読み書きに困難のある児童生徒への効果的な指導・支援の実際について、実践事例を通して学ぶとともに、通級指導教室での指導を通常の学級につなぐ視点を探る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定員	60名
内容	東京大学先端科学技術研究センター 准教授 近藤 武夫  読み書きに困難のある児童生徒へのICTを活用した効果的な支援の在り方について、具体的事例を通して学ぶ。  ※特別支援教育コーディネーター養成講座の選択講座		
連絡先	特別支援教育部 (075-612-2953)	主な指標の観点 (人権)	

No.528	特別支援教育「知的障害のある児童生徒の授業づくり」講座 －特別支援学級・特別支援学校の授業づくり－		
開催日時	平成31年 10月 3日(木) 13:00～17:00	講座の ねらい	知的障害のある児童生徒の実態に応じた 授業づくりの在り方について理解する。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	全教職員	定員	40名
内容	植草学園短期大学 教授 佐藤 慎二  知的障害のある児童生徒の学習上の特性について学び、効果的な指導 の在り方について理解を深める。  ※知的障害を対象とする特別支援学級の担任、特別支援学校の担任推奨		
連絡先	特別支援教育部 (075-612-2953)	主な指標の観点 (人権)	



午後1時から開講

No.529	特別支援教育・サテライト「肢体不自由のある児童生徒の授業づくり」講座		
開催日時	平成31年 7月31日(水) 13:00～17:00	講座の ねらい	肢体不自由のある児童生徒への授業づくりの基本的な考え方について理解を深める。
会場	京都府立舞鶴支援学校 舞鶴市字堀4-1		
受講対象	全教職員	定員	40名
内容	NPO法人地域ケアさぼーと研究所 理事長 飯野 順子  肢体不自由のある児童生徒への授業づくりの基本的な考え方について学ぶ。 肢体不自由のある児童生徒の姿勢保持、体位変換、移動補助等の際に留意すべきことについて実技を通して学ぶ。 ※実技に必要な持参物があるため、事前に実施要項を確認すること。		
連絡先	特別支援教育部 (075-612-2953)	主な指標の観点 (人権)	



午後1時から開講

No.530	特別支援教育・京都府スーパーサポートセンター連携 「基礎から学ぶ特別支援学級・通級による指導」講座(センター)		
開催日時	平成31年 5月13日(月) 10:30～17:00	講座の ねらい	特別支援学級、通級による指導の基礎的な内容について理解する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定員	60名
内容	京都府発達障害者支援センターはばたき センター長 長谷川 福美  特別支援学級、通級による指導の教育課程の編成、自立活動、福祉との連携等基礎的な内容について学ぶ。  ※初めての特別支援学級担任と通級指導教室担当者に特に推奨 ※活動に必要な持参物があるため、事前に実施要項を確認すること。		
連絡先	特別支援教育部 (075-612-2953)	主な指標の観点 (人権)	

基礎・基本

2  
5  
6


7  
5  
15

No. 531	特別支援教育・京都府スーパーサポートセンター連携 「基礎から学ぶ特別支援学級・通級による指導」講座（北部）		
開催日時	平成31年 5月20日（月） 10:30～17:00	講座の ねらい	特別支援学級、通級による指導の基礎的な内容について理解する。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	全教職員	定員	60名
内容	京都府発達障害者支援センターはばたき センター長 長谷川 福美  特別支援学級、通級による指導の教育課程の編成、自立活動、福祉との連携等基礎的な内容について学ぶ。  ※初めての特別支援学級担任と通級指導教室担当者に特に推奨 ※活動に必要な持参物があるため、事前に実施要項を確認すること。		
連絡先	特別支援教育部（075-612-2953）	主な指標の観点 <b>（人権）</b>	

発展

2  
5  
6


7  
5  
15

No. 532	特別支援教育・京都教育大学サテライト 「コーディネータースキルアップⅠ」講座—ソーシャルスキル—		
開催日時	平成31年 9月10日（火） 13:00～17:00	講座の ねらい	児童生徒の社会性を育むソーシャルスキルトレーニングについて理解を深める。
会場	キャンパスプラザ京都 下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939		
受講対象	全教職員	定員	60名
内容	京都教育大学 准教授 佐藤 美幸  ソーシャルスキルトレーニングの方法や実施する際の留意点について理解し、ソーシャルスキルトレーニングを用いた指導・支援について演習を通して学ぶ。 ※京都教育大学教職キャリア高度化センター・特別支援教育臨床実践センターとの連携講座		 午後1時から開講
連絡先	特別支援教育部（075-612-2953）	主な指標の観点 <b>（人権）</b>	

発展

2  
5  
6

7  
5  
15

No. 533	特別支援教育・京都教育大学サテライト 「コーディネータースキルアップⅡ」講座—医療・福祉との連携—		
開催日時	平成31年 11月12日（火） 13:00～17:00	講座の ねらい	児童生徒への充実した指導・支援を行うために必要となる外部専門家等との連携協力について理解を深める。
会場	キャンパスプラザ京都 下京区西洞院通塩小路下る東塩小路町939		
受講対象	全教職員	定員	60名
内容	京都教育大学 教授 小谷 裕実 京都教育大学 教授 相澤 雅文  教育と医療・福祉が連携したチーム・アプローチについて具体的事例を通して学ぶ。 ※京都教育大学教職キャリア高度化センター・特別支援教育臨床実践センターとの連携講座		 午後1時から開講
連絡先	特別支援教育部（075-612-2953）	主な指標の観点 <b>（人権）</b>	

No.534	特別支援教育・佛教大学サテライト「病弱教育」講座		
開催日時	平成31年 8月20日(火) 10:30~17:00	講座の ねらい	病弱児の特性を知り、それに応じた指導 実践ができる。
会場	佛教大学 二条キャンパス 中京区西ノ京東柵尾町7		
受講対象	全教職員	定員	50名
内容	※特別支援学校教諭免許状が取得可能な「佛教大学免許法認定通信教育」(申請中)と連携して開講しています。特別支援学校教諭免許状取得を希望される方は、必ず7月10日(水)までに佛教大学通信教育課程に問い合わせ、所定の手続きを行ってください。  佛教大学通信教育課程(075-491-0239) ホームページ <a href="http://tsushin.bukkyo-u.ac.jp/">http://tsushin.bukkyo-u.ac.jp/</a>		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <b>要事前 手続き</b>  <small>※免許状取得希望者</small> </div>
連絡先	特別支援教育部(075-612-2953)	主な指標の観点 (人権)	

基礎・基本

2  
5  
6

7  
5  
15

No.535	特別支援教育・佛教大学サテライト「重複・発達障害教育」講座 シリーズⅠ・Ⅱ(講座番号535・536)		
開催日時	※内容参照 9:30~17:00	講座の ねらい	重複障害児の特性を知り、それに応じた 指導実践ができる。 発達障害児の特性を知り、それに応じた 指導実践ができる。
会場	佛教大学 二条キャンパス 中京区西ノ京東柵尾町7		
受講対象	全教職員	定員	50名
内容	シリーズⅠ 平成31年8月6日(火) シリーズⅡ 平成31年8月7日(水) ※シリーズⅠ・Ⅱを通して受講すること(シリーズⅡの申込は不要)。 ※特別支援学校教諭免許状が取得可能な「佛教大学免許法認定通信教育」(申請中)と連携して開講しています。特別支援学校教諭免許状取得を希望される方は、講座番号534の「内容」の欄を参照し、必ず7月10日(水)までに所定の手続きを行ってください。		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: auto;"> <b>午前9時 30分開講</b>  <b>要事前手続き</b>  <small>※免許状取得希望者</small> </div>
連絡先	特別支援教育部(075-612-2953)	主な指標の観点 (人権)	

基礎・基本

2  
5  
6

7  
5  
15




専 門 研 修  
(コミュニケーション能力)




基礎・基本

2  
5  
6

No. 601	コミュニケーション基礎講座ービジネスマナーから考えるー (企業連携)		
開催日時	平成31年 7月26日(金) 10:30~17:00	講座の ねらい	児童生徒や保護者との円滑でよりよい関係を築くためのコミュニケーション能力を身に付ける。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定員	40名
内容	株式会社ビジネスプラスサポート 人財育成プロデューサー 菓子田 圭子  児童生徒や保護者との豊かなコミュニケーションを実現するために、相手への心遣いを表現するマナーを身に付ける。言葉遣いや電話・来客対応等ビジネスマナーの基本スキルを学ぶ。 ※事務職員指定講座は、講座番号953で申し込むこと。		
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点	基本的 資質能力


推進


7  
5  
15

No. 602	コミュニケーション講座Ⅰー職場実践に生かすー (企業連携)		
開催日時	平成31年 8月23日(金) 10:30~17:00	講座の ねらい	児童生徒、保護者及び他の教職員とよりよい人間関係を築くための積極的なコミュニケーション能力を身に付ける。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	全教職員	定員	70名
内容	コンサルタントネットワーク株式会社 取締役副社長 本田 祐美  社会人としてのコミュニケーションの基本に始まり、児童生徒や保護者とのコミュニケーションに必要な傾聴のスキルや、苦情への対処法等について、事例やグループワーク等を通して学ぶ。  ※事務職員指定講座は、講座番号954で申し込むこと。		
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点	基本的 資質能力

推進


7  
5  
15

No. 603	コミュニケーション講座Ⅱー職場実践に生かすー (企業連携)		
開催日時	平成31年 10月29日(火) 10:30~17:00	講座の ねらい	児童生徒、保護者及び他の教職員とよりよい人間関係を築くための積極的なコミュニケーション能力を身に付ける。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定員	70名
内容	株式会社キャリア総研 講師 若生 真理子  コミュニケーションの基本知識を学ぶ。具体的な場面を想定した演習を通して、生徒や保護者含め学校内外の様々な方との対応に生かすことができる有効なコミュニケーションスキルを習得する。  ※事務職員指定講座は、講座番号955で申し込むこと。		
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点	基本的 資質能力

No.604	コミュニケーション発展講座—人材育成に生かす—（企業連携）		
開催日時	平成31年 11月 8日（金） 10:30～17:00	講座の ねらい	他の教職員の活動に関わり、助言・支援することのできるコミュニケーション能力を身に付け、職場での人材育成等に活用する。
会場	PHP研究所 南区西九条北ノ内町11		
受講対象	全教職員	定員	70名
内容	株式会社PHP研究所 講師 櫻井 直子  教職員の育成にあたり、若手が育つ職場とは何かを考え、OJTの指導員に求められることや、実施に際しての考え方、計画の仕方とコミュニケーションスキルを学ぶ。  ※事務職員指定講座は、講座番号956で申し込むこと。		
連絡先	企画研究部（075-612-2950）	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">チーム学校</span>	

発展


7  
5  
15

No.605	子どもの力を引き出す教育コーチング講座（企業連携）		
開催日時	平成31年 8月 8日（木） 10:30～17:00	講座の ねらい	児童生徒の意欲と能力を引き出し、省察力の向上を支援するコーチングの手法について学び理解する。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	全教職員	定員	100名
内容	一般社団法人日本青少年育成協会 主席研究員 小山 英樹  児童生徒の意欲と能力を引き出す教育コーチングの目的と基本的な考え方を理解し、基本技術を習得する。 傾聴・質問・承認の機能とその基本技術を中心に、講義やロールプレイング等の演習を交えて実践的に学ぶ。		
連絡先	企画研究部（075-612-2950）	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">生徒指導</span>	

推進

2  
5  
6

7  
5  
15

No.606	学校運営に生かすコーチング講座（企業連携）		
開催日時	平成31年 7月29日（月） 10:30～17:00	講座の ねらい	他の教職員の活動に積極的に関わり、助言・支援しながら、学校運営に的確に参画し役割を果たすためにコーチングの基本スキルを身に付ける。
会場	PHP研究所 南区西九条北ノ内町11		
受講対象	全教職員	定員	70名
内容	株式会社PHP研究所 講師 國弘 隆子  コーチングの基本スキルである傾聴・承認・質問のスキルを用いて、児童生徒や後輩教員の指導・育成手法を習得するとともに、質問を取り入れた会議運営手法等も通して組織の活性化について学ぶ。  ※事務職員指定講座は、講座番号957で申し込むこと。		
連絡先	企画研究部（075-612-2950）	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">チーム学校</span>	

発展

7  
5  
15




専 門 研 修  
(チームマネジメント能力)

発展


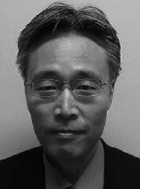
No. 701	危機管理講座		
開催日時	平成31年 11月15日(金) 10:30~17:00	講座のねらい	学校危機の予防策や危機対応の在り方など、危機管理能力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	副・頭、事務長、総、教諭、養、事(小・中・義・高・特支) ※未受講の副校長・教頭、事務長は必ず受講すること。	定員	100名
内容	「学校危機対応 教職員ハンドブック～京都府版～」(京都府教育委員会)等を教材として、危機管理への理解を深め、演習を通して的確な対応の在り方について学ぶ。併せて、学校の危機管理マニュアルの的確な運用について考える。		
連絡先	企画研究部(075-612-2950)	主な指標の観点 (マネジメント)	

発展

No. 702	学校内外環境分析講座ー学校の強みを生かした特色づくりー		
開催日時	平成31年 8月19日(月) 10:30~17:00	講座のねらい	自校の特色づくりに向けた具体的方策を検討する上で必要な学校組織マネジメントの考え方を理解し、内外環境分析(SWOT分析)の手法を学ぶ。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定員	100名
内容	滋賀大学教職大学院 教授 大野 裕己 学校外の視点から自校の現状や特色を捉え直す「学校内外環境分析(SWOT分析)」の手法を学び、学校組織運営力の向上を図り、併せて現在の自分の職務の在り方を考察する。 ※学校組織運営特別講座シリーズI(講座番号301)の受講者は、そのシリーズIIとして必ず受講すること(申込は不要)。 ※京都教育大学教職キャリア高度化センター連携講座		
連絡先	企画研究部(075-612-2950)	主な指標の観点 (チーム学校)	

推進

No. 703	教職員の資質向上を図るメンターシップ講座		
開催日時	平成31年 9月17日(火) 13:00~17:00	講座のねらい	メンターシップを学ぶことを通して、学校経営に積極的に参画し、校内研修やOJTを推進できる教員の資質向上を図る。併せてメンタリングに必要な理論や、スキルの習得を目指す。
会場	京都教育大学 伏見区深草藤森町1		
受講対象	全教職員	定員	70名
内容	京都教育大学 教授 村上 忠幸 これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上を支援するために、メンターチームに必要なメンターシップを育成するプログラム的一端を学び、メンターとしての資質能力(コーチング力、省察力、ファシリテーション力)を高める。 ※学校組織運営特別講座シリーズI(講座番号301)の受講者は、そのシリーズIIIとして必ず受講すること(申込は不要)。		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>午後1時 から開講</b> </div>
連絡先	企画研究部(075-612-2950)	主な指標の観点 (基本的資質能力)	

No. 704	教育法規演習講座－判例に学ぶ信頼ある学校づくり－		
開催日時	平成31年 6月 3日(月) 10:30～17:00	講座のねらい	教育法規について事例を通して学び、教育法規に基づいた創意ある教育活動を展開することができるようにする。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員 ※定員80名のうち、40名は教育局長、府立学校長の推薦を受けた者	定員	80名
内容	アクシス法律事務所 弁護士 置田 文夫 京都教育大学大学院連合教職実践研究科 教授 竺沙 知章		 
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点 (マネジメント)	


発展

7  
5  
15

No. 705	企業から学ぶマネジメント講座－経営哲学から学ぶ－（企業連携）		
開催日時	平成31年 11月29日(金) 13:00～17:00	講座のねらい	校務分掌組織の中心となって学校運営に的確に参画し、学校組織の活性化や人材育成において役割を果たすため、企業における組織マネジメントや人材育成の手法を学ぶ。
会場	京都商工会議所 下京区四条通室町東入		
受講対象	全教職員 ※平成30年度優秀教職員表彰受賞者は受講すること（別途通知）。	定員	120名
内容	株式会社 山一パン総本店 代表取締役社長 山本 隆英 アクセルコンサルティング株式会社 中小企業診断士 阪本 純子		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>午後1時から開講</b> </div>
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点 (マネジメント)	

推進

7  
5  
15

No. 706	多忙化への対応とセルフマネジメント講座（企業連携）		
開催日時	平成31年 10月 4日(金) 10:30～17:00	講座のねらい	多忙化に対応し、効率的な業務の遂行に向けて業務改善を図るため、生産性の高い仕事を実現するためのセルフマネジメントの考え方を学ぶ。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定員	40名
内容	株式会社ビジネスプラスサポート 人財育成プロデューサー 山田 容子		
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点 (マネジメント)	

推進

2  
5  
6

7  
5  
15



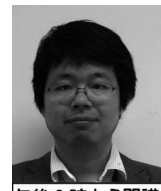
推進

No. 707	ワーク・ライフ・マネジメント講座（企業連携）		
開催日時	平成31年 10月17日（木） 10:30～17:00	講座のねらい	より良い仕事・生活・人生を送るために、ワーク・ライフ・マネジメントを学ぶ。
会場	京都商工会議所 下京区四条通室町東入		
受講対象	全教職員	定員	70名
7 5 15	内容	<p>バランスコミュニオン 代表 服部 裕子</p> <p>仕事・人生を充実させる考え方や方法を学び、自らマネジメントする力を身に付ける。自身のワークライフバランス実現に向けたプランニングを行い、限られた時間で成果を出す働き方について考える。</p>	
連絡先	企画研究部（075-612-2950）	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">マネジメント</span>	



基礎・基本

No. 708	カリキュラム・マネジメント入門講座			
開催日時	平成31年 6月21日（金） 13:00～17:00	講座のねらい	「カリキュラム・マネジメント」の実現に向けて、基本的な考え方を理解するとともに、演習を通して学級づくり・授業づくりの観点から教育課程改善の方法について学ぶ。	
会場	京都府総合教育センター北部研修所			
2 5 6	受講対象	全教職員	定員	70名
内容	<p>奈良教育大学 教授 赤沢 早人</p> <p>講義・演習を通して「カリキュラム・マネジメント」について基本的な考え方を学び、授業づくり・学級づくりにつなげる方策について考える。また、「自校の教育目標や教育課題」と「児童生徒の教育課題や実現したい目標」との関連について考察を深める。</p>			
連絡先	企画研究部（075-612-2950）	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">マネジメント</span>		




午後1時から開講

推進

No. 709	カリキュラム・マネジメント推進講座		
開催日時	平成31年 12月 2日（月） 13:00～17:00	講座のねらい	自校の教育目標を達成するための「カリキュラム・マネジメント」を勤務校で推進するための実践力を養う。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定員	120名
7 5 15	<p>※15年目の教諭は必ず受講すること。</p> <p>大阪教育大学大学院 教授 田村 知子</p> <p>ステージ2（中堅期）のまとめとして自身及び自校の実践を振り返る。また、講義・演習を通して、カリキュラム・マネジメントの必要性や概念について理解し、カリキュラムを構築、改善及び組織的に推進する視点や方策について学ぶ。</p>		
連絡先	企画研究部（075-612-2950）	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">マネジメント</span>	



午後1時から開講

No. 710	学校組織力パワーアップ講座Ⅰ		
開催日時	平成31年 5月31日(金) 13:00~17:00	講座の ねらい	アクティブ・ラーニング研修等を通して見識を養い、一層の学校運営の充実と改善に生かすために必要な資質能力を高める。
会場	みやづ歴史の館 宮津市字鶴賀2164		
受講対象	教諭(幼・小・中・義・高・特支)	定員	70名
内容	京都大学総合博物館 准教授 デザイン学ユニット 学術研究支援室 参与 塩瀬 隆之  学校から社会に居場所を移したときに求められる力と、それを見極めることができる人づくりに向けた学習スタイルの構築やカリキュラム・マネジメントの在り方等について考えるとともに、実践例や演習を通して学ぶ。		 午後1時から開講
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点 (チーム学校)	

No. 711	学校組織力パワーアップ講座Ⅱ		
開催日時	平成31年 12月13日(金) 13:00~17:00	講座の ねらい	最新の教育動向や研究成果から幅広い見識を養い、より一層の学校運営の充実と改善に生かすために必要な資質能力を高める。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	校(園)長、副・頭、事務長、総(幼・小・中・義・高・特支)	定員	70名
内容	鳴門教育大学 理事・副学長 佐古 秀一 文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課 情報教育振興室 室長 折笠 史典 働き方改革の中で学校組織マネジメントを推進する学校経営の在り方を考え、協働化された組織づくりや人材育成について学ぶ。 現在の社会情勢の変化と教育改革の流れの中で、プログラミング教育の推進等を通して学校管理職が果たすべき役割について考える。		<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">                     午後1時 から開講                 </div>
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点 (チーム学校)	



專 門 研 修  
(職 能 別 等)

発展

No. 801	校長講座		
開催日時	平成31年 6月28日(金) 13:00~17:00	講座のねらい	教育をめぐる今日的課題について学び、校長として学校経営の充実と改善に生かす。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	校(園)長(幼・小・中・義・高・特支)	定員	400名
内容	京都大学高等教育研究開発推進センター 教授 松下 佳代 CSマイスター 大谷 裕美子 新学習指導要領の趣旨を深めるために「ディープ・アクティブラーニング」を提唱する講師から最新の教育方法学を学ぶ。 京都府教育委員会として本格的に導入を推進しようとしているコミュニティスクールと地域学校協働活動について学ぶ。		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">午後1時から開講</div>
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">基本的 資質能力</span>	

発展

No. 802	副校長・教頭・事務長講座		
開催日時	平成31年 12月 6日(金) 13:00~17:00	講座のねらい	教育が抱える今日的課題を踏まえ、副校長・教頭・事務長としての見識を高め、自校の学校経営の充実と改善を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	副・頭、事務長(小・中・義・高・特支) ※発令後2年目の府立学校副校長は必ず受講すること。	定員	400名
内容	株式会社イント 代表取締役 掛川 和彦 京都大学大学院教育学研究科 教授 明和 政子 チーム学校を更に推進し、戦略的思考力を磨くために副校長・教頭と事務長が果たすべき役割について学ぶ。 「比較認知発達科学」という新しい学問分野を開拓し、ヒトらしい心の発達に必要な条件を科学的に解明された成果について学ぶ。		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">午後1時から開講</div>
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">基本的 資質能力</span>	

発展

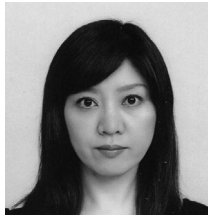
No. 803	管理職「特別支援教育・メンタルヘルス」講座		
開催日時	平成31年 6月21日(金) 13:00~17:00	講座のねらい	年度当初に管理職として必要な特別支援教育、メンタルヘルスの知識を得て、学校経営に生かす。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	校(園)長、副・頭、事務長、総(幼・小・中・義・高・特支) ※新任の管理職は必ず受講すること。	定員	200名
内容	宮城学院女子大学 教授 梅田 真理 奈良女子大学 教授 伊藤 美奈子 インクルーシブ教育システム構築のための合理的配慮の提供や新学習指導要領等を踏まえ、学校マネジメントに生かす視点を学ぶ。 組織的・計画的にメンタルヘルス対策を推進するために、管理職が果たすべき役割について学ぶ。		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; font-weight: bold; font-size: 1.2em;">午後1時から開講</div>
連絡先	教育相談部 (075-612-2959)	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">マネジメント</span>	

No.804	養護教諭講座		
開催日時	平成31年 8月 8日(木) 13:00~17:00	講座の ねらい	特別な配慮を必要とする児童生徒への支援の在り方を学び、養護教諭としての役割を理解し、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	養護教諭(小・中・義・高・特支) ※6年目の養護教諭は受講することが望ましい。	定員	120名
内容	文部科学省初等中等教育局特別支援教育課 特別支援教育調査官 田中 裕一 発達障害のある児童生徒に対して、保健室等において適切な対応ができるように、発達障害の特性を理解するとともに、明日からできる指導方法や支援方法について学び、養護教諭の役割について考える。 ※講座番号187と合同実施		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>午後1時 から開講</b> </div>
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">養護教諭としての専門領域</span>	

推  
進

2  
5  
6

7  
5  
15

No.805	栄養教諭・学校栄養職員講座		
開催日時	平成31年 8月 1日(木) 10:30~17:00	講座の ねらい	学校給食の業務や食に関する指導の実践について学び、衛生管理や個別的な相談指導についての演習を通して、栄養教諭・学校栄養職員としての専門性と実践的指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	栄養教諭・学校栄養職員(小・中・義・特支)※6年目の栄養教諭・学校栄養職員は受講することが望ましい。	定員	70名
内容	和洋女子大学 准教授 杉浦 令子 栄養教諭・学校栄養職員としての専門性を生かした食と健康安全に関わる相談指導についての実践的指導力の向上を図る。 学校給食衛生管理基準の概要を理解し、業務の実際から学校給食管理についての実践的指導力の向上を図る。 ※講座番号194と合同実施		
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">栄養教諭としての専門領域</span>	

推  
進

2  
5  
6

7  
5  
15


No.806	校務講座		
開催日時	平成31年 7月31日(水) 10:30~17:00	講座の ねらい	府立学校に係る教育行政課題を認識し、日々の業務に生かす。 学びの環境充実のため、自校に必要なされる対応を学び、日々の業務での実践力の向上を図る。
会場	京都府立南丹高等学校 亀岡市馬路町中島1		
受講対象	技術職員、学校施設管理職員(高・特支)	定員	20名
内容	行政関係者 京都府立南丹高等学校 教職員 進展する高校教育改革について、その成果と課題を学び、これからの業務に生かす。 講義、演習を通して金属加工や溶接に係る基本的な知識・技術を身に付ける。 ※講座番号212と合同実施		
連絡先	企画研究部(075-612-2950)		

推  
進



基礎・基本

2  
5  
6

No. 807	CS発想から考えるビジネスマナー講座（企業連携）		
開催日時	平成31年 6月27日（木）10:30～17:00	講座のねらい	学校内外においてよりよい人間関係を築き、仕事を円滑に進めるための基本的なビジネスマナーを習得する。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	全教職員	定員	15名
内容	株式会社キャリア総研 講師 緒方 幹代  求められるCS意識と好ましい対応を知り、言葉遣いや面談時の基本マナー、電話の取り次ぎ方などビジネスマナーの基本を学ぶ。  ※講座番号205・207・210と合同実施 ※事務職員指定講座は、講座番号958で申し込むこと。		
連絡先	企画研究部（075-612-2950）	主な指標の観点	基本的資質能力

推進

No. 808	学校事務職員講座		
開催日時	平成31年 10月17日（木）13:00～17:00	講座のねらい	学校運営に積極的に参画する意識を高め、学校を取りまく諸課題を把握し、他との協働により解決に貢献する実践力を養う。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	事務職員（小・中・義・高・特支）、学校施設管理職員	定員	200名
内容	オムロン京都太陽株式会社 代表取締役社長 宮地 功 滋賀県東近江市小中学校事務支援センター 職員 京都府内公立学校 事務職員 共生社会の理念の実現に先進的に取り組む企業の実践例や、学校事務の共同実施に取り組む事例を通して、業務改善や校務協働について学ぶ。 ※事務職員指定講座は、講座番号959で申し込むこと。		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> <b>午後1時 から開講</b> </div>
連絡先	企画研究部（075-612-2950）		

基礎・基本

No. 809	学校事務職員（実務初任者向け）講座		
開催日時	平成31年 7月11日（木）10:30～17:00	講座のねらい	日々の業務に対応できる実務能力を養い、正確な事務処理を行う力を習得する。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	事務職員（小・中・義・高・特支） ※概ね2年目から6年目までの者	定員	30名
内容	給与事務、共済事務等に係る事務能力を養う。  ※講座番号206・211と合同実施		
連絡先	企画研究部（075-612-2950）		

No.810	学校事務職員パワーアップ講座		
開催日時	平成31年 11月11日(月) 13:00~17:00	講座の ねらい	事務職員として教育活動への貢献意識を高めるとともに、学校に勤務する行政職員として、政策立案意識を高める。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	事務職員(小・中・義・高・特支) ※概ね2年目から4年目までの者	定員	30名
内容	<p>京都府立南陽高等学校の附属中学校設置事業を通して、学校施設と教育活動の関係、学校教育活動を支える事務職員の役割等を学ぶ。 法改正による「事務をつかさどる」ことの意味や日々の業務を深めるために必要な視点、また、「チーム学校」の中での果たすべき役割について考える。</p>		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>午後1時 から開講</b> </div>
連絡先	企画研究部(075-612-2950)		

推  
進

No.811	府立学校副校長講座シリーズⅠ～Ⅲ(講座番号811～813)		
開催日時	※内容参照 13:00~17:00	講座の ねらい	学校経営に当たる一員としての自覚を高めるとともに、学校経営・管理についての知識・理解を深める。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	発令後2年目の府立学校副校長・首席副校長	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>シリーズⅠ 平成31年 6月10日(月) シリーズⅡ 平成31年 8月 6日(火) シリーズⅢ 平成31年10月15日(火)</p> <p>※シリーズⅠ～Ⅲ(講座番号811～813)を全て受講すること(申込は不要)。 ※副校長・教頭・事務長講座(講座番号802)を必ず受講すること。</p>		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>午後1時 から開講</b> </div>
連絡先	企画研究部(075-612-2950)	主な指標の観点	<small>基本的 資質能力</small>

発  
展

No.814	新任教務主任(部長)講座		
開催日時	平成31年 6月21日(金) 13:00~17:00	講座の ねらい	今日的な教育課題に対する教務主任(部長)としての具体的な対応を身に付け、校内組織の活性化を図る能力を高める。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	新任教務主任(小・中・義)、新任教務部長(高・特支)	定員	※該当者は全員受講
内容	<p>教務主任(部長)としての基本的な対応や組織的な対応の在り方について学ぶ。</p> <p>※講座番号426と一部合同実施(426の申込は不要)</p>		<div style="border: 2px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> <b>午後1時 から開講</b> </div>
連絡先	研修・支援部(075-612-2952)	主な指標の観点	<small>マネジメント</small>

発  
展

2  
5  
6

7  
5  
15



特 別 研 修

推進

2  
5  
6

7  
5  
15


No. 851	これが聴きタイム（算数・数学）研修講座（奈良県連携）		
開催日時	平成31年 7月26日（金）13:00～17:00	講座のねらい	分かる算数・数学の授業の構築に必要な小中接続の在り方についての理解を深め、指導力の向上を図る。
会場	奈良県立教育研究所 奈良県磯城郡田原本町 秦庄22-1（近鉄笠縫駅10分）		
受講対象	教諭（小・義・特支）、数学科担当教諭（中・義・特支）	定員	30名
内容	早稲田大学 教授 渡邊 公夫 講義とパネルディスカッションを通して、分かる算数・数学の授業の構築に必要な小・中学校接続の在り方について学び、指導力の向上につながる工夫を考える。		<b>午後1時から開講</b>
連絡先	企画研究部（075-612-2950）	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">学習指導</span>	

発展

No. 852	新任府立学校長特別講座		
開催日時	平成31年 6月28日（金）10:30～17:00	講座のねらい	校長としての組織的な学校運営の在り方について理解を深める。 教育をめぐる今日的課題について学び、学校運営の充実と改善に生かす。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	新任府立学校長	定員	※該当者は全員受講
内容	学校運営に関する諸課題についての講義及び研究協議を通して、学校運営の在り方について認識を深める。 ※午後は講座番号801と合同実施（801の申込は不要）		
連絡先	企画研究部（075-612-2950）	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">基本的 資質能力</span>	

発展


No. 853	新任府立学校副校長特別講座		
開催日時	平成31年 7月 1日（月）13:00～17:00	講座のねらい	学校運営にあたる一員としての自覚を高めるとともに、組織的な学校運営の在り方について理解を深める。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	新任府立学校副校長	定員	※該当者は全員受講
内容	副校長として求められる組織運営や人材育成等について、様々な観点から学ぶ。		<b>午後1時から開講</b>
連絡先	企画研究部（075-612-2950）	主な指標の観点 <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">基本的 資質能力</span>	

No.854	子どもの貧困と学習支援講座		
開催日時	平成31年 7月 5日(金) 13:00~17:00	講座の ねらい	子どもの貧困の現状を理解し、貧困の連鎖を断ち切るために、学校として取り組む支援について理解を深める。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員	定員	100名
内容	立命館大学 教授 野田 正人  様々な問題事象の背景にある子どもの貧困の現状を理解し、貧困の連鎖を断ち切り、全ての子どもが生まれ育つ環境に左右されることなく、将来に夢や希望をもって成長していくことができるために、学校として取り組む支援の流れとその具体策等について理解を深める。 ※まなび・生活アドバイザーの聴講も可能		 午後1時から開講
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点 (人権)	

推進

2  
5  
6

7  
5  
15

No.855	スクールソーシャルワーク講座－SSWの役割の理解とその実践－		
開催日時	平成31年 6月24日(月) 13:00~17:00	講座の ねらい	スクールソーシャルワークの役割や実践について理解を深め、困難な状況におかれた子どもたちへの多様な支援の方法を学び、指導力の向上を図る。
会場	京都府総合教育センター		
受講対象	全教職員 ※定員80名のうち、40名は教育局長、府立学校長の推薦を受けた者	定員	80名
内容	大阪府立大学 教授 山野 則子 まなび・生活アドバイザー(京都式スクールソーシャルワーカー)の職務とその実際とともに、スクールソーシャルワーク(SSW)とは何か、その役割や効果・課題等について学ぶ。さらに、校内でのSSWを活用した体制づくりや学校・家庭・地域をつなぐ仕組みづくりについて学ぶ。 ※まなび・生活アドバイザーの聴講も可能		 午後1時から開講
連絡先	企画研究部 (075-612-2950)	主な指標の観点 (人権)	

発展

7  
5  
15





## 地域教育支援研修


基礎・基本

2  
5  
6

No. 424	基礎力パワーアップ講座～小中学校編～		再掲
開催日時	平成31年 8月 2日(金) 13:00~17:00	講座のねらい	児童生徒、保護者とよりよい関係を築くために必要となる知識や技能について理解する。新学習指導要領に示された「特別の教科 道徳」に関わって、授業づくりの基礎的・基本的なポイントについて学ぶ。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	教諭(小・中・義・特支) ※6年目までの教諭の受講が望ましい。	定員	50名
内容	人間の行動原理を理解し、教育現場で活用できる指導の在り方について学ぶ。 児童生徒や保護者とのよりよい関係づくりのために、必要となる受容と共感に基づく傾聴的態度について学ぶ。 「特別の教科 道徳」の授業づくりに関する指導方法について学ぶ。		<b>午後1時から開講</b>
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点 (チーム学校)	

発展

7  
5  
15

No. 710	学校組織力パワーアップ講座Ⅰ		再掲
開催日時	平成31年 5月31日(金) 13:00~17:00	講座のねらい	アクティブ・ラーニング研修等を通して見識を養い、一層の学校運営の充実と改善に生かすために必要な資質能力を高める。
会場	みやづ歴史の館 宮津市字鶴賀2164		
受講対象	教諭(幼・小・中・義・高・特支)	定員	70名
内容	<p>京都大学総合博物館 准教授 デザイン学ユニット 学術研究支援室 参与 塩瀬 隆之</p> <p>学校から社会に居場所を移したときに求められる力と、それを見極めることができる人づくりに向けた学習スタイルの構築やカリキュラム・マネジメントの在り方等について考えるとともに、実践例や演習を通して学ぶ。</p>		 午後1時から開講
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点 (チーム学校)	

発展

No. 711	学校組織力パワーアップ講座Ⅱ		再掲
開催日時	平成31年 12月13日(金) 13:00~17:00	講座のねらい	最新の教育動向や研究成果から幅広い見識を養い、より一層の学校運営の充実と改善に生かすために必要な資質能力を高める。
会場	京都府総合教育センター北部研修所		
受講対象	校(園)長、副・頭、事務長、総(幼・小・中・義・高・特支)	定員	70名
内容	<p>鳴門教育大学 理事・副学長 佐古 秀一 文部科学省初等中等教育局情報教育・外国語教育課 情報教育振興室 室長 折笠 史典</p> <p>働き方改革の中で学校組織マネジメントを推進する学校経営の在り方を考え、協働化された組織づくりや人材育成について学ぶ。 現在の社会情勢の変化と教育改革の流れの中で、プログラミング教育の推進等を通して学校管理職が果たすべき役割について考える。</p>		<b>午後1時から開講</b>
連絡先	地域教育支援部(0773-43-2934)	主な指標の観点 (チーム学校)	

W e b 活 用 研 修  
出 前 講 座  
免許状更新講習対象講座

## Web活用研修

教員の多忙化を踏まえ、子どもと向き合う時間の確保を考慮して、教職員の負担軽減の観点からWebを活用した研修を実施します。

### 1 Webプラス (Web+) 講座

#### <指定動画コンテンツ視聴 (レポート作成) +センター講座の受講>

事前に京都教育大学教職キャリア高度化センター提供の指定動画コンテンツを視聴することを講座の一部とし、時間を有効に活用することができる講座です。**総合教育センターでは、午後2時30分に講座を開始します。**

#### (1) 平成31年度実施講座

No.	講座名	センター講座日
421	小中をつなぐ理科教育講座 (Web+)	平成31年 11月19日 (火)

※指定動画コンテンツについては実施要項を参照してください。

#### (2) 受講の流れ

ア 講座当日まで

(ア) 「先生を“究める” Web講義」動画の指定動画コンテンツを視聴

URL⇒<https://www.kyokyo-u.ac.jp/Cece/2018/03/web-lecture.html>

(イ) 視聴後、「Webプラス (Web+) 講座提出レポート」(様式3)を作成

※「Webプラス (Web+) 講座提出レポート」(様式3)は、総合教育センターホームページからダウンロードしてください。

イ 講座当日

(ア) 講座受付 (午後2時30分まで)

「Webプラス (Web+) 講座提出レポート」(様式3)を提出 (講座受講後返却)

(イ) 講座受講 (午後2時30分～午後5時)

「研修講座の受講報告 (写し)」を提出

※講座受講後、「研修講座の受講報告」及び「Webプラス (Web+) 講座提出レポート」(様式3)は各所属校に提出してください。

#### (3) 京都教育大学Web講義の視聴手順

ア 受講申請 (随時受付。既に申請済の場合は不要)

(ア) 申請送付先メールアドレス [careerc@kyokyo-u.ac.jp](mailto:careerc@kyokyo-u.ac.jp)

(イ) 件名: 「先生を“究める” Web講義視聴希望」

本文: 氏名 (ふりがな)、勤務校、教職年数、教科 (中学・高校教員や小学校専科の場合)、電話番号

※受付後、ユーザID/パスワードと、視聴方法についてメールが届きます。ユーザID/パスワードの発行までに、一定の時間がかかります。

イ 指定動画コンテンツの視聴 (ユーザID/パスワード発行後)

京都教育大学教職キャリア高度化センター「先生を“究める” Web講義」動画から実施要項の指定動画コンテンツを視聴します。

## 2 Webコンテンツ視聴研修

### <2つのWebコンテンツ視聴（レポート作成）>

Webコンテンツを2つ視聴し、レポートを2枚作成することで単位認定し、時間を有効に活用することができる研修です。

Webコンテンツについては、総合教育センターホームページから視聴（5月8日（水）以降）することができます。直接各研究機関や大学のWebページから視聴することもできます。詳細は総合教育センターホームページ等でお知らせします。

#### (1) 平成31年度対象Webコンテンツ

Webコンテンツ	センターホームページからの視聴	直接視聴する場合のWebページURL
独立行政法人教職員支援機構 「NITSのオンライン研修『校内研修シリーズ』」	○	<a href="http://www.nits.go.jp/materials/intramural/">http://www.nits.go.jp/materials/intramural/</a>
独立行政法人国立特別支援教育総合研究所 『インターネットによる講義配信』	○	<a href="http://www.nise.go.jp/cms/9,0,20.html">http://www.nise.go.jp/cms/9,0,20.html</a> ※直接視聴する場合は個人登録が必要です。
国立大学法人京都教育大学 『先生を“究める”Web講義』	URLへのリンク	<a href="https://www.kyokyo-u.ac.jp/Cece/2018/03/web-lecture.html">https://www.kyokyo-u.ac.jp/Cece/2018/03/web-lecture.html</a> ※個人登録が必要です。前頁「京都教育大学Web講義の視聴手順」を参照

#### (2) 研修の流れ

ア 管理職に連絡の上、対象Webコンテンツを視聴

イ 視聴後、「Webコンテンツ視聴研修レポート」（様式4）を作成

1コンテンツにつき1枚作成してください。

※「Webコンテンツ視聴研修レポート」（様式4）は、総合教育センターホームページからダウンロードしてください。

ウ 2コンテンツ分（合計2枚）のレポートを、管理職に提出

#### (3) 備考

・管理職は、学校で取りまとめて提出してください。

##### 【提出期間】

平成31年11月1日（金）～平成31年12月25日（水）

##### 【提出先】

〒612-0064 京都市伏見区桃山毛利長門西町  
京都府総合教育センター 企画研究部

・総合教育センターにてレポートの内容確認後、単位を認定します。

・当該ステージの単位として認定します。

・「京都府教員等の資質能力の向上に関する指標」の各ステージにつき1単位を認定します。

【問合せ先】 企画研究部 075-612-2950



# 出前講座

学校現場のニーズに応え、充実した研修を支援するために出前講座を実施します。

## 1 派遣先、形態等

派遣先	形態
○学校出前講座 （小、中、義務教育学校、府立学校） ○学校外出前講座 （市町（組合）教育委員会、教育局、 教育研究会等）	出前講座は、センターが予め提示した講座（「 <b>7 出前講座の概要</b> 」）に基づき、センター所員が学校等を訪問して実施するものです。

## 2 内容

「**7 出前講座の概要**」を参考にしてください。

出前講座の内容等の詳細については、別途配布する「**出前講座の実施一覧表**」を御覧ください。

## 3 実施時期

(1) 期間：平成31年6月3日～翌年2月末日

日程等の調整は、夏季休業中・夏季休業中以外に分けて行います。

(2) 時間帯：平日の午前9時から午後5時までの必要な時間（50分から半日程度）

## 4 実施回数

(1) 同一校又は同一機関での同一講座の実施は、年2回までとします。

小教研研究協力校（理科・音楽・図画工作・家庭）での実施は、年3回までとします。

(2) 実施可能な回数には限度があるため、以下の調整等を行います。

ア 申込状況によっては、希望される日程でお受けできない場合があります。

イ 夏季休業中は、学校からの申込を優先します。

## 5 申込

(1) 申込方法

実施希望の内容に応じ、「**7 出前講座の概要**」又は、別途配布する「**出前講座の実施一覧表**」の「担当部」に問い合わせてください。日時、内容等を調整の後、「担当部」からの実施可の連絡を受け「出前講座」実施申込書（様式5）を電子メール（[demae@kyoto-be.ne.jp](mailto:demae@kyoto-be.ne.jp)）又はFAX（075-612-3267）で提出してください。電子メールでの申込は、件名に派遣希望講座の番号及び講座名を明記してください。様式5は、総合教育センターホームページからダウンロードしてください。

(2) 実施時期及び申込受付期間

実施時期	申込受付期間	決定までの経過
夏季休業中 7月22日（月） 〃 8月30日（金）	4月22日（月） 〃 5月17日（金）	①担当部と電話で内容、日程等を調整 ②受付期間終了後、5月27日（月）までに担当部から学校等に日程と担当者等の決定を連絡 ③担当部からの連絡を受けて、様式5を電子メール（又はFAX）で提出
夏季休業中以外	4月22日（月） 〃 申込順に日程調整	①担当部と電話で内容、日程等を調整 ②担当部からの連絡を受けて、実施可の場合、様式5を電子メール（又はFAX）で提出

## 6 出前講座受講者の旅費

受講者の会場への移動に係る旅費については、総合教育センター費に該当しません。

## 7 出前講座の概要

平成31年度 出前講座の概要一覧			
番 号	講 座 名	担 当 部	期 間
901 902 903 904	小学校国語科教育講座 小学校算数科教育講座 小学校外国語教育講座 小学校道徳教育講座	研修・支援部 075-612-2952	6月～2月
905 906 907 908	小学校理科教育講座 小学校音楽科教育講座 小学校図画工作科教育講座 小学校家庭科教育講座	地域教育支援部 0773-43-2934	
920 921 922 923 924	中学校学力向上講座 中学校国語科教育講座 中学校数学科教育講座 中学校外国語科教育講座 中学校道徳教育講座	研修・支援部 075-612-2952	
925 926 927 928	中学校理科教育講座 中学校音楽科教育講座 中学校美術科教育講座 中学校技術・家庭科（家庭分野）教育講座	地域教育支援部 0773-43-2934	
930 931 932	情報教育講座 プログラミング教育講座 カリキュラム・マネジメント講座	企画研究部 075-612-2950	
940	特別支援教育講座	特別支援教育部 075-612-2953	
941	教育相談講座	教育相談部 075-612-2959	
942	学校事務職員支援講座	地域教育支援部 0773-43-2934	
943	その他 ※上記以外でセンターが必要と認めたもの	企画研究部 075-612-2950	

以下の講座では、次のハンドブック等の活用法を含みます。

番 号	名 称（発行年月）
904・924	「道徳教育の進め方 京都式ハンドブック」（平成30年3月）
940	「通級指導教室における読み書きに困難のある児童生徒へのICT活用研究報告」（平成29年3月） 「特別支援学級担任のための教育課程ハンドブック」（平成27年3月） 「各教科等を合わせた指導ガイドブック」（平成26年3月） 「ユニバーサルデザイン授業」（平成25年2月）

## 出前講座の実施概要

番号	講座名	内容
901	小学校国語科教育講座	国語科における授業改善を推進するために、単元構想の考え方や指導方法の工夫について学ぶ。 (例) 国語科における言語活動の充実に向けての研修等
902	小学校算数科教育講座	京都府学力診断テストの内容や結果などから、算数科の課題や授業改善の視点について学ぶ。新学習指導要領の趣旨に基づいた算数科の授業の在り方について、講義や演習を通して学ぶ。
903	小学校外国語教育講座	新学習指導要領の趣旨を踏まえた小学校外国語教育の進め方や新教材を活用した授業づくりなどについて講義や演習を通して学ぶ。
904	小学校道徳教育講座	「道徳教育の進め方 京都式ハンドブック」を活用した道徳教育の推進の在り方や「特別の教科 道徳」の特質を踏まえた授業づくりの工夫について、講義や演習を通して学ぶ。
905	小学校理科教育講座	自然の事物・現象についての問題を科学的に解決する力を育むための授業づくりの在り方や指導方法の工夫について、講義や実技等を通して学ぶ。
906	小学校音楽科教育講座	音楽科における表現と鑑賞の関連を図った題材構成や思考力・判断力・表現力等を育むための指導方法の工夫について、講義や実技等を通して学ぶ。
907	小学校図画工作科教育講座	図画工作科における表現と鑑賞の関連を図った題材構成や思考力・判断力・表現力等を育むための指導方法の工夫について、講義や実技等を通して学ぶ。
908	小学校家庭科教育講座	家庭科における基礎的・基本的な知識や技能の定着を図るための授業づくりの在り方や指導方法の工夫について、講義や実習等を通して学ぶ。
920	中学校学力向上講座	新学習指導要領で求められる資質・能力を育成するための授業改善の視点等について、講義や演習を通して学ぶ。
921	中学校国語科教育講座	国語科における授業改善を推進するために、単元構想の考え方や指導方法の工夫について学ぶ。 (例) 国語科における言語活動の充実に向けての研修等
922	中学校数学科教育講座	京都府学力診断テストの内容や結果などから、数学科の課題や授業改善の視点について学ぶ。新学習指導要領の趣旨に基づいた数学科の授業の在り方について、講義や演習を通して学ぶ。
923	中学校外国語科教育講座	外国語科における授業改善を推進するために、新学習指導要領の趣旨を踏まえた指導方法の工夫について学ぶ。

番号	講座名	内容
924	中学校道徳教育講座	「道徳教育の進め方 京都式ハンドブック」を活用した道徳教育の推進の在り方や、「特別の教科 道徳」の特質を踏まえた授業づくりの工夫について、講義や演習を通して学ぶ。
925	中学校理科教育講座	自然の事物・現象について科学的に探究するための資質・能力を育む授業づくり、単元構想の考え方や指導方法の工夫について講義や実習等を通して学ぶ。
926	中学校音楽科教育講座	音楽科における授業改善を推進するために、題材構想の考え方や指導方法の工夫について学ぶ。 (例) 音楽科の表現と鑑賞の関連を図った指導方法等
927	中学校美術科教育講座	美術科における授業改善を推進するために、題材構想の考え方や指導方法の工夫について学ぶ。 (例) 美術科の表現と鑑賞の関連を図った指導方法等
928	中学校技術・家庭科 (家庭分野) 教育講座	家庭分野における授業改善を推進するために、題材構想の考え方や指導方法の工夫について学ぶ。 (例) 新学習指導要領技術・家庭科(家庭分野)の指導と評価等
930	情報教育講座	情報教育に関することについて講義や演習を通して学ぶ。 (例) ・児童生徒の情報活用能力を育成するためのICT活用 ・教育の情報化や情報教育の内容等
931	プログラミング教育講座	小学校で実施されるプログラミング教育について、体験と講義を通して学ぶ。 (例) 教科で扱うプログラミング的思考を育成する学習法等
932	カリキュラム・マネジメント講座	カリキュラム・マネジメントの基本的な考え方や実践方法について、講義や演習を通して学ぶ。 (例) ・カリキュラム・マネジメントの意義と概要 ・現状分析から始めるカリキュラム・マネジメント等
940	特別支援教育講座	特別支援教育に関することについて講義や演習を通して学ぶ。 (例) ・通常の学級における特別支援教育 ・特別支援学校や特別支援学級の授業づくり ・高等学校における特別支援教育等
941	教育相談講座	教育相談に関することについて講義や演習を通して学ぶ。 (例) ・教育相談の基礎(児童生徒理解等) ・事例検討 ・不登校児童生徒の理解と対応等
942	学校事務職員支援講座	若手をはじめとする事務職員に対する支援や事務職員がカリキュラム・マネジメントにどのように関わるか、また、学校事務の共同実施の目指すもの等について学ぶ。
943	その他	その他、センターが必要と認めたもの。

※研修の効果をより一層高めるため、事前又は事後に課題を提示する場合があります。

## 免許状更新講習対象講座（申請中）について

京都府教育委員会は、京都府における喫緊の教育課題に対応できる力を身に付け、教員として必要な資質能力を保持することを目的として、文部科学大臣の認定を受けた研修講座を免許状更新講習として実施します。

### 1 平成31年度受講対象者

普通免許状又は特別免許状を有しており、次の(1)及び(2)に該当する者

- (1) 京都府内（京都市立の学校を除く。）の公立幼稚園、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校及び特別支援学校に勤務する教員
- (2) 修了確認期限又は有効期間の満了日が、平成32年3月31日又は平成33年3月31日である者。又は、修了確認期限の延期申請をしており、延期後の受講期間及び申請期間が平成31年度に総合教育センターで開催する該当研修講座の日程に該当する者

※修了確認期限及び有効期間の満了日は以下の文部科学省Webページで確認すること。

[http://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/koushin/003/index1.htm](http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/koushin/003/index1.htm)

### 2 免許状更新講習対象の講座について

- (1) 京都府における喫緊の教育課題を内容とした次の5講座について申請中です。

講座名	開催日	会場
認知発達と授業づくり講座～理科教育実践を通して～	8月19日(月)	北部研修所
情報活用能力育成講座～ICT・情報モラル・メディアリテラシーを学ぶ～	8月9日(金)	センター
教育相談<初級>講座—児童生徒理解と関わり—(センター)【領域①②③】	8月23日(金)	センター
教育相談<初級>講座—児童生徒理解と関わり—(北部)【領域①②③】	8月20日(火)	北部研修所
特別支援教育「学習障害(LD)のある児童生徒への指導・支援」講座	8月22日(木)	北部研修所

- (2) 申込が定員を超過した場合は、人数を調整することがあります。
- (3) 免許状更新講習対象講座として **1つの講座を受講**することができます。免許状の更新に必要な30時間のうち、**選択領域6時間**の履修になります。
- (4) 受講料は徴収しません。旅費は受講者負担とします。

### 3 受講申込手続き

- (1) 免許状更新講習対象講座の申込

受講対象者から希望があった場合、管理職は受講管理システムにて申込をしてください。なお、**講座番号は免許状更新講習対象講座の番号（別途通知）を用いてください。**

【申込期間】平成31年5月20日(月)～平成31年5月29日(水)  
手続きの関係上期日を過ぎての追加受付はできません。

- (2) 申込受付完了の通知

申込受付完了後、免許状更新講習対象講座の受講番号通知書を学校に送付します。

- (3) 書類の提出

受講番号通知書を受け取った受講者は以下の書類一式に必要な事項を記入し、「(講座番号)・免許状更新講習申込書在中」と朱書きした角形2号封筒を使用して総合教育センター企画研究部に提出してください。なお、免許状更新講習申込書の「証明者記入欄」には校(園)長の証明が必要です。

《平成31年7月31日(水)必着》

【書類一式】免許状更新講習申込書、受講者アンケート、履修証明書返信用封筒  
※それぞれ総合教育センターホームページに掲載予定

【提出先】〒612-0064 京都市伏見区桃山毛利長門西町  
京都府総合教育センター 企画研究部  
TEL : 075-612-2950



#### 4 受講について

- (1) タイムスケジュール  
9：15～ 受付開始  
9：45～ 出欠確認  
10：00～ 午前の部開始  
12：00～ 休憩  
13：00～ 午後の部開始  
16：20～ 午後の部終了、試験会場へ移動  
16：30～ 本人確認  
16：40～ 試験開始  
17：00 講習終了
- (2) 受付に関する注意事項  
・受講番号通知書を持参し、提示すること。
- (3) 講義に関する注意事項  
・9時45分に出欠等の確認をするので指定の席で待機すること。  
・原則として、途中入室及び受講中の一時退席等は認められない。
- (4) 試験に関する注意事項  
・試験会場に移動し、指定の席に着くこと。  
・試験終了後も指示があるまで退席は認められない。
- (5) 欠席及び遅刻について  
・欠席した場合は、受講講座変更等の措置はできない。  
・遅刻した場合は、免許状更新講習対象講座として受講することができない。

#### 5 認定について

合格の場合は「免許状更新講習履修証明書」を、不合格の場合はその旨を文書にて送付します。なお、各免許状更新講習対象講座終了の2箇月後を目処とします。

#### 6 その他

- (1) 総合教育センターは合理的配慮の提供を実施しています。受講に当たって、合理的配慮やその他の配慮を希望する場合は、受講申込時に校（園）長又は副校長・教頭・事務長から総合教育センター企画研究部（075-612-2950）まで連絡してください。  
例：身体的理由等の事情で自家用車を利用する。  
手話通訳が必要である。  
資料の点訳が必要である。
- (2) 免許状更新講習に関する受講者の個人情報については、本講習に関する業務以外には使用しません。
- (3) 服務については大学等が開設する免許状更新講習を受講する場合と同様です。

免許状の有効期間の更新（免許状更新講習の修了確認）は個人の資格にかかるものですが、長期休業期間中等授業時間の割当のない時間等における講習の受講については、職務の専念義務を免除することとしても差し支え無い旨通知をしています。ただし、職務専念義務の免除となるかどうかは、服務監督権者の判断となります。

（文部科学省総合教育政策局教育人材政策課ホームページ）

- (4) 教員免許更新制の詳細については、**学校教育課教員免許担当（075-414-5836）**までお問い合わせください。
- (5) 受講に当たっては**教員免許更新制マニュアル（平成21年3月）**を確認してください。

**現在、文部科学省に免許状更新講習として認定申請中のため、受講対象等変更となる場合があります。詳細については4月下旬頃改めて通知します。**





## 研修講座の申込等

## 研修講座の申込等について

研修講座の申込・欠席等に係る手続きは、以下の内容を確認してください。

### 1 受講申込方法

- (1) 必修講座は、申込不要です。
- (2) 選択講座は、受講管理システムにて申込をしてください。  
 ※申込に関するお問い合わせは、総合教育センター企画研究部（075-612-2950）までお願いします。  
 受講管理システムによる申込ができない場合に、研修講座受講申込書(様式1)を使用してください。  
 研修講座受講申込書(様式1)は、総合教育センターホームページからダウンロードできます。
- (3) 推薦講座は、教育局長、府立学校長の推薦が必要です。
- (4) 事務職員の指定講座は、「単位制履修制度の概要」ページを参照してください。
- (5) 出前講座は、「出前講座」ページを参照してください。

### 2 受講申込期間

5月講座	4/4(木)～4/12(金)
6月講座	4/23(火)～5/8(水)
7月講座・ 免許状更新講習対象講座	5/20(月)～5/29(水)
8月講座	6/10(月)～6/20(木)
9・10月講座	7/8(月)～7/22(月)
11・12月講座	9/2(月)～9/19(木)
1・2月講座	11/5(火)～11/21(木)

該当者が全員受講対象となっている講座（要申込）

#### 6月講座

- |                                    |               |
|------------------------------------|---------------|
| No. 803 「管理職『特別支援教育・メンタルヘルス』講座」・・・ | 新任の管理職        |
| No. 814 「新任教務主任（部長）講座」・・・          | 新任教務主任、新任教務部長 |
| No. 852 「新任府立学校長特別講座」・・・           | 新任府立学校長       |

#### 7月講座

- |                            |           |
|----------------------------|-----------|
| No. 438 「道徳教育の推進講座」・・・     | 各校1名      |
| No. 853 「新任府立学校副校長特別講座」・・・ | 新任府立学校副校長 |

#### 11・12月講座

- |                           |                |
|---------------------------|----------------|
| No. 701 「危機管理講座」・・・       | 未受講の副校長・教頭、事務長 |
| No. 802 「副校長・教頭・事務長講座」・・・ | 発令後2年目の府立学校副校長 |

※副校長は首席副校長を含みます。

### 3 定員について

申込が定員を超過した場合は、人数等を調整することがあります。

### 4 欠席・遅刻連絡について

#### (1) 欠席について

研修講座を欠席する場合は、校（園）長又は副校長・教頭・事務長から連絡してください。

	電話連絡先	備考
初任者・新規採用者研修	研修・支援部（075-612-2952）と市町（組合）教育委員会（府立学校は除く。）	欠席届提出が必要（注） （研修・支援部へ直接提出）
ステップアップ研修	「研修講座の実施概要」ページに記載の連絡先	欠席届不要
中堅教諭等資質向上研修	地域教育支援部（0773-43-2934）と市町（組合）教育委員会（府立学校は除く。）	欠席届提出が必要 （地域教育支援部へ直接提出）
選択・推薦・指定講座	「研修講座の実施概要」ページに記載の連絡先	欠席届不要

（注）日程等の変更ができる場合は欠席届不要

※欠席届（様式2）は、総合教育センターホームページからダウンロードしてください。

#### (2) 遅刻について

研修講座を遅刻する場合は、校（園）長又は副校長・教頭・事務長から「研修講座の実施概要」ページに記載の連絡先に電話で連絡してください。

### 5 研修講座の実施要項

総合教育センターホームページに、講座実施日の前月 15 日に研修講座の実施要項を掲載しますので、必ず確認してください（携行品、準備物、事前の課題等を掲載します。）。

### 6 受講に当たっての注意事項

(1) 自家用車（二輪車を含む。）で来所（外部会場を含む。）することはできません。公共の交通機関を利用してください。

(2) 総合教育センターは合理的配慮の提供を実施しています。研修講座の受講に当たって、合理的配慮やその他の配慮を希望する場合は、受講申込時に校（園）長又は副校長・教頭・事務長から総合教育センター企画研究部（075-612-2950）まで連絡してください。

例：身体的理由等の事情で自家用車を利用する。

手話通訳が必要である。

資料の点訳が必要である。

### 7 気象警報発表時の対応

気象警報発表時についても、原則として研修講座は実施します。

公共交通機関の運休等で、やむを得ず中止する場合は、総合教育センターホームページに掲載します。

# 様 式





(様式2)

平成 年 月 日

京都府総合教育センター所長 様

立 学校

校 長 (公印必要)

## 欠 席 届

下記の職員は「 」の受講を予定しておりましたが、以下の理由により、欠席（します・しました）のでお届けします。

記

職 名

氏 名

欠席期日 平成 年 月 日 ( )

理 由

校 務 ( )

病 気

そ の 他 ( )

(様式3)

## Webプラス (Web+) 講座提出レポート

研修講座名			
所属校(園)名	立	学校(園)	分校
職名		氏名	
視聴日	平成	年	月 日

1 Web講義の中で学んだ内容を記入してください。

	重要と考えるキーワード	気付きや感想等
1		
2		
3		

2 Web講義の内容について、今後の教育実践に役立てたいことを記入してください。

<p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p> <p>-----</p>
--

- ① 受付時に提出してください。
- ② 講座受講後に返却しますので、「研修講座の受講報告」とともに所属校(園)へ提出してください。

総合教育センター確認印





(様式5)

平成 年 月 日

京都府総合教育センター所長 様

立

学校 (団体名)

校 長  
(団体責任者)

(公印不要)

## 「出前講座」実施申込書

下記のとおり、申し込みます。

記

1 派遣希望出前講座

番号	出前講座名

2 研修会等の名称

3 参加予定者数

4 日 時： 平成 年 月 日 ( ) 時 分 ~ 時 分

5 場 所：

6 事前調整

学校等担当者名	学校等担当者連絡先 電話番号	学校等担当者連絡先 メールアドレス
センター担当部	センター担当者	調整日
		月 日 ( ) 調整済

7 連絡事項

# 研修履歴一覧表の見方（教諭の例）

在職年数は、採用時の職が他府県経験時の職と同じ場合は、他府県経験年数を加算しています。  
 総単位数は、平成21年度からの取得単位の総計を記載しています。

平成31年3月〇日現在

**参考** **研修履歴一覧表**

職員番号	1234567	所属	〇〇立△△学校	在職年数	10
職名	教諭	氏名	京都 太郎	総単位数	41

研修等履修状況

初任研等	履修	必修	10年 経験者	履修	必修	選択	標準履修単位数		
							2～6年	7～12年	他研修
済		25		済	5		※	4	5
							必修	3	2
							選択	3	1
							他研修	1	1

※採用年度や職種により異なります。

**センター研修 取得単位詳細**

2～6年	7～12年	10年 経験者	13年～等	研修分野等	研修名	期間	備考	単位	合計
				教科	□□□□□□□□□□□□□□講座	H22		1	1単位
					□□□□□□□□□□□□□□講座	H23		1	
	◎			領域等	□□□□□□□□□□□□□□講座	H28		1	2単位
					□□□□□□□□□□□□□□講座	H23		1	
				コミュニケーション能力	□□□□□□□□□□□□□□講座	H23		1	2単位
	◎				□□□□□□□□□□□□□□講座	H27		1	
				チームマネジメント能力					
				法定研修外基本研修指導者養成研修特別研修他	□□□□□□□□□□□□□□講座	H24		1	1単位
4単位	2単位								6単位

**センター研修以外の研修(他研修) 取得単位詳細**

主催	所管	研修名	期間	備考	単位	合計
文部科学省	学校教育課	□□□□□□□□□□□□□□研修	H26	チームマネジメント能力 2～6年目研修	1	2単位
京都府◆◆教育局	京都府◆◆教育局	□□□□□□□□□□□□□□研修	H29	教科 7～12年	1	

**センター研修以外の研修(記載のみ)**

主催	所管	研修名	期間	備考

**講師履歴**

主催	研修名	期間	備考
総合教育センター	□□□□□□□□□□□□□□講座	H25	

研修等履修状況について以下の4つの分類で確認できます。

- ・「初任研等」  
…初任者・新規採用者研修
- ・「10年経験者」  
…中堅教諭等資質向上研修
- ・「2～6年」  
…2年目教員ステップアップ研修を含む、2～6年目研修
- ・「7～12年」  
…7～12年目研修

※「初任研等」「10年経験者」には必要単位数を満たすと「履修」欄に「済」を記載しています。

※「2～6年」「7～12年」の「標準履修単位数」を上欄に記載しています。

※「10年経験者」「2～6年」「7～12年」の「選択」欄には「センター研修 取得単位詳細」の「◎」の取得単位数を記載しています。

※「2～6年」「7～12年」の「他研修」欄には「センター研修以外の研修(他研修)取得単位詳細」の単位数を記載しています。

センター研修講座と同様に単位を認定する国、京都府教育委員会（平成22年度から）、教育局主催（平成24年度から）及び市町（組合）教育委員会主催（平成30年度から）の研修について記載しています。

講座講師の履歴を記載しています。  
 （総合教育センター主催の研修のみ）

センター研修以外の国及び京都府教育委員会主催の研修について、研修等履修状況に単位加算しないものを平成22年度実施の研修から記載しています。

研修講座の年次ごとの履修状況について記載しています。  
 （注）初任者・新規採用者研修、中堅教諭等資質向上研修、2年目研修（2年目教員ステップアップ研修）の必修講座については記載していません。

年次ごとの履修状況を以下の4つの分類で確認できます。

- ・「2～6年」…2～6年目研修
- ・「7～12年」…7～12年目研修
- ・「10年経験者」…中堅教諭等資質向上研修
- ・「13年～等」…13年目以降の研修

※履修した講座について「◎」又は「○」を記載しています。  
 ※該当講座が各年次の選択講座の場合には「◎」を記載しています。  
 ※該当年次外の場合は「○」を記載しています。  
 ※平成29年度以降10年経験者研修は、教育公務員特例法の一部改正に伴い、中堅教諭等資質向上研修に名称を改めています。  
 ※平成31年度以降年次の表記等は変更する予定です。

- 183 -

# 研修履歴一覧表の見方（事務職員の例）

在職年数は、採用時の職が他府県経験時の職と同じ場合は、他府県経験年数を加算しています。  
 総単位数は、平成21年度からの取得単位の総計を記載しています。

平成31年3月〇日現在

## 参考

### 研修履歴一覧表

職員番号	2345678	所属	〇〇立△△学校	在職年数	10
職名	事務職員・主任	氏名	京都 花子	総単位数	16

#### 研修等履修状況

新採研	履修	必修	標準履修単位数			標準履修単位数				
			1	6	1	2	4			
済	3		主事	主任	主任	主任	主任	主任	主任	
			カテゴリ	指定	選択	他研修	指定 I	指定 II	選択	他研修
				1	5	1	1			

指定 I …主任  
 指定 II …主任（係長相当職）

#### センター研修 取得単位詳細

主事	主任	事務員	研修分野等	研修名	期間	備考	単位	合計
			〇 ◎ 指定	講座	H25		1	5単位
				講座	H25		1	
				講座	H25		1	
				講座	H29		1	
				講座【指定】	H30		1	
			◎ ◎ ◎	講座	H27		1	3単位
				講座	H28		1	
				講座	H29		1	
			〇 指定 ◎	講座	H24		1	4単位
				講座	H26		1	
				講座【指定】	H27		1	
				講座	H29		1	
8単位	1単位							12単位

#### センター研修以外の研修(他研修) 取得単位詳細

主催	所管	研修名	期間	備考	単位	合計
文部科学省	学校教育課	研修	H26	チームマネジメント能力 主事カテゴリ研修	1	1単位

#### センター研修以外の研修(記載のみ)

主催	所管	研修名	期間	備考

#### 講師履歴

主催	研修名	期間	備考
総合教育センター	講座	H25	

研修等履修状況について以下の3つの分類で確認できます。

- ・「新採研」  
…新規採用者研修
- ・「主事カテゴリ」  
…主事1・2級在位中に履修の研修
- ・「主任カテゴリ」  
…主任・主任（係長相当職）  
在位中に履修の研修

※「新採研」には必要単位数を満たすと「履修」欄に「済」を記載しています。

※「主事カテゴリ」「主任カテゴリ」の「標準履修単位数」を上欄に記載しています。

※「選択」欄には「センター研修 取得単位詳細」の「◎」の取得単位数を記載しています。「指定」欄には「センター研修 取得単位詳細」の「指定」の取得単位数を記載しています。「他研修」欄には「センター研修以外の研修(他研修) 取得単位詳細」の単位数を記載しています。（平成26年度から）

センター研修講座と同様に単位を認定する国、京都府教育委員会（平成22年度から）、教育局主催（平成24年度から）及び市町（組合）教育委員会主催（平成30年度から）の研修について記載しています。（研修等履修状況への記載については、平成26年度から）

講座講師の履歴を記載しています。  
 （総合教育センター主催の研修のみ）

センター研修以外の国及び京都府教育委員会主催の研修について、研修等履修状況に単位加算しないものを平成22年度実施の研修から記載しています。

研修講座のキャリアステージごとの履修状況について記載しています。  
 （注）新規採用者研修の必修講座については記載していません。

キャリアステージごとの履修状況を以下の4つの分類で確認できます。

- ・「主事」…主事1・2級在位中に履修の研修
- ・「主任」…主任・主任（係長相当職）在位中に履修の研修
- ・「事務主任 専門幹」…事務主任・専門幹在位中に履修の研修
- ・「事務長」…事務長在位中に履修の研修

※履修した講座について「◎」「〇」「指定」を記載しています。（平成26年度から）  
 ※該当講座が各キャリアステージごとの選択講座の場合には「◎」を記載しています。  
 ※【指定】講座が各キャリアステージごとの指定講座の場合には「指定」を記載しています。  
 ※履修した研修講座が該当キャリアステージ以外の場合は「〇」を記載しています。  
 ※平成25年度までに履修の講座については、総単位数にのみ反映しています。



京都府総合教育センター	〒 612-0064	京都市伏見区桃山毛利長門西町 TEL (075)612-3266(代)
北部研修所	〒 623-0012	綾部市川糸町堀ノ内 TEL (0773)43-2934

ホームページ ( I T E C )    U R L   <http://www.kyoto-be.ne.jp/ed-center/>  
E-mail   [ed-center-kenkyu@pref.kyoto.lg.jp](mailto:ed-center-kenkyu@pref.kyoto.lg.jp)

発行：京都府総合教育センター